



* 0006418000 *

0006418-000

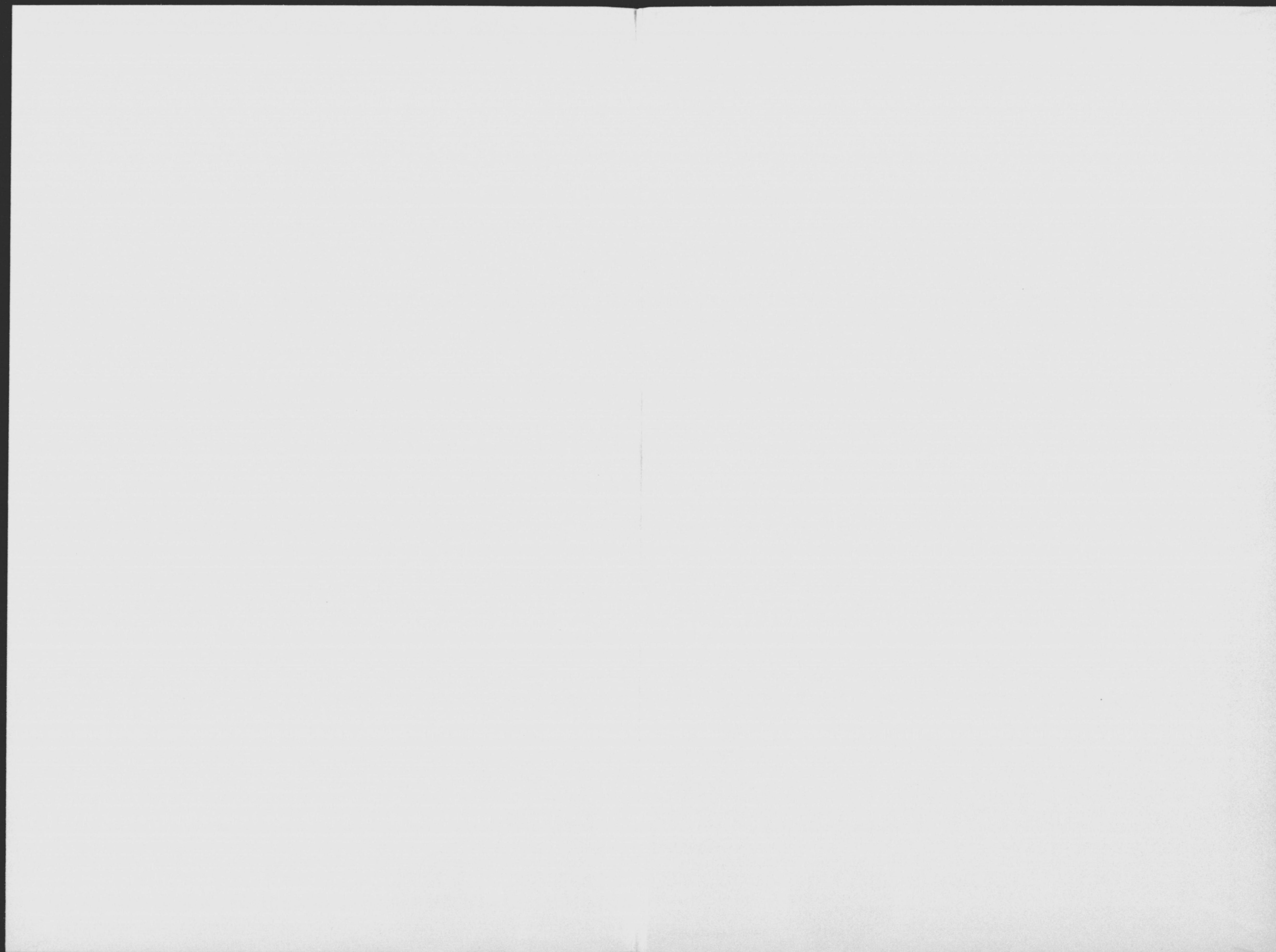
AZ-251-E162

衆議院議員総選挙に於ける無産
並に国家主義各派の選挙運動

〔内務省〕社会局労働部

1936. 7

ABE



ミシ25-5

勞政課特別保存

昭和十一年四月調査

衆議院議員總選舉に於ける
無産並に國家主義各派の選舉運動

秘

給與課長

社會局労働部

~~AZ
251
E42~~
AZ
251
E162



89W67729

衆議院議員總選舉に於ける無産竝に國家主義各派の選舉運動

目次

第一章 總選舉概觀	一
第二章 無産竝に國家主義各派の選舉對策	四
第一節 無産各派	四
全國農民組合、労働組合全國評議會、社會大衆黨	
第二節 國家主義各派	二八
皇道會、明倫會、新日本國民同盟、國民協會、愛國政治同盟、勤勞日本黨、 立憲養正會	
第三章 無産竝に國家主義各派の選舉結果	四〇
第一節 無産各派	四〇
第二節 國家主義各派	四七
第三節 無産竝に國家主義各派の地方的分布狀況	五二

附 録

無産並に國家主義各派の主なる選舉公報

一、無産各派 六一

二、國家主義各派 九〇

三、農道會 一一二

衆議院議員總選舉に於ける 無産並に國家主義各派の選舉運動

第一章 總選舉概観

第六十八議會は一月二十一日解散を命ぜられ、普選第四次衆議院議員總選舉は二月二十日を期して全国的に施行せられたり。

第六十八議會は既に解散を豫想せられ、若し然らずとするも該議會を以て議員は任期満了する爲、各派共是が對策に關して既に備ふる所あり、社會大衆黨の如きは數年前より毎年是が對策を講じつゝありたり。

今回の總選舉は選舉法の改正と選舉肅正運動に因り從來の選舉とは其趣を異にするものあると同時に所謂國家非常時に於ける國民の政治意識が如何なる程度に選舉結果に反映するかと云ふ點に於て特に注目せられたり。

北海道及び三府四十三縣に於ける有権者總數は^(註一)一四、四七九、七〇七人、投票總數は^(註二)一一、二四八、五

二七票にして、棄権率は〇・二二三(前回選挙〇・一八三、昨年府縣議員選挙〇・二六八)なり。棄権防止の運動は各方面を通じ相當行はれたりしも結果は依然として相當の率を示し、前回の総選挙に比し棄権率低下せしは鹿兒島、福岡、高知、愛媛、廣島、滋賀、三重、岐阜、愛知の九縣を數ふるに過ぎざるなり。

立候補状況は候補者届提出者總計九三七名、内辭退者六一名にして選挙期日に於ける候補者數は八七六名となり、之を前回の総選挙に比すれば一六八名の増加(昭和七年七〇八、昭和五年八四〇、昭和三年九六五)を示せり。而して今回の総選挙に於ては所謂無投票當選者(昭和三年、昭和五年二選挙區六名、昭和七年一一選挙區三九名)の出現を見ざりき。

又候補者を新舊別に區分すれば新三八六名(昭和三年五五八名、昭和五年三八〇名、昭和七年二四三名)、前三八七名(三年三一八名、五年三七三名、七年三七一名)、元一〇三名(三年九二名、五年八七名、七年九四名)にして内當選者は新一二二名(三年一八一名、五年一四五名、七年一二四名)前二七七名(三年二八五名、五年三二一名、七年二七四名)、舊六七名(三年、五年は「前」に加算の爲不明、七年六八名)なり。

總選挙の結果は次表の如く民政黨最も優勢にして政友會是に次ぎ、第三黨昭和會以下社會大衆黨、國民同盟は其勢力何れも相伯仲せり。而して之を選挙直前に於ける各派勢力に比較すれば、民政黨(七八名)、社會大衆黨(一五名)、中立(一三名)、社會大衆黨以外の無産各派(六名)、國家主義各派(二名)は何れも増加し、政友會(六九名)、國民同盟(五名)、昭和會(一名)は何れも減少せり。

各派選挙結果一覽表

政黨各派	得票數	候補者數	當選者數	一人當り得票數	當選率	最高點當選者數	次高點落選者數	供託金不還付者數
立憲民政黨	四、四五、七四	42	5	一五、〇〇三	〇・六四	五	三	八
立憲政友會	四、〇〇、四三	19	1	三、三三三	〇・五三	二八	六九	二
昭和會	五五、七〇〇	2	1	一〇、八八八	〇・四三	四	五	四
國民同盟	四、二九	1	〇	三、三五六	〇・四四	七	四	三
社會大衆黨	五八、八四	〇	〇	一七、二九五	〇・六〇	二	六	〇
社會大衆黨以外の無産各派	一、五三	〇	〇	一八、三〇〇	〇・七〇	三	一	〇
國家主義各派	三六、二〇二	〇	〇	六、四六六	〇・四三	一	二	〇
中立	五八、四〇三	〇	〇	七、五五四	〇・四七	一〇	四	〇
計	二一、三三、三〇九	64	7	三、六九八	〇・三三	三三	三三	五

備考 本表は各黨共非公認を含む。アラビヤ數字は非公認數を示す。

今回總選挙に於ても亦昨年の府縣會議員總選挙に於けるが如く候補者の増加、小數黨の簇出、中立議員の増加、職能的代表の進出等を見たるが、是等は昭和八年乃至九年の市町村會議員總選挙に於て

も見られたる處にして近時に於ける一般的傾向と云ふべし。

又昭和八、九年の市町村會議員總選舉に於ては無産政黨乃至無産團體を背景とする候補者並に當選者は激減し、國家主義政黨乃至國家主義團體の候補者並に當選者は相當増加せしが、昨秋の府縣會議員並に本年の衆議院議員總選舉に於ては無産並に國家主義各派は共に空前の躍進を遂げ、職能的代表(主として農道會)の進出と相俟つて現状打開の諸勢力が漸次議會に於て勢力を増大せんとする形勢を示しつつあり。是等社會民主主義、國家社會主義、國家主義、農本主義、各派の發展的進出は選舉法の改正、或は選舉肅正運動其他の原因に基くところ尠しとせざるも現時の政治、經濟、社會、各般の情勢に鑑み當然の歸結にして注目を要すべき現象なり。

註一 地方局調査に依る。

註二 山口縣下に於いては大日本農道會山口支部より立候補者六名(政友三、昭和一、中立二)あり、選舉結果は當選者五名(政友三、昭和一、中立二)次點落選者一名、得票數九六、六八九票(政友五一、五三二。昭和一五、三二三。中立二九、八三四)にして成績極めて良好なり。農道會の代表的なる選舉公報は附録に掲載す。

第二章 無産並に國家主義各派の選舉對策

第一節 無産各派

社會大衆黨及び其他の無産各派に在りては府縣會議員總選舉の結果に鑑み、既に期するところありしものゝ如く、社會大衆黨、全國農民組合、日本勞働組合全國評議會等は夙に總選舉對策を講じつゝありたり。

(イ) 全國農民組合

全國農民組合は地方的には反社會大衆黨的色彩濃厚なるものありと雖も、大體に於て社會大衆黨を支持し今回選舉に於ては社會大衆黨其他無産團體との協力に努めたり。

全國農民組合は本年一月十五日第十五回全國大會を開催して、議案「總選舉對策の件」(別記二)を可決し、一方に於ては同月十七日の勞働組合法小作法獲得勞農大會に参加し、他方に於ては同月十八日の社會大衆黨第四回大會に参加し其氣勢を揚げたるが、別に一月十七日中央委員會を開催し、其方針を決定し、二十一日同組合中央常任委員會より「總本部選舉闘争開始」と題する達示(別記三)並に「議會解散による總選舉に當りて宣言す」(別記三)と題する印刷物を配布して全農總本部の選舉對策を明かにせり。而して選舉戦漸く白熱化せんとするや、二月十日選舉ニュース「全農はかく戦ふ」及び闘争達示「選舉は第三期戦だ」を關係方面に配送して選舉應援を指令せり。

別記一

第三號議案 總選舉對策の件

第六十八議會が解散されるにせよ、せられざるにせよ、總選舉は目睫にせまつてゐる。農村における政治活動の展開の重要性

に鑑み、この總選舉に我が組合は積極的に参加して、出来るだけ多くの我等の代表者を選出しなければならない。しかも狀勢は昨秋の府縣會選舉の進出のあとをうけて有利に動いてゐるのである。

一、候補者の人選に關しては、眞面目に階級運動に従事してゐる人、組織の統制に服す人、明確な意識を持ち、壓迫懷柔に屈せぬ人、なるべく政治的手腕のある人。

二、立候補地區は、有望なる地區に集中する方針をとり、亂立をさけること。

三、社會大衆黨、その他の無産團體のある場合には協力し、効果をあげる様努めること。

四、立候補せざる縣聯に於ては、近くの立候補地を積極的に應援すること。

五、新選舉法について充分研究し、選舉開争準備をぬからぬこと。

總本部は選舉對策委員會を設け、各地區聯のそれと連絡をとつて、全國的な活動を展開する。

○參考

全農關係の有望なる立候補地區 京都附第二區、大阪府第五區、新潟縣第二區、同第三區、群馬縣第一區、千葉縣第二區、栃木縣第一區、奈良縣、靜岡縣第二區、山梨縣、長野縣第三區、宮城縣第一區、秋田縣第一區、同第二區、岡山縣第一區、香川縣第一區、高知縣第二區、福岡縣第四區。

別記 二

選示第一號 總本部選舉開争開始、選舉委員出動用意、開争基金應募

一、選舉對策委員會

選舉對策委員會は左記に設け諸般の事務をとりまします。

大阪市外布施町東足代二三 全農總本部

對策委員は岡田宗司、西納楠太郎、竹治豊、江田三郎、稻村隆一、八百板正君(以上のうち、岡田、西納、竹治君は常駐)。

他に大西俊夫、伊藤實、西尾治郎平、池田恒雄、鈴木政一郎、岡崎和郎、稻村順三の總本部員諸君は選舉中對策委員會に常駐のこと。

二、選舉委員

第一回中央委員會は選舉委員を左の如く選任いたしました。各縣聯代表として最低一名の制です。

北海道 山名正實君、青森 淡谷悠藏君、宮城 佐々木更三君又は日野吉夫君、福島 高木松太郎君又は八百板正君、栃木 大塚大一郎君、新潟 石田宥全君、茨城 高橋信二郎君、千葉 堀山君又は實川清之君、靜岡 福島義一君、東京 角田藤三郎君、山梨 秋山要君、岐阜 平工喜市君又は尾關善一君、三重 藤本忠良君及梅川文男君、奈良 竹村良一君、松本常七君、大 山俊峯君、大阪、兵庫 長尾有君及山口勘一君、鳥取 松本積善、佐々木隆太郎、大山初太郎三君、高知 岡崎精郎君及岡崎和 郎君及原上權二郎君、愛媛 渡邊國一君及佐竹歴平君。

三、選舉委員の出動

イ、選舉委員諸君は選舉期間中十日間乃至十四日間の豫定にて

ロ、大阪市外布施町全農總本部内對策委員會に必ず出動來所のこと。

ハ、大體に於て對策委員から希望日取を申し送りますから直ぐ出動日を回答せられたきこと。

ニ、旅費、實費支給の豫定。

四、選舉開争基金

總本部選舉開争基金は大體において一名十錢以上の割にて汎く募集して下さい、基金は現金若くは米又は切手ハガキ類にても結構です。

いづれも

大阪市外市施町東足代二三、全農總本部選舉對策委員會宛

(驛止めは必ず、城東線——鶴橋驛止めのこと)

注意 委員諸君はなるべく有権者説明書を持参すること、事故あり不参の場合は代理人を出すこと。

別記 三

議會解散による總選挙に當つて宣言す

第六十八議會はついに解散された。官僚と民政黨とを主たる基礎とする岡田内閣はすでにその勢力を喪失して弱體を白日の下に曝け出し、野黨政友會は無政策、無氣力、しかも内部抗争のみ激しく次期政権擔當者としての實力なし。軍部は強力なりといふも自ら政權の樹立に進出する情勢になく、政局はきはめて不安定にある。かゝる不安定なる情勢の下に一ヶ月後に總選挙が行はれやうとしてゐるのだ。ブルジョア政黨、官僚軍部の政治によつてついに生活の安定を行なかつた。勤勞大衆は一體誰に次の政權を委ね、どの政策を支持するかについて、全く歸趨に迷ひ重苦しきファツシヨ的雰圍氣を破つて新興政治勢力の出現することを強く待望してゐるのである。ついで我々は、表明されたる民意の上に立つ政治形態の一として議會制度の原則を是認し、現在の如き不備不完なる選挙法と議會制においてさい、尙且つ一般民衆の政治的自由獲得のために、労働者、農民、市民の發言權とを最大限に生かすために我々の代表を議會に送らんとするものである。

我が全農の政治活動における態度はつねに日常闘争において活潑にして、全国的に統一されたる強力なる大衆政黨との緊密なる協力を目標としてゐる。それ故に現在において第一に社會大衆黨を協力してこれが向上と強化に努め、第二に社會大衆黨を支持し協力せざる諸團體と接觸してそれらの團體と社大黨との接近提携に努める。

この方針に對して徒らに反する如何なる勢力をも戦ひながら微力なりと雖その努力をいたしたるのであつた。いまや來るべき總選挙は、その成果の如何を問はず無産政治勢力が若干の進出をなすべきときである。従て全農の前述の政治的態度もさらに前進すべき時機を迎へ、又その可能なることを確信するべきである。

今次の總選挙に際して無産政治運動の躍進のためにも、貧農の意向を代表し貧農のために活動する代議士を議會に立たせるためにも、全農を擴充するためにも、我が全農員及全農關係者の選挙必勝を期して全精力を集中して戦はなくてはならぬ。

全農關係立候補者確定地區

同豫定地區

大阪第五區	杉山 元治郎氏	宮城第二區	福岡第四區
岡山第一區	黒田 壽男氏	新潟第二區	香川第一區
新潟第三區	三宅 正一氏	長野第三區	秋田第一區
秋田第二區	川俣 清普氏	千葉第二區	

一九三六、一、二一

全國農民組合總本部

(ロ) 日本労働組合全國評議會

無産政黨左翼陣營は昭和三年労働農民黨の解散以來振はず、又昭和四年に結成せられたる労働農民黨の全國労働大衆黨に合同以來全國的政黨を有せず、一は全國労働大衆黨（後には社會大衆黨）に屬し、一は労働組合或は農民組合運動等により合法的政治運動を進めつゝありたり。かくて社會大衆黨に屬する舊労働農民系の一部は所謂労働派として小數乍ら一派をなし、同黨一部幹部に對して反抗的氣勢を示し左翼労働、農民組合特に日本労働組合全國評議會等と接近せり。又一方組合運動の方面に於ては日本労働組合全國評議會を中心とし、日本交通労働總聯盟及び全國農民組合其他左翼無産團體の各派と共に地方的に無産團體協議會等の名稱の下に時局問題に關し共同運動を試み、一面に於ては労働組合の全的合同或は労働提携を唱へて無産階級の戦線統一を絶叫し、他面に於ては専ら階級主義に立脚してファツシヨ化排撃を強調し、社會大衆黨とは極めて微妙なる關係を示せり。而して斯る情勢の下

に今回の總選舉に直面せるが東京府第五區に於ては加藤勘十と麻生久の對立を生じ兩者の最高點争は頗る興味を惹きたり。

日本労働組合全國評議會は昨年十一月の第二回大會に於て「總選舉對策の件」を決議し、更に本年一月十一日選舉對策委員會を開催し選舉闘争に關する根本方針を決定し、翌十二日付指令第一號(別記一)を以て下部組織に對し之が方針を指示すると共に一月十七日には其友誼團體たる交總、全農等の諸組合と、労働組合法小作法獲得勞農大會を開催し、其友誼團體との關係を緊密ならしめ其連携を計れり。

別記一

指令第一號 一九三六、一、一二

日本労働組合全國評議會總選舉對策委員會

一、選舉對策に關する件

フルチョア政局の動向は明瞭に第六十八議會再會後、數日を出でずして解散されようとしてゐる。我が全國評議會は、常任中央執行委員會の下に總選舉對策委員會を組織し、來るべき總選舉闘争に對する基準を協議した。我が選舉對策委員會は次の如く指令す。

- (一) 來るべき總選舉に對しては出來得る限り積極的に總選舉戦を開ふこと。
- (二) 廣汎な未組織大衆をも動員する無産政治闘争をかきたてる機會とすること。
- (三) 労働組合の統一戦線のために、勞農提携の強化のために、地方勞農協議會を確立すること。
- (四) 候補者の選定について
- イ、出來るだけ独自の候補を立てること。

ロ、独自の候補なき時は、當該地方無産團體協議會或は勞農協議會の如き友誼團體間の協議によりて當該地方の推薦すべき候補を立てること。

ハ、社大黨其他の所謂無産候補に對しては當該地方組合機關に於て態度を決定し、本部の對策委員會に上申し裁定をあはぐこと。

(五) 應援闘争について

イ、全國評議會として独自の候補を立て、全勢力を集中すること、即ち闘争基金、推薦演説者を集中すること。

ロ、全農、水人社、社大黨の一部、階級的候補者のためには積極的な應援運動をなすこと。

(六) 投票について

イ、フルチョア政黨、ファツショ政黨には絶対に投票してはならぬこと。

ロ、社大黨其他の無産候補に對しては充分批判し、階級的候補にのみ投票すること。

(ハ) 社會大衆黨

昭和七年社會大衆黨の結成以來、同黨は我が國無産陣營に於ける中間、右翼派を代表する只一の全國的政黨たる觀を呈したりしが、所謂日本主義乃至愛國主義等の國家主義運動の勃興と、國家主義派の背反並に社會大衆黨の運動方針に慥らざる左翼派の離反等により、無産階級の全面的糾合意の如くならず、昭和八、九年の市町村會議員總選舉等に於ては専ら守勢的態度を持し、地方議會の議員數は激減の傾向すら現はれたり。併し乍ら黨は社會情勢の變化に鑑み、黨勢の挽回擴張に腐心し、從來の公式的理論闘争を排し、階級闘争主義を緩和し、建設的實踐運動に専念し、昨年の府縣會議員總選舉

に於ては驚異的進出を遂げたり。固より昨年の府縣會議員總選舉に對する選舉對策は猶瀟踏的傾向あるを免れざりしが、今回の總選舉に對しては大會に於ける安部黨首の演説（黨の政黨運動が漸く軌道に乗りたる旨）竝に實際運動等に徴するも極めて積極的なるが如く看取せられたり。

同黨は毎年慣例の如く議會解散要求運動を繼續し、從つて立候補地區の選定も毎年之を行ひたるが、本年一月十八日第四回大會に於ては議案「總選舉政策要綱」(別記二)、「議會解散選舉肅正に關する件」(別記三)を可決して其立候補地區(別記一)を内示せり。而して一月二十日議會解散を命ぜらるゝや「議會解散に對する聲明書」(別記四)竝に指令第一號「選舉鬭爭指令」(別記五)を、一月二十七日には「選舉公報草案」を、二十八日には指令第二號「總選舉情勢竝に鬭爭の組織について」(別記六)、指令第三號「公認申請に關して」及び通達第三號「立候補せざる地區」を支部竝に聯合會其他關係方面に發送して黨の選舉に對する具體的方針を明かにせり。

又三十日には政見發表演説の資料として「最近の社會情勢と社會大衆黨」と題する印刷物を發行し、二月五日には社會大衆新聞第八十號を總選舉特輯號として刊行し、之等を關係方面に發送し、更に二月八日には委員長のメッセージ(別記七)を各候補者及び選舉事務所に發送し、同時に選舉對策委員會は同日付を以てメッセージ、言論戰の動員、最後の突撃、黨の機關紙等に關し通達を發して注意する等同黨の候補者其他選舉關係者の便宜を計れり。

又選舉戰の酣ならんとするや、二月十日東京市日比谷公會堂に於て關東大會を開催し「勤勞議會政治の建設、大衆的増稅反對、國民年金制の即時制定、民衆商工金庫の設置、重要産業の國營化、農産損失の國家補償」の六項目の實現を期する旨決議し別記(八)の如き宣言を可決せり。而して本大會終了後引續き演説會に入り、淺沼稻次郎(第四回普選に直面して)、中村高一(民衆富んで國防全し)、片山哲(我黨の社會政策に就いて)、阿部茂夫(中小商工業の要求)、鈴木文治(我黨の産業勞働政策)、麻生久(國內改革の斷行……「現在軍部ノ役割ハ幕末ニ於ケル水戸藩ノ役割ヲ果スモノデアル云々」中止を命ぜらる)等の演説あり、是等の演説は一般聽衆(約二千五百名)に對し尠からず感動を與へたり。

同黨は選舉戰本來の目的は「各黨の政策鬭爭」なりとし各派との立會演説を計畫し、二十八日の別記指令第二號に於て、對立各派候補者との立會演説會(兵庫縣第一區の候補者は二月二日、政民兩黨の候補者と立會演説會を開催せり)を指令し、又一月三十日には緊急常任執行委員會を開催して「東京に各政黨代表の政策發表大立會演説會を開催し、ラヂオを以て之を全國に中繼すべき」ことを決定し、三輪選舉對策委員長外二名をして政友會、民政黨、國民同盟、昭和會等を訪問して提議書を手交せしめたり(實現せず)。

而して選舉期日の切迫するや二月十八日都下各新聞社に對し「總選舉決戰聲明書」及び「棄權防止に對する協力を要請す」と題する聲明書及び要請書を發送し各新聞社の協力を要請せり。

又選舉取締に關しては黨は細心の注意を拂ひ、選舉肅正運動の外、一月二十三日には内務省を訪問し、選舉運動（特に會場に對する無產政黨と既成政黨との差別除去）に關して陳情し、又同黨大阪府聯合會に在りては、一月二十四日其代表十四名、大阪市役所を訪問し、所謂市の内訓（市の一般吏員雇傭員に對し選舉運動は嚴に之を避くべし）に關し抗議せり。

選舉肅正運動に關しては昨年の府縣會議員選舉以來特に意を用ひ、本年に入りては一月十三日、内相に對し「選舉肅正に關する要請書」を提出し、第四回大會に於ても之を決議すると共に、總選舉闘争指令第一號にも之を明記して黨員の公明正大なる行動と違反行爲の絶無を期せしが、今回の選舉肅正運動は同黨年來の主張なりとて、一月二十二日には更に緊急常任委員會を召集し、委員長安部磯雄より候補者の選舉費用を一千五百圓程度に切り止むべき旨提案あり、是に對しては可及的に其範圍に於て運動すべく申合をなしたり。

以上の如く黨の選舉運動は概して綿密周到、而も其統制に關しては從來殆ど見る能はざる所（勿論東京市第五區の如く黨員の他派應援の事實は一、二ありたるも）なり。特に政策に於ては日常の勞働、農民、市民運動と相俟つて無產大衆の關心を唆るもの多く、同黨の選舉に對する活動には相當見るべきものありき。

別記一

東京一、二、三、四、五、六、七區、京都一、二區、大阪一、二、三、四、五、六區、神奈川一、二、三區、兵庫一、二區、新潟二、三區、埼玉一區、群馬一、二區、栃木一、二區、愛知一區、静岡二區、山梨、岐阜二區、長野二、三區、宮城一、二區、岩手一區、青森一區、鳥取、廣島二區、高知一、二區、福岡一、二、三、四區、愛媛一區。

(注)（實際に於ては○印の各區及び秋田二區、兵庫三區、廣島一區、熊本一區にて立候補せり。）

別記二

總選舉政策要綱

中央執行委員會

來るべき總選舉は、滿洲事變以後我國が政治的、經濟的、社會的に深刻なる轉換を経て以後の最初のものである。この四年の間に、從來資本家階級の代辯者として政權の中心にあつた既成政黨は、その地位を失つてしまつて、今日では軍部及び官僚の驕尾に附するところの衰れなる存在となつてしまつた。然しながらまた今日の政權の中樞にあるところの軍部官僚も、既成政黨と或る程度に對立しながら、いふまでもなくそれ自身が統一ある政治勢力ではないのであるから、議會において獨占的勢力を維持する既成政黨と妥協せざるを得ず、一切の勢力は依然として舊態のままに今日まで墮勢を保つて來たのである。

既成政黨は何故に政權を失つたか。現象的には軍部の強壓によるかの如くであるが、もしも彼等にして國民の支持を確信することが出来たならば、何を好んでか退却に退却を重ねたであらう。既成政黨没落の眞の意味は、彼等が議會を獨占して國民大衆の裏心の要求に耳を藉さなかつたからであり、而してそれはブルジョア政黨としての彼等の本質であるからである。

今や我黨は議會のかくの如き性質を斷乎として革新し、議會政治を眞に勤勞大衆の議會政治として謂はゞ新たに建設せんがために戦はんとする。これこそは他の一切の國家の革新社會の改造の前提であり、そしてそれを爲し得るものは我黨を措いて他に

はない。

二

然らば今日國民大衆が議會に對して要望してゐるところは何か、我等はこれに對して、消極的には租稅負擔の重壓からの解放であり、積極的には國民生活安定のための徹底せる社會政策的施設であると答へる。

たしかに既成政黨は、資本家的租稅制度により、國費の大部分を生活困難なる勤勞大衆の肩に負擔せしめ、しかもその國費は大部分を資本家的に使用もしくはば／＼濫用し、必要な社會的施設にさへもほとんど支出しなかつたと言つてよい。言葉通りに、持てる者は與へられ、持たざる者は、與へられなかつたばかりでなく却つて奪はれたのである。既成政黨が没落して軍部官僚の政權がこれに代つた後においても、事態は少しも改善せられなかつた。のみでなく、逆に軍事費の増大によつて大衆負擔はますます／＼加重せられ、社會的施設はますます／＼阻止せられざるを得なかつた。軍部バンフレットの所謂廣義國防の精神は何處に行つたのであるか。

我等は固より國民大衆のかくの如き要求を掲げ、生活の安定並びに向上のために戦はんとする。國民生活の安定なくして、何の軍備、何の國防ぞ。然しながら、そも／＼今日の我が國民窮乏は租稅制度もしくは財政々策に基因したものであつたらうか。否、否、その根柢に横はるものこそは社會の資本主義的なる建て前そのものではなかつたか。既成政黨は本質的にこの建て前に結びついてゐるのであり、我が社會大衆黨はこの腐朽し頽廢したる資本主義を打破して新らしき社會を建設することをもつて本質とするのである。

昭和十一年度總選舉政策

一、中心スローガン

- 一、先づ國內改革の斷行！
- 一、民衆富んで國防全し
- 一、過去か未來か、既成政黨か大衆黨か

一、肅正の一票は大衆黨へ

一、中心政綱

- 一、勤勞議會政治の建設
- 一、大衆的増稅反對
- 一、國民年金制の即時制定
- 一、民衆商工金庫の設置
- 一、重要産業の國營化
- 一、農産損失の國家補償

一、選舉政綱

政治政策

イ、選舉肅正の徹底

- A、買収犯の嚴罰
- B、混同開票制の採用
- ロ、選舉法の即時改正
- A、大選舉區（一府縣一選舉區）比例代表制
- B、有権者年齢を滿二十歳まで低下
- C、選舉公營の徹底

ハ、職能代表による貴族院改革

ニ、國民經濟會議の設置（内閣審議會の廢止と内閣調査の根本的改革）

ホ、内閣制度及行政機構の改革

財政政策

- イ、軍事費の標準化
- ロ、税制の根本的改革
 - A、大衆課税の廢止
 - B、綜合財産税の創設
 - ハ、社會的地方交付金十億圓
 - ニ、國債利子支拂猶豫
- 産業政策
 - イ、重要産業の國營
 - ロ、配當制限法の制定
 - ハ、農業損害保險の創設
 - ニ、中小商工業者及農民の生産資金の無擔保金融
 - A、民衆商工金庫の創設
 - B、國立農業信用銀行の創設
 - C、農家借金支拂猶豫
 - ホ、都市農村の均衡化

社會政策

- イ、國民年金制（養老、寡婦、孤兒年金制の確立）
- ロ、労働者保護法の制定
 - A、労働組合法の制定

- B、海員法の改正
- C、労働者最低賃銀法の制定
- D、失業保險制の確立
- E、母子扶助法の制定
- F、商店員保護法の制定
- ハ、小作法及小作組合法の制定
- ニ、國民健康保險制の確立

外交政策

- 一、我黨は立憲以來國際平和確立の基調に立ち、急迫する資本主義的戰爭の危機克服、激化する對立國際關係調整の爲めに戦ひ來つた。即ち滿洲事變に對する批判、滿洲國を自主的なる民族獨立國家として成立させる爲め治外法權の撤廢、鐵道附屬地その他滿洲國に於ける權益の讓渡、北鐵買收、更に國際聯盟脱退反對、日ソ不侵略條約の提唱、日支平和工作の促進、太平洋安全保證條約の設定等を強調した。
- 二、我等は如上の我黨の國際政策を、最近の國際情勢に照應し、發展せしめ左の如き外交政策を提唱せんとす。
 - イ、自足・孤立・プロック經濟主義に反對し、市場、資源の解放、貿易の自由
 - ロ、滿洲國の經濟建設に對し
 - 1 資本主義政策への逆轉を阻止し
 - 2 自主的なる民族獨立國家としての發展を助成し、その爲めに滿洲國に於ける一切の權益の讓渡、統一的なる經濟工作の助成。
 - ハ、極東被壓迫民族の提携
- 極東平和、アジア被壓迫大衆の解放、社會主義建設の見地より、東洋に於ける被壓迫大衆の新國際的團結を提唱す。即ち日

本資本主義打倒、支那、インド、フィリッピン及びその他極東諸國に於ける英米資本主義並に土着資本主義の打倒による東洋被壓迫大衆の提携。

ニ、日支國際關係の整調

ホ、日ソ不侵略條約の即時締結

ヘ、太平洋安全保證條約の締結

ト、海軍軍縮問題に對し

建艦競争を廢絶し平和構作を積極的に發展せしむること。

別記三

議會解散選舉公正に関する件

中央執行委員會

主 文

我黨は岡田内閣に向つて再度、第六十八議會の解散を斷行、暗害低迷行詰れる政局を打開して人心一新の爲めに選舉戦を敢行す可きことを要求し來つた。今や議會劈頭解散の要望は國民大衆の輿論である。岡田内閣は小策を弄せず既成政黨の術策を顧慮せず澎湃たる大衆の聲に聞き再び議會の解散を斷行す可し、更に總選舉戦に於いて選舉公正を徹底せしめ特に惡質なる買収犯の根柢に向つて苛酷なき鐵鎚を下し腐敗選舉の惡弊を一掃す可し。

理 由

(報告書記載議會解散再要求書、選舉公正要請書参照のこと)

別記四

議會解散に對する聲明書

第六十八議會は遂に劈頭解散となつた。澎湃たる民衆の要望が政府及び既成政黨の因循姑息なる解散回避政策を押し切つてしまつたのだ。民衆の要望を背景とした我黨屢次の要求が貫徹したのだ。

我黨は何故に議會解散を要求したか、我等は一岡田内閣または、一政友會の片々たる政策、または行動のみを捉へてこれを要求したのではない、既成政黨そのものによつて獨占されたる議會そのものが、彼等の本質からして腐朽し、頽廢し、民衆の生活の利益を代表し得ざるに至つたからである。

従つて問題は、もはや政友か、民政かではない、舉國一致か、政黨内閣かでは勿論ない。今日の問題はすでに資本主義か、民衆の生活かであり、既成政黨か、社會大衆黨かなのである。

今や議會解散によつて政治情勢は更に進一轉した。さらば勇躍、總選舉によつて勤勞大衆の政治勢力を議會内に確立し、もつて現状打破の戦に進せんことを期す。

昭和十一年一月二十一日

社會大衆黨本部

別記五

指令第一號

總選舉開爭指令

第六十八議會は一月二十一日遂に解散せられた。今こそ我等は多年の鐵火の間の成果を集結し、一舉に老廢既成政黨を迎撃せねばならぬ、全國の全黨員よ奮起せよ、我等は斷然總選舉戦を勝利し、政治の第一線に進出し、國民大衆の要望を體して國家革新の爲に闘はねばならぬ。

普選第四回總選舉戦に際し左の如く指令す。

一、候補者の決定

イ、候補者の氏名、年齢、職業、住所、開爭經歷、寫真並に入選に至る迄の黨機關に於ける意見決定等の書類を取揃へ黨本部

總選舉對策委員會に正規の公認手續を取る可し。

ロ、公認申請書には必ず本部闘争基金五十圓也を添付す可し。

二、立候補なき地区の闘争

イ、立候補なき地区はその旨を直ちに電報にて本部に通告す可し。

ロ、黨の闘争を選舉肅正運動と結びつき選舉監視の闘争と爲す可し。

ハ、立候補なき地区の有力黨員は立候補地区に動員すること、但しその他の場合は必ず本部の承認を求む可し。

三、肅正選承に就て

イ、選舉肅正は黨として屢々當局に要求し、その徹底を期せんとするものなれば、黨員は此の趣旨にもどることなき様公明正大に行動す可し。

ロ、形式的違反行爲も選舉の結果に不利を招くものなれば、運動員は選舉法に注意して違反行爲の絶無を期すべし。

別記六

指令第二號

總選舉情勢並に闘争の組織について

一、總選舉戦は今や第一期準備期を過ぎて愈々言論闘争期に入つて戦ひは激烈ならんとしてゐる。我黨の選舉闘争は飽迄正攻法をとり言論戦に全力を集中し、殊に演説會の組織については府縣會選舉戦の經驗を結集し、黨の總選舉政策を強調し、この點に於いて既政政黨を斷然壓倒す可し。

二、演説會の應援辯士は

イ、一人は候補者の闘争履歴を詳細に述べ、無産運動に於ける地位及びその議會に於ける闘争力を推稱し、個人的、社會的人格を有權者に極力訴ふ可し。

ロ、一人は黨の政策を強調し徹底的に有權者の肺腑に浸透せしむ可し。

ハ、各辯士は論旨を代へ、同じ内容構成を有たざる様注意し、演説に變化を求めねばならぬ。

ニ、演説はあくまで氣魄を以つて嚴肅に、眞剣に、惻々として人に迫るものたる可し。

三、言論戦の方法について

イ、宣傳戦は大體之れを三期に分け、第一期は最大限に聽衆を動員吸集する爲め、嚴肅の中にも興味を加へ、明朗性をもたせ、人氣を我黨候補の演説會に集中せしむるよう努力す可し。

第二期は堂々たる態度を以つて理論的に正面から我黨の政策主張を訴へ、迫力を以て聽衆を引きつく可し。

第三期は情に訴へ聽衆の感激と人間性を握む可し。

四、我黨候補必勝當選の秘策

イ、府縣會選舉戦の組織を以つてすれば我黨必勝の第一要程は先づ言論戦に於いて歴史的勝利を把ることである。即ち聽衆の大動員を行ふことである。

ロ、聽衆吸引の方法はピラをなる可く多く撒くこと、聽衆数はマキピラの枚数の百分の五と思へ、一千人の聽衆を動員せんとせば二萬枚のピラを撒け。

ハ、従つて勞務者は精選し眞に我黨勝利の爲に身を以つて當る可き眞摯、活動的青年を採用す可し。

六、立會演説について

イ、我黨候補者は對立既成黨候補に對し立會演説會を申込む可し、立會演説會に於ける言論の勝利は人氣を把む最もよき方法なり。

別記七

委員長のメッセージ

親愛なる 區有權者諸君

私は、今回の普選第四次總選舉戦に際し、社會大衆黨を代表し一言御挨拶を申述ぶることを非常なる光榮と存じます。

前回大衆内閣の下に行はれた總選舉より歲月を経ること四年、この四年は日本の社會に實に深刻なる變化を捲き起し、所謂非常時を惹起したものであります。

五・一五事件は資本家階級と其の政治的代辯者たる既成政黨に一大打撃を與へたのであります。既成政黨は此の一撃を蒙つて脆くも崩壊の道を辿り始めました。その結果は、一時日本の社會はフアツシヨの嵐に吹き捲くらるゝの觀を呈したのであります。

併しながら、一時熾烈に燃え盛つた此のフアツシヨ的空氣も、時と共に下火となり、今やまさに消え去らんとするに至りました。而してフアツシヨ的空氣の退潮と共に、新らしく今勃興し來つた氣運こそは、選舉肅正の國民的運動に依つて裏づけられつゝある新議會政治建設の大勢に外ならぬのであります。

何故に五・一五事件は勃發したのでありませうか。議會政治が今日の如く不信用となり、既成政黨が今日の如く没落するに至つたのは何故でありませうか。

顧るに五・一五事件勃發以前、日本の議會政治は果して如何なる状態に置かれてゐたのでありませうか。大正九年以來の不景氣は年と共に深刻となり、爾來十五、六年間、労働階級、農民階級、中小商工階級、知識階級は、窮乏のどん底につき落され失業の苦痛に喘ひで、深刻に政治的、經濟的政策を要望し來れるに拘らず、議會は、資本家階級の代辯者たる政、民兩既成政黨に獨占せられ、その結果は、議會は國民大衆の要望する政治の舞臺たる性質を失つて、徒らに、既成政黨の疑獄事件發生の温床と化し、世人は議會を呼ぶに『日比谷の猿芝居』を以つてするに至つたのであります。一國の政治の中心が斯くの如き状態となつては、國家の危ふきこと累卵の如く、國民大衆が既成政黨と之に獨占せらるゝ議會に對して憤懣するに至るは理の當然と言はねばならないのであります。五・一五事件勃發の原因は實に茲に存したのであります。既成政黨の大多數は、其の代議士たるや、政策の上に立つて正しく當選したるにあらず、権力と金力に依つて之を贏ち得て居たのであります。政黨内閣に於ける内務省は與黨の全國的參謀本部であり、内務大臣は參謀總長であり、縣知事の如きは與黨の運動員に過ぎなかつた。斯くの如くして、無産黨を彈壓し、反對黨を交々彈壓して獲得した代議士であります。何等眞面目な政治的意味を有しない既成政黨が五・一五事件に

依つて崩壊の道を辿るに至れるに對し、國民大衆がこれに何等支持を與へずして拍手喝采したのは、蓋し當然と云はなければならぬのであります。

有権者諸君

併し乍ら、五・一五事件勃發に依つて既成政黨が一敗地にまみれたるに對し、これ國民大衆がフアツシヨに賛成したのであると断定するは餘りにも早合點であります。惟ふに日本の議會政治は明治大帝が憲法によつて定め給ふたところのものである。日本に於て、明治大帝の定め給ふた憲法が、少數者の暴力によつて蹂躪せらるゝ等と云ふことがあり得るでありませうか。そういうふ事は出來得ないことである。單にそればかりではない。日本の社會情勢は、フアツシヨの生れた伊太利、獨逸とは全く異つて居るのであります。日本に於いてロシアに發生した共產黨の運動が國情と社會事情とに合はざるが故に成功せざると同じ意味に於いてヒットラー、ムツソリニーの運動も亦日本に成功しないのであります。日本精神を高唱する所謂反動派や、愛國團體が、皇室の存在と相背反するムツソリニーやヒットラーを崇拜して之を模倣せんとする如きは、笑ふべき矛盾と云はなければならぬのであります。

有権者諸君

フアツシヨ的空氣の退潮と共に、選舉肅正の聲が朝野の國民的運動となつて現はれて來た、然しながらそれは單に買収や戸別訪問や干渉を行はしめないと云ふだけの單純な意味ではない。金權の爲めに歪められ來つた選舉を肅正することによつて、迫りつゝある國家の改革を、フアツシヨ的な建前、換言すれば、少數者の獨裁的な暴力に依らず、國民大衆の總意の上に立脚する合理的な建前の上に行はしめんがために、新しき議會政治の建設を國民大衆が要求してゐることを意味するのであります。

然らば、新らしき議會政治の建設とは何であるか。それは政治を再び五・一五事件の以前に返して、政、民兩既成政黨に議會を獨占せしめ、議會をして、疑獄事件の温床たらしめ、無意味なる政權爭奪場たらしめ、『日比谷の猿芝居』の舞臺たらしむるためでは斷じてない。即ち議會の中に資本主義に對する革新的新興勢力、労働階級、農民階級、中小商工階級、智識労働階級の生活を代表する勢力を進出せしめ、議會をして、資本主義改革、國家革新の眞の舞臺たらしむる事でありませう。

有権者諸君

選挙正は、従来既成政黨が行ひ來つた投票の賣買を禁ずることであり、政黨内閣に依つて行はれ來つた選挙の干渉を禁ずることでもあります。即ち既成政黨の手に依つて長い間行はれ來つた金力權力の選挙を排撃し、有権者を投票に對する自由の立場におくことでもあります。金力の誘惑、權力の束縛から有権者を解放し、自由の意志の下に、自己階級の求むる政治的政策に向つて正しき一票を投ぜしむることでもあります。如何に立憲政治と云ひ、また形式上投票に依つて國民は政治に發言權を有すると云つても其の投票が金力に誘惑され、因縁情實に左右され、權力に歪められてゐたのでは、投票そのものに政治的意味はないのであります。選挙の正に依つて、各人が自分の生活に基き、正しく政治的政策の上に一票を投ずるに至るならばその結果はどうであらうか。資本主義のために苦しめられて居る國民大衆の投票は自ら、資本主義を改革して國民大衆の生活の安定を志す無産政黨に投ぜらるゝに至るは理の當然であります。

果せるかな、選挙正の下に行はれた過ぐる府縣會議員選挙に於いては我が社會大衆黨は歴史的進出を遂げたのであります。而して今回の衆議院選挙に於いても、輿論が我黨の進出を信じつゝある所以であります。ファッショ的空氣を退散せしめて政治を國民大衆の基礎の上に置き、國家改革の偉業を國民大衆の手に依つて行はんとする道は唯一つ、資本主義の反對勢力たる國民大衆の生活を一身に背負つて立つ我が社會大衆黨を議會に進出せしめて、新らしき國民大衆のための議會を建設することであり、之は唯々我々が欲するばかりでなく、日本の國情と社會の情勢とが欲しつゝあるのであります。さればこそ我黨の進出に道を開らく選挙正運動が國家の聲となつて、澎湃たる國民的運動となり來つたのであります。

我々は今回の總選挙に對してかくの如く重大なる意義を感じつゝあります。願はくば社會改造、國家革新の偉業に協力せんがため我黨候補者〇〇〇〇君に絶大なる支持を賜はらんことを、切望に堪へないのであります。

昭和十一年二月 日

社會大衆黨

中央執行委員長 安 部 磯 雄

別記八

宣言草案

今や昭和政戦史上に特筆大書さるべき普選第四次總選挙戦が全国的に展開されつゝある。

戦ひは既に開始された。今こそ我が社會大衆黨が、全日本の勤勞大衆の代表として、頽廢せる資本主義と、その代辯者たる既成政黨に對し、堂々の迫撃を加ふべき秋である。

滿洲事變以來反動の嵐の中に一時跳躍を擡いままにしつゝあつたファッショは早くも凋落の時刻に急速なる退潮を余儀なくせしめられつゝある。

既成政黨は既にその威信を全く泥土に遺棄し去り、軍部、官僚、又國民的要望に應答することを得ず、今や、又一つ、我黨のみが、勤勞大衆の眞實の黨として要望の焦點となつて居る。

今日に於ける政局の不安定は、即ち資本主義の政治的危機の表現である。しかも、外海軍々縮會議の最終的決裂は國際對立をいよ／＼と激化し、内、軍需インフレ、低價替輸出、その他一切の經濟恐慌克服の政策は逆に勤勞大衆の生活窮乏を擴大再生産しつゝあり、従つてこの政局不安は今や半永久化し、我黨によつて一切の資本主義制度を革新するにあらざれば、斷じて如何なる安定にも到達することは出來ないのである。しかも見よ、かつては四散五裂し抗争しつゝあつた勞働戦線、農民戦線も、着々として我黨の旗の下に整備統一されつゝある。

昨秋全国的に舉行された府縣會選挙は、我黨をブルジョア政權の對立的政治勢力として抜くべからざる地歩を確立せしめた。さらば我が社會大衆黨は國內改革の斷行、勤勞議會政治の建設の大旗の下に邁進また邁進、躍進また躍進、もつて資本主義の牙城に肉迫せん。

關東地方に於ける我黨の精銳を結集してこゝに大會を開催したるに當り
右宣言す

昭和十一年二月十日

社會大衆黨關東大會

第二節 國家主義各派

國家主義政黨運動は滿洲事變を轉期として勃興し、其の有力なる政黨（或は團體）の多くは其後に於て結成若くは發展を遂げたるものにして國家主義政黨の選舉運動を見るに至りしは極めて最近の事に屬す。

即ち昭和五年の總選舉には立憲養正會より、昭和七年の總選舉には大日本生産黨より各々一名の立候補を見たるに過ぎざりしが、其後昭和八、九年の市町村會議員總選舉には相當進出し、昨年の府縣會議員總選舉には無産各派と共に一大發展を遂げたり。

今回の選舉に當り實際的選舉運動を試みたる主要團體は皇道會、明倫會、新日本國民同盟、愛國政治同盟、國民協會、勤勞日本黨、立憲養正會等にして、大日本生産黨は吉田委員長を出馬せしむる方針を樹てたりしが、其後吉田益三は別記聲明書發表と共に立候補を斷念し、愛國團體の立候補者に対しては學黨應援すべき旨決議せり。

別記

聲明書

今回の衆議院議員總選舉に當り、大日本生産黨内外多数の各位より立候補すべしとの切なる勸告推薦を受けたのであるが遂に斷念するに至つた。

然して大日本主義による唯一の合法的政黨たる大日本生産黨の立場に立脚して、一應その理由を明確にする責任を有すると信するが故に此處に敢て聲明書を發表する次第である。

もとより吾が黨の主義綱領に依つても明らかなるが如く我等は欽定憲法に従ふものであつて議會に進出する事の維新工作過程に於ける戰略的意義を否定するものでなく、又過去に於て事實が證明すると同時に將來を通じて總選舉に際し候補者を立て、積極的に選舉闘争を展開する意志を有してゐるものであるが、必ずしも議會進出を以て、全部の戰術と思惟せざる事は言ふ迄もなく、かゝる戰術の取捨は即ち時の社會情勢に應じて選擇さるべきものである。

今や我が皇國はワシントン會議以來課せられたる屈辱差別的條約を廢棄し、不脅威不侵略の絶対平和主義を世界に唱導しつゝあるも、不幸にして歐米霸道國家の肯んずる處とならず、斯くて諸國の動向如何によりては我國民の重大決意を必要とするの時に直面し東洋諸民族の解放平和確立の指導的立場にある我國にありては今や對支、對蘇問題の根本的解決を迫られつゝある。

かゝる國際的情勢は必然的に我が國家財政の膨脹を余儀なくせしめつゝあるは云ふ迄もないが、ひるがへつて國內情勢を省みるに近來の官僚内閣は益々資本主義的統制經濟機構の強化に専念し無責任なる諸政黨は過去一切の罪惡を忘失し更に増長せるが如き行動あり、又一方農村の窮乏は愈々甚だしく、全國貧農の生活其の極に達す、中小商工業は潰滅の一途を辿り、深甚なる社會矛盾に更に拍車をかけつゝあるの一事は眞に寒心の至りに堪へぬ。

然るに岡田首相は第六十八議會再開、劈頭の施政方針演説に於て、斯くの如き國內情勢の一切を隱蔽し、對外貿易の好況に藉口糊塗して、景氣回復、農村不況緩和、失業減少を強調してゐるのである。我等はかゝる金權ファツシヨへの移行過程における官僚政治は之を斷乎阻止中絶せしめるべき任務を持つてゐる。

然して日本主義陣營に對する國民の支持は益々強化しつゝあるも、本質的に重臣閥、財閥一連の金權ファツシヨ群と相容れざるが故に彼等不當の強壓の前には吾等陣營の前途は相當多難なるを豫想せざるべからず、この場合に我等の内田總裁が病床にある事は更に又莫大なる支障をもたらす事を覺悟せねばならぬ。故に我等は當面の急務として強壓下の全日本主義陣營の有機的結合統一強化の問題を第一義となし而して民主主義思想並に時代迎合の灰色思想の撲滅を期す事、即ちこれが完成による維新決行

を圖るの秋であつて、今時にありては衆議院議員選出に全身没入の場合にあらずと思考するものである。

勿論政治的事實としての總選舉を無視して飛躍的理想社會に游離するが如きは絶対排すべきであり、寧ろ此の總選舉を通じても亦我等は前述の見透しによる或る種の工作完成を期するが故に、其の意味に於て此の總選舉には深く關心を有するものとも云ひ得る。然して獨自の選舉闘争を吾が大日本生産黨の全陣營を通じて最も果敢に實踐すべき秋もあるならむが、以上簡單ながら前述の見解に基き、今回の選舉に對しては深く考ふる所有り默殺する事に決意した譯である。而して専ら總裁の意を體して黨務に盡瘁し、大日本主義本來の使命、目的を達成すべく全日本主義陣營の強化統一に粉骨貢獻なすの決意を有す。

右聲明す。
昭和十一年一月

大日本生産黨々務委員長
吉 田 益 三

(イ) 皇 道 會

皇道會に在りては昨年十二月二十六日の常任幹事會に於て衆議院議員選舉對策委員を任命し、更に本年一月二十一日の常任幹事會に於ては「來るべき選舉に對しては嚴選主義を以て自力にて立候補する者を公認することに決定」したる旨の選舉對策委員會の報告を承認し、選舉ポスター「肅正の一票は皇道會へ。政治の革新は皇道會から。農村の興亡は國家の興亡。農村疲弊して國防なし。」との同會のスローガンを記すの發行及び立候補推薦文を選舉對策委員會に於て作成發送すること等を決定し、又同月二十八日の常任幹事會に於ては選舉應援に關して協議せり。

(ロ) 明 倫 會

明倫會本部は從來教化團體として活動しつゝありしが、近年地方議會に進出するもの相當多く漸次政黨的色彩濃厚ならんとする傾向あり。而して今回の選舉に當りては政界淨化革新の絶好の機會なりとて一月二十五日には各支部並に連絡者宛別記通知書を發し、又其機關紙「明倫」に於て「會員に檄す」(二月號)、「總選舉に就て」(三月號)と題し同會の選舉に對する方針を明かにすると共に會員を督勵せり。

別 記

今や衆議院議員總選舉も目睫の間に相迫り吾人多年の宿望たる政界淨化革新の爲絶好の機會と存候に付各地の同志諸君は結束を固くし支部の一丝亂れざる統制の下に差當り左記要綱に従ひ本目的達成の爲め御奮闘相成度此段得貴意候 敬具

- 一、候補者を擁立すべき支部は一致結束、全力を盡して其の候補者の當選に努力すること。但し政治結社ならざる支部は選舉運動を便ならしむる爲め立候補届出と共に政治結社としての届出をなすか、若し之を不便とする場合には新に適宜異名の政治結社を組織し之を届出て其名の下に行動するを可とす。
- 二、候補者を立てざる支部は勉めて清新にして健實なる中立分子の進出を援助すべし。
- 三、其他選舉に關しては昭和十年八月二十八日發行明倫新報號外「政界の淨化肅正に關する注意」を遵守すべきこと。

(ハ) 新日本國民同盟

新日本國民同盟に在りては昨年十一月十七日の全國支部代表者會議に於て「地方情勢に應じて代議

士を立候補せしむることを容認」せしが、本年一月二十八日「衆議院議員選舉闘争に關する件」と題する別記通達を以て同盟の選舉に對する方針竝に政策に關し各地支部宛指令せり。

別記

衆議院議員選舉闘争に關する件（通達）

今次の衆議院議員總選舉に對する我同盟の闘争方針に就ては、立黨以來一貫の主張たる非選舉黨としての根本精神は何等の變更なきも、昨年十一月十七日開催の全國支部代表者會議に於て決定したる運動方針書に明示せる如く、地方情勢に應じ、代議士を立候補せしむることを容認することとなしたるを以て、各支部・支部準備會に於ては、左記諸條件の下に適宜選舉闘争對策を講ぜられたし。

一、同盟員中より立候補せしめざる地方にあつては

(1) 同盟所屬以外の候補者に對し支部・支部準備會の決議によつて支持せんとする場合は、その理由を明記して本部の承認を経べきこと。

(2) 同盟員は、支部・支部準備會の決議を経ざる候補者に投票すべからざること。

(3) 投票すべき候補者なき地域にあつては、支部・支部準備會の決議に依つて適宜選舉闘争を展開すべきである。

イ、有效無効に論なく、理想の人物を投票すること。

ロ、遺憾乍ら棄權すべき場合がある。（その地域に於ける候補者が既成政黨、財閥、特權階級と因縁深き存在なる時、例へば足利尊氏、弓削道鏡を議政壇上に送るべからざると同一理由にて各自良心の命ずるまゝ棄權すべきである）

(4) 我が同盟は、政友會、民政黨、國民同盟、昭和會、社會大衆黨所屬代議士を絶対支持しないこと云ふまでもない。

一、立候補せしめたる地域に於ける闘争方針として同盟員一致結束極力奮闘すべきは當然のことであるが、その演說内容は、大體左記諸項目を力説すべきである。

(1) 皇國日本現下非常時の本質を十分に説明し、今後に於ていよいよ非常時の本舞臺に入るべきこと、即ち、日本民族が歴史的使命として皇道大精神に立脚する大陸經綸の遂行と、國內改造に於て一君萬民の國體の眞姿を顯現し一大家族國たる本質を完全に發揮するまで非常時は今後長く解消しないこと（錦旗國民軍本年一月十五日號（主張）「現下、國歩の危局と新興生命の結成」参照）

(2) 現状維持工作の爲に生れたる齋藤内閣とその後繼者たる岡田内閣は、遂に目的を達して今や再び政黨政治復歸の日が來た。即ち、今次の總選舉は政友會を野黨とし、民政黨、國民同盟、昭和會を政府黨とする對決戦となつた。この意味に於て在來の舉國一致内閣たる立場は放棄され、完全に政黨政治への復歸となつた。その背後に財閥あり、重臣ブロックあり、而して政黨がその走狗となつて跳梁することとなつたのである。これ、我國體本來の基調たる天皇政治と相容れざるものである。茲に再び政黨政治の弊害が鬱積することとなるは必然である。

(3) 高橋財政の破局を暴露すべきである。圓爲替の低落と産業合理化の結果に加ふるに歐米の産業不安に乗ずる我國輸出貿易の好調と、滿洲及び北支方面へのわが國力伸展に伴ふ輸出の激増と、國內に於ける軍需工業の急激なる股盛につれ、我が産業界及び財界は未曾有の活躍を示してゐる。而して、これが指標を握るものは高橋財政だと認識されてゐる。だが、本年末に於て九十七億圓に達する國債の累増は明年度末に於て百五億圓となり、更に益々累増山積せずにはゐられない國債の前途はどうなるか、高橋財政は成り行きまかせの無方針財政であつて、今日既にその破局は約束されてゐるのだ。

即ち、國內改造によらずんば、國家財政も破綻するのみならず、貿易の前途も暗澹であり大陸の經綸も目的は達せられぬこと。

(4) 國際情勢の危局は、大陸經綸の宿命的必要と共に國防の斷乎たる充實完備を必要とすること、従つて國防費は今後益々膨脹すべきこと。これに對應する國費捻出の途は高橋財政に於ては見出せない。

(5) 同盟が議政壇上より全國國民同胞に向つて叱呼せんとする根本國策は大要左の如きものである。第一に、大御心の徹底する政治の即時實現を期すること。これが一切の大眼目である。

第二に、國民の窮乏救済に對する當面の方策として左記各項目を即時實現すべきこと。

- (1) 肥料の生産販賣に對する國營斷行
 - (2) 米の國家專賣（自家用は自由とし、國家は專賣に依つて利益を收得せざる事を原則とす）
 - (3) 乾繭の國家專賣並に生絲、絹織物貿易の國營
 - (4) 失業者及び都市窮乏小市民の生産勞働への轉業並に大規模計畫による海外移住に對する徹底的補助獎勵
 - (5) 限定的負債償却の延期及び強制取立の一時停止を布告すること。
 - (6) 勤勞國民負擔の租稅輕減
 - (7) 電力國營、瓦斯公營の即時實施
 - (8) 百貨店營業の取扱品目種類の制限及び營業時間の制限並に特別利益課稅の制定を初め、其他緊急を要する社會政策の實施
- 第三に、財政樹直し並に行政整理其他に關し左記諸方策を即時實現すべきこと。
- (1) 高度累進的財政課稅の制定
 - (2) 資本收得利潤の制限法並に勞働者賃銀及び待遇法の制定
 - (3) 徹底的行政整理の斷行
 - (4) 國債並に地方債の利子を年利二分に改訂すること。
- 第四には、根本的綜合國策樹立遂行のため「國家企劃本部」を即時設置し、左記諸方策に對する根本企劃を確立し速に之が遂行を圖るべきこと。
- (1) 重要基本産業及び大規模重要生産業の國營並に國家管理
 - (2) 金融資本の國家統制より國營への進展、並に貨幣制度の改正
 - (3) 國家統制企劃による工業の地方分布並に農山漁村の工業化
 - (4) 國家總動員計畫の完成

- (5) 綜合的國立科學研究所の創設
 - (6) 新企劃に伴ふ國家財政及び地方財政の樹直しと行政機關の刷新整備
 - (7) 選舉法の改正（家族制度を根基とする複選舉法の採用）
 - (8) 樞密院制度の改正、教育制度の改正、醫療制度の改正
 - (9) 徹底的負債整理の斷行
 - (10) 廣義國防の充實と大陸經綸の確立並にその果敢なる遂行等々
- 以上の諸點を候補者なり應援辯士は國民に向つて力説すべきである。（本項については錦旗二月號佐々井委員長の「我等の主張」を熟讀せられたし）
- 一、立候補せしめない地方にあつては、同盟本來の日常開會として、在來の通り坐談會、講演會を開催して今日の時局に於て我等が貫徹を期すべき根本國策（前項記載）を指導方針として同盟員を指導すべきである。これ間接には信頼すべからざる他黨候補者の言論に迷はされない効果を生ずるのである。

(二) 國民協會

國民協會に於ては昨年六月既に二名（赤松克麿、津久井龍雄）の候補者と選舉スローガン（選舉國營、選舉界革正）を決定し、爾來選舉肅正遊説（岩手、青森、北海道、横濱市等）を試み又十一月上旬には赤松會長は「選舉肅正ト宣誓運動」と題するパンフレットを刊行頒布せり。而して本年一月赤松は山口縣第二區（後に北海道第四區）より、津久井は神奈川第一區より立候補すべく決定するや別記指令を發し、更に二月十三日には立候補者激勵の運動を展開すべき旨同日付達示を發したり。

第六十八議會も遂に解散を命ぜられ、今や全國に行はれんとする總選舉に當り、わが國民協會本部は、候補者として赤松會長（山口縣第二區）、津久井統務長（神奈川縣第一區）と決定、直ちに果敢なる闘争を展開することゝなつた。

尙ほ中央に於ては左の如く國民協會、愛國政治同盟、勤勞日本黨、大日本生産黨の四團體を以て愛國團體共同宣言を發表し、その宣言に基いて闘争を展開することに決定した。故に國民協會の立候補者無き支部に於ては共同宣言の精神に従つて本部との緊密なる連絡の下に愛國團體候補者の應援に努力されたし。

愛國團體共同宣言

非常時日本に於ける議會解散の本義は天皇政治の徹底確立以外になしと信ずる我等は今回の議會解散に對する政府の解散理由及び政黨の態度に絶對的に反對し爰に議會解散の大義徹底を期するために共同黨争を宣言すると共に各愛國團體より立候補をなし全國各地の選闘争舞臺に於ける有效且つ果敢なる集中的共同闘争に基き我等の宣言の實現を期す。

附 記

機關紙國民運動二月號は都合により休刊とす。

一月二十三日

國民協會本部

(ホ) 愛國政治同盟

愛國政治同盟は豫ねてより總選舉に對する愛國團體の共同闘争を提唱し各團體に對し策動しつゝありしが、一月二十一日同盟本部に於て愛國團體選舉闘争共同委員會準備會を開催せり。同會の出席者

は本同盟の陶山篤太郎外三名、皇道會の北山亥四三、國民協會の森本耕、生産黨の關根赤四郎、勤勞日本黨の深田吟次郎、傍聴者狩野敏（元神武會）等にして名稱、委員、スローガン、選舉區等の協定其他に關して協議せり。併し乍ら本同盟は舊日本國家社會黨の分列以來振はず選舉運動も小池四郎の個人的選舉運動を見たる外特記すべきものなし。

(ヘ) 勤勞日本黨

勤勞日本黨に在りては一月十五日「全國黨員諸君に懇ふ」と題する檄文（別記一）を、二十三日には（愛國團體共同宣言）（國民協會の指令中愛國團體共同宣言参照）を、又二月五日には（別記二）の如き「示達」を發して黨本部の選舉方針を指示せり。

別記一

全國黨員諸君に懇ふ

血を見ぬ改革は絶對に有り得ない。

我等は斯の尊き犠牲に對し我等の悲願達成の曉後に於てもとより冒されるは今更喋々を要しない。

滿洲事變を契機として新興日本主義運動の巨大なるタンクは一切の國內矛盾の根源たる現支配階級軍に對しその總退却を要求すべく總攻撃を開始した。即ち既成政黨、財閥、重臣ブロツク、自由主義軍一切の自由主義陣營は我等の儼然たる斯の國民的良心の前に惶惶として野合し、舉國一致の美名の下に齋藤、岡田の變態的内閣を偽造し、上聖明を蔽ひ奉り下萬民を瞞着せんと陰謀した。然も彼等の術數に陥りたる我が愛國革新陣營は戦線の不統一を最大の原因として異常なる混乱と沈滞への彷徨を餘儀なく強要されてゐた。

一方聯盟軍縮脱退善後處置、北支問題、露滿、南方生命線確保問題等々百積せる躍進日本を中心とする國際關係は日に日に急迫化し、血生臭い焔烟の匂ひが全世界にたゞよつてゐる。

内外共に斯かる深憂すべき重大時局に當面せる我等の任務亦重大なるは論の餘地なきものであらう。

斯かる重大任務を双肩に我等同志一統和衷協力、さきに母體たる黨の近衛師團とも云ふべき東京支部聯合會を結成し、黨の健康性を獲得し進んで全愛國戰線の無私統一を懇へ、舊十六日會を通して各友誼團體との連携を濃度化し、更らに日本勞働組合總聯合の提唱する日本主義勞働戰線統一に一臂の力を致し昭和維新への結實期に備へるに努力し來たつた。

黨は躍進する。

黨は躍進する。

然も我等は一旦の血氣に空花と散るの愚を避けて、計畫を細心に大膽なる行動を勇敢に展開すべきだ。怖れず怯るまず堂々と幕進すべしだ。

冬來りなば春遠からじ短くない陣營の不振時代にやがて來ん絢爛の春により良き實を結ばしむるため我等は前述の我等の希望たる黨の基本認識を全日本國民に徹底浸透せしむるための一手段として松谷總理の議會進出を決定した。

全國同志諸君より一層の努力と理解の下に本委員會の決定に滿腔の情熱を燃焼せられんことを希ふ。

綱領

- 一、我黨ハ國體ノ本義ニ基キ君民一如皇道日本ノ強化ヲ期ス
- 二、我黨ハ皇道經濟ヲ具現シ産業協力國民生活ノ安定ヲ期ス
- 三、我黨ハ現下ノ非常國難ヲ打開シ東洋平和ノ確立ヲ期ス

昭和十一年一月十五日

別記二

示遵

今回の總選舉に關し黨本部は全國黨員に對し左の通り示達す。

黨本部の選舉方針は我黨は選舉を第一の目的とする選舉黨にあらざる事は昨年施行せられたる全國府縣會選舉に際し示達せる通りである。然し今回の總選舉に當りては愛國團體の全面的な進出と選舉を通じ我々の主義主張を廣く國民全體に宣傳する爲先に徹を以て全國に通達したる意圖の下に選舉戰に臨まんとするものである。

具體方針としては、

- (一) 黨本部に於ては松谷總理の當選を期して斷然闘ひつゝある現状に對し全國より在京關係者に對し推薦狀を發送する事。
- (二) 全國支部及支部聯合會は黨本部に激勵の書面又は電報を寄せる事。
- (三) 滋賀縣聯より立候補せる梅澤氏に對しても同様の方法を講ずる事。
- (四) 黨の直接立候補はなくとも他の愛國團體より立候補せる地區は全力を舉げて其候補者を應援する事。
- (五) 然し愛國團體より立候補のない地區は支部又は縣聯の機關に於て適當なる方針を樹立する事。
- (六) 全國支部及縣聯は選舉情勢を適時本部に通知する事。

昭和十一年月 日

(ト) 立憲養正會

立憲養正會は近年會員獲得運動に狂奔し、昨年は會員百二十五萬獲得、運動資金三十萬圓調達の方針を建てしが、未だ其目標に達せずして總選舉に際會せり。併し乍ら今回の選舉は同會の存在を全國的に宣揚せしむる好機會なりとて總裁自ら出馬し總裁命令を以て他に六名を立候補せしめたり。而して二月三日には候補者氏名等を列記したる印刷物を作成し、全國支部並に新聞社宛發送し相當活潑なる運動を展開せり。從來同會は詳細なる政策は之を發表せざるを以て其政策明瞭ならざるも、各候補

者の政策、スローガン等を見るにその多くは天皇政治の確立を意味するものなりき。

第三章 無産並に國家主義各派の選舉結果

第一節 無産各派

無産各派の選舉對策は第二章第一節の如くなるが其選舉結果は次表の如く、社會大衆黨最も優勢にして無産各派は全體を通じ良好なる成績を収めたり。

政黨名	得票數	候補者數	當選者數	最高當選者數	次點落選者數	供託金還付者數
社會大衆黨	五八、八四四	三〇	一八	二	六	〇
全國農民組合	一九、七五五	二	一	一	一	〇
全農系中立	三五、三九一	二	一	一	一	〇
日本勞働組合全國評議會	五、七四八	一	一	一	一	〇
舊社民系中立	一一、〇九三	一	一	一	一	〇
全水系中立	一四、四三九	一	一	一	一	〇
士佐農民總組合	二、一七二	一	一	一	一	〇
計	六三、四七〇	三	三	三	七	〇

而して今回の選舉結果を前回の選舉に比較すれば無産各派の盛衰は政黨分野の變遷により個別的には比較不可能なるも無産各派を通じ總體的には次表の如し。

各無産政黨選舉成績年次別比較表

昭和三年				昭和五年				昭和七年				昭和十一年			
黨名	候補當選	得票	最高當選者數	黨名	候補當選	得票	最高當選者數	黨名	候補當選	得票	最高當選者數	黨名	候補當選	得票	最高當選者數
社會大衆黨	七	二〇、〇九元	一	社會大衆黨	三	一六、三四	二	社會大衆黨	三	一八、八四四	二	社會大衆黨	三	五八、八四四	二
日本勞働黨	三	八、五六九	一	日本勞働黨	三	一六、一四七	一	日本勞働黨	三	一六、一四七	一	日本勞働黨	三	一六、一四七	一
日本農民黨	四	一、〇七	一	日本農民黨	四	八、三七八	一	日本農民黨	四	八、三七八	一	日本農民黨	四	八、三七八	一
地方無産黨其他	六	四、〇三	一	地方無産黨其他	四	一九、六五	一	地方無産黨其他	四	一九、六五	一	地方無産黨其他	四	一九、六五	一
計	八	四九、七六	一	計	一〇	七九、二五	一	計	一〇	七九、二五	一	計	一〇	七九、二五	一
社會大衆黨	七	二〇、〇九元	一	社會大衆黨	三	一六、三四	二	社會大衆黨	三	一八、八四四	二	社會大衆黨	三	五八、八四四	二
全國農民組合	二	一、〇七	一	全國農民組合	二	一、〇七	一	全國農民組合	二	一、〇七	一	全國農民組合	二	一、〇七	一
全農系中立	二	三五、三九一	一	全農系中立	二	三五、三九一	一	全農系中立	二	三五、三九一	一	全農系中立	二	三五、三九一	一
日本勞働組合全國評議會	一	五、七四八	一	日本勞働組合全國評議會	一	五、七四八	一	日本勞働組合全國評議會	一	五、七四八	一	日本勞働組合全國評議會	一	五、七四八	一
舊社民系中立	一	一一、〇九三	一	舊社民系中立	一	一一、〇九三	一	舊社民系中立	一	一一、〇九三	一	舊社民系中立	一	一一、〇九三	一
全水系中立	一	一四、四三九	一	全水系中立	一	一四、四三九	一	全水系中立	一	一四、四三九	一	全水系中立	一	一四、四三九	一
士佐農民總組合	一	二、一七二	一	士佐農民總組合	一	二、一七二	一	士佐農民總組合	一	二、一七二	一	士佐農民總組合	一	二、一七二	一
計	五	二八、八三	一	計	一〇	七九、二五	一	計	一〇	七九、二五	一	計	一〇	七九、二五	一

備考 全國有效投票總數 昭和三年九、八三、七四。昭和五年一〇、四六一、一五。昭和七年九、七三、三三。昭和十一年一、一三、三〇七。

先づ立候補状況より之を見れば候補者は三十八名（新三〇名、前三名、元五名）にして前回よりは三名増加せしが、各派共其當選を第一目標とし、從來の如き單なる宣傳を目標とする候補者の擁立を避け、其統制亦宜しきを得て各派候補者の對立關係極めて少く、只東京第五區、福岡第二、四區の三區に之を見たるに過ぎず。而も東京第五區、福岡第二區の如きは當選の可能性多分に存するものなりき。従つて供託金不還付者は全然なく、昭和三年の十三名、五年の二十七名、七年の五名に比すれば此點のみを以つて見るも無産各派の選舉に對する態度の變化を窺ふことを得べし。

又各候補者の實際的運動を見るも往時に在りては宣傳的、賣名的運動に終始し其運動矯激なるもの尠からざりしが、昭和八、九年の市町村會議員總選舉以來此傾向は漸次清算せられ、穩健着實なる運動により當選を第一義とする傾向顯著となり、今回の選舉に於ては各派候補者は何れも言論及び文書戰に全力を集注し、言論戰に於ても東京府第五區に於ける全評關係者を除きては比較的穩健にして専ら人心の收攬に努めたり。

而して無産陣營殊に社會大衆黨の如きは地方的情勢に即し、中間國民層の獲得にも細心の注意を拂ひ専ら大政黨建設を目標として全力を是に傾注せり。

次に選舉結果を比較すれば得票數六六五、四〇七票、當選者二十四名（新二十一名、前三名、元五名）にして得票數三七七、五五二票、當選者數十九名の激増を示し、最高點當選者は十三名にして十三

名の増加を來たし、次點落選者は七名にして一名減少せり。又今回の選舉に於ける候補一人當りの得票數は一七、五一一票、當選率は〇・六三二にして之を前回の八、二二四票と〇・一四三に比すれば格段の相異あるのみならず、既成政黨も之に及ばざる情況なり。

以上の如く無産各派の選舉結果は極めて良好にして無産政黨は今回の總選舉を機として畫期的發展を遂げたりと云ふべし。

尙無産各派候補者の選舉結果は次表の如し。

無産政黨各派候補者

道府縣名	選舉區名	定員數	新舊別	候補者氏名	所屬政黨名	當落	得票數	該選舉區に於ける有效投票總數
東京	第一區	五	新	河野密	大	高	一四、三六七	八三、五三三
同	第二區	五	前	安部磯雄	大	高	二〇、三三四	八五、〇〇六
同	第四區	四	新	淺沼稻次郎	大	高	一三、八八五	九、〇一一
同	第五區	五	新	麻生久	大	〇	五、三二五	三六、九四四
同	同右	五	新	加藤勘十	評	高	五、七四八	同右

香川	廣島	岡山	秋田	同	宮城	長野	静岡	栃木	群馬	新潟	同
第一區	第一區	第一區	第二區	第二區	第一區	第二區	第二區	第一區	第一區	第三區	第三區
三	四	五	三	三	五	三	四	五	五	五	三
新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新
前川正一	高橋武夫	黒田壽男	川俣清吾	佐々木東吾	菊地養之輔	小山亮	山崎劍二	石山寅吉	須永好	三宅正一	河合義一
中立(舊農民組合)	社	全	社	社	社	中立(舊社民黨)	社	社	社	社	社
大	大	農	大	大	大	大	大	大	大	大	大
次		○	高○		次	○	○	次		○	次
九、九七	九、三九	一三、四四	一七、四五	四、四六	九、六九	一三、〇三	二、二七	八、〇三	八、五六	一八、〇五	二、四〇
六八、〇八	一〇一、七六	一一九、〇九	八〇、三三	七五、〇六	二八、二五	六九、〇九	八八、七三	九、七四	二六、五二	二二、五六	七、七七

同	兵庫	同	神奈川	同	同	同	大阪	京都	同	東京	道府縣名
第二區	第一區	第二區	第一區	第五區	第四區	第三區	第一區	第一區	第七區	第六區	區選舉名
四	五	四	三	四	四	四	三	五	三	五	定員數
新	元	元	新	前	新	新	新	元	新	元	新舊別
長尾有全	河上丈太郎	片山哲	岡崎憲	杉山元治郎	川村保太郎	塚本重藏	田万清臣	水谷長三郎	中村高一	鈴木文治	候補者氏名
農	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	所屬政黨名
	高○	○	高○	高○	○	○	高○	高○		○	○當印當落
七、三四	三、八〇	一九、三二	三、八九	三、八四	五、五二	二、八五	三、四九	一八、四三	五、八〇	六、五三	得票數
二六、五八	二七、五三	七〇、八四	五九、〇九	二二、〇四	一五、三三	八、四三	七四、〇二	一〇六、五五	七四、六三	三五、七三	該選舉區に於ける有効投票總數

道府縣名	選名	定員數	新舊別	候補者氏名	所屬政黨名	當落	得票數	該選舉區に於ける有効投票總數
高知	第一區	三	元	大石大	土佐農民總組合	高○	三、二七	六五、〇三
同	第二區	三	新	佐竹晴記	大	高○	一九、四三	六、九九
福岡	第一區	四	新	松本治一郎	立(全水)	○	一四、四九	一〇、九六
同	第二區	五	前	龜井貫一郎	大	高○	四、一五	一五、九三
同	同右	五	新	三浦愛二	大	次	九、九七	同右
同	第三區	四	新	野口彦市	大	次	三、五六	三三、三〇
同	第四區	四	新	田原春治	大	次	八、三二	九四、〇五
同	同右	四	新	堂本爲廣	大	次	三、九七	同右
熊本	第一區	五	新	宮村又八	大	次	四、四三	二八、五二
鹿兒島	第二區	四	新	富吉榮二	立(全農)	○	一五、四四	九、三三
計	三五	一四	新三五 元前三五	三八名		高〇〇二三 次〇二七	六五、四七	三、七三、二九

第二節 國家主義各派

衆議院議員總選舉に於て國家主義政黨より當選者を出だしたるは今回の選舉を以て嚆矢とすべく、從つて今回の選舉は國家主義運動史より之を觀れば相當重要な意義を有す。

然れ共國家主義陣營は其戰線未だ統一せず、其選舉結果亦良好ならざるも現時の國家主義陣營並に其運動情況を見るときは恰も無産陣營の大正末期より昭和初期の状態を髣髴たらしむるものあり、特に今回の選舉結果を見るに於ては幾多類似の現象潜在するものゝ如し。

本陣營に於ける選舉結果は概略次表の如くにして軍人を以て團體構成の要素となす政黨及び地方的に強固なる組織を有する政黨の選舉結果は比較的良好なるも、所謂日本主義、愛國主義の先端を走る諸團體並に大都市を地盤とする候補者の選舉結果は概ね不良にして而も各候補者に亘り其人物、政策、日常運動等を點檢すれば自から其の因つて來たる所以を察知し得べく社會大衆黨等に比し著しく其趣を異にせり。

而して今回の選舉の結果は次表の如くにして比較的良好なる成績を收めたる政黨は明倫會、皇道會、信州郷軍同志會、東三新興青年黨、大日本護國軍等なりとす。

政黨各派	得票數	候補者數	當選者數	最高當選者數	次點落選者數	供託金不還付者數
明倫會	三、五〇九	五	一	一	一	一
皇道會	三、〇七三	三	一	一	一	一
立憲養正會	三、〇七五	七	一	一	一	一
國民協會	二、〇九五	二	一	一	一	一
新日本國民同盟	四、六四四	一	一	一	一	一
愛國政治同盟	八、三〇七	一	一	一	一	一
勤勞日本黨	七、四九〇	一	一	一	一	一
信州郷軍同志會	一五、四九九	二	一	一	一	一
東三新興青年黨	一四、〇三八	一	一	一	一	一
大日本護國軍	二、三五五	一	一	一	一	一
中立其他	五、八四七	二	一	一	一	一
計	三三、九〇三	五	五	五	五	五

即ち國家主義各派の立候補者總數は三十五名(新三〇名、前三名、元二名)、其得票總數は二二六、三〇二票、當選者は五名(新二名、前一名、元二名)にして、候補者一人當り得票數六、四六六票、當選率〇・一四三、最高當選者一名、次點落選者二名、供託金不還付者八名なり。而して之を無産各派の選舉結果に比すれば固より著しき遜色あるも、前回の選舉に比較すれば是亦相當の發展を遂げたるものと云ふを得べし。

と云ふを得べし。

因に國家主義各派候補者の選舉結果は次表の如し。

國家主義政黨各派候補者

道府縣名	選區名	定員數	新舊別	候補者氏名	所屬政黨名	當落	得票數	該選舉區に於ける有效投票總數
北海道	第四區	五	新	赤松克磨	國民協會	不	七、七六六	七、七三三
東京	第四區	四	新	加藤喜孝	立憲養正會	不	一、二六六	七、九〇二
同	第六區	五	前	松谷與二郎	勤勞日本黨	不	七、九四〇	三、五、七三
京都	第一區	五	新	笠田九一郎	明倫會	不	四、二四八	一〇、九、五〇
同	第二區	三	新	石原廣一郎	同		七、八五三	七、二〇八
大阪	第四區	四	新	手島剛毅	新日本國民同盟		四、七六四	一五、三、六三
神奈川	第一區	三	新	津久井龍雄	國民協會	不	三、〇〇九	九、五、〇、六九
同	第二區	四	新	守田貞記	皇道會	不	二、〇二八	九、〇、八、四三

道府縣名	選名舉	定員數	新舊別	候補者氏名	所屬政黨名	當落	得票數	該選舉區に於ける有効投票總數
滋賀	全區	五	新	梅澤次作	滋賀勤勞民衆同盟		五,三四五	一三,三四〇
同	第三區	四	新	松村道司	舉國社		二,八六三	四,二九九
静岡	第一區	五	新	八木雄馬	明倫會		六,七五五	一三,七五三
同	同右	五	新	今井新造	明倫會	○	一〇,〇〇〇	同右
山梨	全區	五	元	平野力三	皇道會	○	二,九七三	一六,五五五
同	第五區	三	元	杉浦武雄	東三新興青年黨	○	一四,〇三八	六四,〇〇九
愛知	第一區	五	新	齋藤貢	春風俱樂部		九,五九九	一七,三三九
奈良	全區	五	前	江藤源九郎	中立	高○	一九,八四二	一〇五,一五〇
千葉	第三區	四	新	石橋彌	皇國農民自治聯盟		四,六六〇	七四,三三三
群馬	第一區	五	新	田中澤二	同		九,六六六	二八,五九二
長崎	第一區	五	新	犬塚卯作	立憲養正會	不	一,五九二	一〇七,五九五
道府縣名	選名舉	定員數	新舊別	候補者氏名	所屬政黨名	當落	得票數	該選舉區に於ける有効投票總數
長野	第三區	四	新	中原謹司	信州鄉軍同志會	○	一一,〇四九	八四,七〇三
同	第四區	三	新	關重忠	信州鄉軍同志會		四,四四〇	七,七九二
同	同右	三	新	田中耕	立憲養正會	次	七,八七七	同右
福島	第二區	五	新	瓜生喜三郎	中立	不	一,五三三	一一,四八〇
秋田	第一區	四	新	金作之助	立憲養正會		六,一三六	八五,六二七
富山	第二區	三	新	高廣三郎	新日本同志會		二,八五四	七二,三九三
岡山	第一區	五	新	伊丹松雄	明倫會		九,五九三	一一九,〇七九
廣島	第三區	五	新	原利雄	立憲養正會		三,〇三九	一一九,四七四
山口	第一區	四	新	青木作雄	大日本護國軍	次	一三,五七五	六,一一三
和歌山	第一區	三	新	高幣常一	飛躍塾		五,三五八	七,七三三
福岡	第二區	五	新	本郷松春	立憲養正會	不	一,三六〇	一五,九三三
同	第三區	五	新	稻富稜人	皇道會		八,〇七三	一三,三七〇

道府縣名	選名舉	定員數	新舊別	候補者氏名	所屬政黨名	當落	得票數	該選舉區に於ける有効投票總數
滋賀	全區	五	新	梅澤次作	滋賀勤勞民衆同盟		五,三四五	一三,三四〇
同	第三區	四	新	松村道司	舉國社		二,八六三	四,二九九
静岡	第一區	五	新	八木雄馬	明倫會		六,七五五	一三,七五三
同	同右	五	新	今井新造	明倫會	○	一〇,〇〇〇	同右
山梨	全區	五	元	平野力三	皇道會	○	二,九七三	一六,五五五
同	第五區	三	元	杉浦武雄	東三新興青年黨	○	一四,〇三八	六四,〇〇九
愛知	第一區	五	新	齋藤貢	春風俱樂部		九,五九九	一七,三三九
奈良	全區	五	前	江藤源九郎	中立	高○	一九,八四二	一〇五,一五〇
千葉	第三區	四	新	石橋彌	皇國農民自治聯盟		四,六六〇	七四,三三三
群馬	第一區	五	新	田中澤二	同		九,六六六	二八,五九二
長崎	第一區	五	新	犬塚卯作	立憲養正會	不	一,五九二	一〇七,五九五
道府縣名	選名舉	定員數	新舊別	候補者氏名	所屬政黨名	當落	得票數	該選舉區に於ける有効投票總數
長野	第三區	四	新	中原謹司	信州鄉軍同志會	○	一一,〇四九	八四,七〇三
同	第四區	三	新	關重忠	信州鄉軍同志會		四,四四〇	七,七九二
同	同右	三	新	田中耕	立憲養正會	次	七,八七七	同右
福島	第二區	五	新	瓜生喜三郎	中立	不	一,五三三	一一,四八〇
秋田	第一區	四	新	金作之助	立憲養正會		六,一三六	八五,六二七
富山	第二區	三	新	高廣三郎	新日本同志會		二,八五四	七二,三九三
岡山	第一區	五	新	伊丹松雄	明倫會		九,五九三	一一九,〇七九
廣島	第三區	五	新	原利雄	立憲養正會		三,〇三九	一一九,四七四
山口	第一區	四	新	青木作雄	大日本護國軍	次	一三,五七五	六,一一三
和歌山	第一區	三	新	高幣常一	飛躍塾		五,三五八	七,七三三
福岡	第二區	五	新	本郷松春	立憲養正會	不	一,三六〇	一五,九三三
同	第三區	五	新	稻富稜人	皇道會		八,〇七三	一三,三七〇

道府縣名	選名	定員數	新舊別	候補者氏名	所屬政黨名	當落	得票數	該選舉區に於ける有効投票總數
福岡	第四區	四	前	小池四郎	愛國政治同盟	○	八、三〇七	九〇、〇五二
大分	第一區	四	新	原尻東	政黨解消聯盟	○	三、六二〇	一〇二、二九六
宮崎	全區	五	新	森山武彦	中立(皇國義勇會)	○	二、四八八	一三、一五三
鹿兒島	第二區	四	新	牧胤吉	立	○	一、八八八	九〇、三六三
計	三三	一四	新 前 元 三	三五名		高次不 〇〇 四一 二八	三六、三〇三	三、八二、二九五

第三節 無産並に國家主義各派の地方的分布狀況

次に是等無産並に國家主義各派の地方的分布狀況を觀るに全國百二十二選舉區中是等各派より立候補を見たる選舉區は五十六區(無産三十五、國家主義三十三、内十二區は兩派對立)にして埼玉、茨城、三重、岐阜、岩手、青森、山形、福井、石川、鳥取、島根、徳島、愛媛、佐賀、沖繩を除く一、道三府、二十八縣(前回は三府、八縣)に亘れり。

又得票數を基準として是等各派の地方的勢力を見れば五萬票以上の府縣は東京、大阪、兵庫、福岡の四府縣(前回は東京、大阪、福岡)に亘り、三萬票以上の府縣は京都、神奈川、長野、高知の四府縣(前回はなし)に及び、一萬票以上の地方は山梨、愛知、秋田、静岡、岡山、奈良、群馬、新潟、鹿兒島、宮城、山口、廣島の十二縣(前回は兵庫、神奈川)に達せり。

更に當選者に就て之を見れば議會解散直前に於ては是等各派の議員は僅か六名(内國家主義三名)にして東京二名(一名國家主義)、大阪一名、奈良一名(國家主義)、福岡二名(一名國家主義)、總計四府縣を數ふるに過ぎざりしが、今回總選舉の結果、東京府六名、大阪府四名、神奈川、福岡、高知、長野(一名國家主義)、山梨(二名國家主義)の各府縣は各々二名、京都、兵庫、新潟、秋田、岡山、鹿兒島、愛知(國家主義)、奈良(國家主義)の各府縣は各々一名の當選者を出だし、其分布は三府十三縣に及べり。而して是等各府縣中無産派の選舉結果の最も良好なる府縣は高知縣(縣會選舉も同様)にして當選者六名中二名を獲得し、國家主義派の進出最も著しきものは山梨縣(縣會選舉も同様)にして定員五名中二名を占めたり。又選舉區を單位として之を觀れば東京府第五區の無産派の如きは既成政黨も是に及ばざるものありたり。

已に述べたるが如く、今回の總選舉に於ける無産並に國家主義各派特に無産各派の選舉結果は極めて良好、而も國家革新を目標とする是等新興勢力の進出は、我國政治史上正に一時代を畫するものにして、因つて來りし原因を究明することは自ら政界改革の暗示を得る所以たるべし。

計	沖鹿 兒 繩島	宮熊佐大福 崎本賀分岡	高愛香徳和 知媛川島山	山廣岡島鳥 口島山根取	富石福秋山 山川井田形	青岩福 森手島
八	八八	五三九一四	〇七一〇五	六二六八六	三九八三三	五三九
三	五六	五五四五六	五七四三七	八五九三二	六四二四五	六七八
二	二三	四二四五五	三七五四二	三九三五二	六五二六三	五三八
三	一四	三	一	一	一	一
三	一	一	一	一	一	一
三	一	一	一	一	一	一
八	一	一	一	一	一	一
三	一	一	一	一	一	一
七	一	一	一	一	一	一
三	一	一	一	一	一	一

宮長	岐滋山靜愛	三奈栃茨千	群崎新長兵	神大京東北	應 府
城野	阜賀梨岡知	重良木城葉	馬玉湯崎車	奈 海 川阪都京道	縣
八七	七九二五三	五九八三三	六六三六三	九八三八五	總
六〇	八四四七〇	七三七七九	五七一五三	七三二四八	數
五九	八三二二三	六三七七八	六五八五二	六六八九三	政友會
三	一	一	一	一	民政黨
三	一	一	一	一	昭和會
三	一	一	一	一	國民同盟
三	一	一	一	一	大社 衆 黨會
一	一	一	一	一	社以 各外 派の 無黨
三	一	一	一	一	政國 黨家 各主義 派
一	一	一	一	一	中 立
三	一	一	一	一	小國無 家主產 計主義 並

第二表 候補者數調

計	沖鹿 兒 繩島	宮熊佐大福 崎本賀分岡	高愛香徳和 知媛川島山	山廣岡島鳥 口島山根取	富石福秋山 山川井田形	青岩福 森手島
四六 元	五二	一〇六七八	六九六六六	九三〇六四	六六五七八	六七一
一五 六	〇三	二〇一一〇	〇一〇〇〇	〇〇〇〇〇	〇一一二〇	一一一
一五 六	二八	二五二四八	二四三二三	六三六一一	三三一二四	三五五
二一 六	△	△△△△△	△△△△△	△△△△△	△△△△△	△
二一 六	二一	一一一〇一	二二一一二	〇二一一一	一〇一一一	一一二
二一 六	二一	一一四三四	二五三三二	一七三五二	三三二四二	二一六
二一 六	二一	一〇三一〇	〇三一一一	一一一一一	一一〇二一	〇〇四
三 一	二	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一
三 一	一	一一一一一	一一一一一	〇〇一一〇	一一〇一一	〇一一
一 五	一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一
一 五	〇	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一
一 八	一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一
一 五	一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一
六 六	一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一
六 六	一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一
五 二	一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一
二 三	一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一
一 九	一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一
一 三	一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一
二 九	一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一

宮長 城野	岐滋山靜愛 阜賀梨岡知	三奈柄茨千 重良木城葉	群埼新長兵 馬玉湯崎庫	神大京東北 奈海 川阪都京道	府 縣
八三	九五五三七	九五九一一	九一五九九	二二二三〇	總 數
〇二	〇〇〇〇三	〇〇一一一	〇二〇一三	一三〇五〇	者當選 較と議員 の比
四三	四二一六六	三一三三六	三五四三七	三四二八七	政友會
一三	二一三一一	一一一〇一	二〇六〇〇	三三五四六	者當選 較と議員 の比
三七	五二一五七	五三六四五	五四八四〇	六一八六〇	民政黨
一四	二〇一〇四	二一四一二	二二四二三	二二四六四	者當選 較と議員 の比
一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	昭和會
〇	一一一一一	一一一一一	〇一一〇一	〇一一〇	者當選 較と議員 の比
一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	國民同盟
△	△	△	△	△	者當選 較と議員 の比
二	一一一一一	一一一一一	一〇一一〇	一一一一一	大社 衆會
一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	二四一五一	者當選 較と議員 の比
一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	二三一四一	政外社 黨各無 黨各派
一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	者當選 較と議員 の比
一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	政黨各 主義
一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	者當選 較と議員 の比
一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	中 立
一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	小國 家主義
一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	一一一一一	無 産 並 計

第三表 當選者數調

註 △印は減少を示す

附録 無産並に國家主義各派の主なる選舉公報

一、無産各派

東京府 安部 磯雄

政治家としての私の決心、四度立候補して有権者諸彦に訴ふ

安部 磯雄

トルストイの言葉

アスタボーボの小さな驛で危篤に陥つた世界的文豪トルストイが自分の病狀を案じて馳せ集つた近親の人達を見廻はして言つた臨終の言葉は「何故お前達は私のことばかり案じるのだ、この世の中には苦しんでゐる何百萬何千萬の人達がゐるではないか」といふのであります。

私は先年の大患後、多少衰へを見せた私の健康を案じて、人一倍健康を必要とする政治戦線に立つことを心配してくれる親しい人達の親切を有難く感謝しながらも、獨り心の内ではこのトルストイの臨終の言葉を繰返して参りました。トルストイの時代に較べて貧乏の深刻さは幾層倍しております。貧乏に悩んでゐる人達は地上に充満しております。この貧困に悩み苦しんでゐる經濟的弱者、小賣商人、安い俸給生活者、小さな職場の持ち主、賃銀労働者といった人達の生活苦を思ふ時、私は自分だけが靜かな老後の生活をもつことを假令事情は許しても私の氣持が許さないのであります。

未解決の課題

私の過去を顧みますと、社會人として世の中に立つて以來、私の仕事は貧乏問題と切つても切れない關係を有ち續けて今日に及んでおります。その因縁は更に遡つて同志社の學生時代に結ばれてゐるのであります。當時私は宗教によつて心の悩みの救はれることを知

り、この精神的救済の悦びを感じてゐる多くの友人に取巻かれてゐましたが、一步街頭に足を踏み出す時、貧しさのために悩み苦しむより多くの人達を目撃して、この氣の毒な人達は一體何によつて救はれるのであらうかと新しい心の悩みを感じたのであります。貧乏救済といふ未解決の課題を課せられたまゝ學校を出てアメリカに留學いたしましたして經濟學に親しむやうになつた時、圖らずも此の貧乏解決策が恰も天啓に接したかの如く私の心に感得されました。

餓鬼道への轉落

貧乏は畢竟現在の社會が強い者勝ちといふ競争社會であることに根本的原因がある。自分の生活は自分以外に誰も保障してくれない個人本位の經濟組織が凡ての人に生活不安を與へる。恰度底のない泥沼に陥ちたやうに、これでよいといふ踏みこたへる足場がないために富める者もいやが上に富むことを望んで際限を知らず、貧しい人達は尙更に藁がき苦しんで他人を押し倒しても尙自分だけは立上らうと餓鬼道の如き競争合ひをいたします。この利己主義一點張りの競争が行はれるならば角力に於て體力の強い者が勝つと同じ道理で資力財力の大きい資本家財閥が中小以下の商工階級を倒産にまで追ひ落すことは必然の成行であります。

不合理な社會

こゝに貧乏の原因があるのみならず、かくの如き經濟組織が存続する限り何人の上にも生活の安定といふものは絶対にありません。今は貧乏に責められてゐなくとも半期後、一年後の生活が如何にして請合はれませうか。現在富み榮へて一族の榮譽を誇る者も、誰か子供の世、孫の代となつて猶且つ繁榮衰へずと言ひ得ませう。これだけでも現在の經濟組織が正しくないと思ひますが、更にこの故にこそ富める者益々富み、貧しき人々は愈々貧しく、人は物を廻ぐつて相争ひ、物を無上に大切に人々が人を粗末にする不合理が行はれる社會は間違つてゐると私の深く信じてゐるところであります。

放任より統制へ

この急所を突いてこそ貧乏問題の解決が出来、經濟生活の安定が得られ、同時にこの世の中を人間らしき社會に建て直すことが出来るのだと思ひます。即ち人と人とが競争し合ふ代りに相互に連絡を保つて扶け合ふ、人が富に隷屬しないで富を人間生活に利用する、經濟を自由放任の状態から社會協同の統制に移すこと以外には根本的な貧乏問題解決策、人間社會更生の途は斷じてありません。

これを更に言ひ換へるならば、今日までの經濟はわざ／＼貧乏人を製造するやうに出来てゐる。而して貧乏人製造の度合は段々と高まつて行く。例へば節の目を一回よりは二回、二回よりは三回と次々に荒目にして震ひ落す如き仕組であります。前の不景氣には堪え得た者も今度の不況には落伍者となる。今は踏み堪えたものも次にはやがて失敗者の群に投じられる。吾々はたゞ戦々競々として自分の順番を待つ死刑囚の哀れな姿にも似てゐる世相ではありませんか。

政治への發心

かくの如き悲惨な運命を負はされた勤勞大衆を一時の姑息な彌縫策にのみ委ねて置くことは許すべからざる國家の大問題であります。

國家の政治が國民大衆の生活を安定せしめることを目的とする以上、眞の政治家とは根本的な貧乏救済策を以て國策の大本とし、現在の國民窮乏を救ふのみならず將來に向つて常に社會正義實現の理想を堅持するものでなくてはならぬと私は深く期するところがあつたのであります。私の貧乏問題に對する焦心はかくして日本に於ける眞實の正しき國民大衆本位の政治運動に希望と熱意とを有たせてくれました。

私が米國留學中に偶々感得した貧乏問題救済策はかくして經濟的には不合理なる資本主義を新しき經濟組織に改革すること、政治的には勤勞大衆の生活慾求が何等歪められることなくして正しく反映する勤勞議會政治の建設といふ内容と形式、目的と手段が備つて歸朝後の私の生活態度の根本が決定されたのであります。爾來私の生涯はこの信念の下にこの理想を掲げて戦つて参りました。

無産政黨の結成

社會主義研究會を作つたのも新しき經濟社會の具體化を研究するためであつた。社會民主黨を組織したのも貧乏救済を實踐せんがためであつた。日本フェビアン協會といひ、獨立労働協會といひ皆この理想實現のためでありました。

先年社會民衆黨を結成して普選第一回の總選舉に議員候補者として東京府第二區の諸君に相まみえたのは餘生幾何なるか自ら計り得ずと雖も、その凡てを貧乏根絶のために捧げ盡さんず私の念願からでありました。

肅正選舉と私の決意

私は茲に四度諸君の前に立候補の御挨拶を送ることになりました。過去三回の選挙に於て示された諸君の支持を願ひする時、私のこの老骨何ぞ惜しむに足らんや。更に奮闘以て理想への躍進あるのみと固く決心いたしました。又獨り心の内にトルストイの臨終の言葉を繰返してをる次第でございます。

最後に此度の私の選挙は極めて僅少の費用をもつて行ふことを聲明致しました。これは選挙公正運動を眞に劃期的ならしめんがために敢て断行しようとしたものであります。従來の選挙常識からすれば冒險的無謀の企てと見えませう。或は理想主義者の非現實的な高踏振りと誤解されることを私に案じるものではございますが、この企てを決心した所以は第二区内有権者諸君の政治的良心を信頼し過去に示された諸君の御聲援を力として、日本全國に捲き起されてゐる選挙公正運動の實がこの東京第二区内に結ばれたといふ事實を諸君と共に示したい心に他なりません。この點を充分御諒解下さいまして一層の御援助を切に御願ひ申上げる次第でございます。

東京府 麻 生 久

來る二十日に對する御願ひ

社會大衆黨公認 麻 生 久

有権者各位

此公報が各位の御手許に届くのは、投票日二十日に間近い時と思はれます。黨の政策は私の御挨拶狀に依つて、既に各位の御手許に届いてゐると思ひますから、決戦日の迫つた今日、簡単に私の衷情を各位に訴へて、最後の御願ひをしたいと思いますのであります。

有権者各位

思へば私の運動も長い事でありませう。大正六年大學卒業と共に、親族知己にそむいて運動に身を投じて以來、既に二十年、我等の運動が未だ酬はれざるに早くも父逝き兄も亦去つたのであります。此間我等の運動の惡戰苦闘は今日各位の深く御同情下さるところであると信じます。

初期労働運動の頃には、雪に埋もる北海道夕張の炭坑に、富を誇る久原日立鑛山に、世にも名高き足尾銅山に、其の他北陸に東北に四國に九州に、虐げられた坑夫の住ふところ、必ず運動の旗を押し立てて、資本家の暴虐と戦はざるなき有様でありました。資本家、官權の彈壓は嵐の如く、戦ひ敗れて同志と共に牢獄に投ぜらるゝ事數回、更に普通選挙成つて無産政黨勳興以來は、過去三回の選挙に戦つたのであります。既成政黨、官權、資本家三位一體の呵責なき彈壓は雨霰と降り注ぎ、豊しく戦ひは敗れ去つたのであります。

外の彈壓は覺悟の前であります。我國無産運動の苦しみはそれにも増して内部にあつたのであります。歐米に後れて生れた我國の無産運動は、日本の國情に即するよりも、先づ外國の模倣に始まりました。其の結果、運動の考へ方は實際よりも觀念的抽象的となり、徒らに議論に熱中して、爲めに分裂し抗争して自分で自分を破壊し、力を弱めたのであります。

私は、此状態から運動を救ひ我國の社會運動が眞に國家を背負つて日本の改革を断行するためには國民大衆が安心して共に歩く事の出来る國情に即する道を切り開かねばならぬと覺悟したのであります。私の此覺悟と態度とは、やゝもすれば一部の社會運動家から逆宣傳をせられ來つたのであります。

今や時代は一變しました。

さしもに隆盛を極めた既成政黨も其の力を失ひました。ファッショも亦日本の國情と社會に適せずして消え去らんとし、選挙公正の聲は澎湃として起るに至りました。私共は此の情勢の中に國民總意の上に國家改革を断行せしめんがための新らしき議會政治の建設といふことが國民大衆の要望となつたことを看取するのであります。

此秋に當り、大衆の叫ぶ國家革新の求めに應ずる新興革新勢力は何處に存するでござらうか。既成政黨の中にか、ファッショの中にか、否、否、否、断じて然らず、此國民大衆の求めに應じて「オー」と答へて起ち上り得る資格のあるものは、我社會大衆黨あるのみであります。社會大衆黨は今や内に無産運動の戦線を統一して我國唯一の無産政黨たる實體をそなへ、國民大衆に對しては安心して共に國家の革新を断行し得る内容をそなへて起ち上つてゐるのであります。

過ぐる府縣會議員選挙に於ける躍進的な進出は、云はずして國民大衆の我黨に對する信頼を物語つてゐるのであります。

来る總選挙の結果は政、民、中立伯仲の間に我が社會大衆黨がキャスティングポートを握り、政局の舵を握るに至る事は既に世間の豫想するところであります。

有権者各位

學校同期の友人は既に官界にあつて局長たり、後輩既に縣知事たり、無産運動に身を投じて既に星霜二十年、私の頭髮亦徒らに白きを加へんとして居るのであります。今此絶好の機會に遭過し私の守り育て來つた社會大衆黨も亦此機會に乗じ躍進して國家革新の柱石たらんとしてゐるのであります。

有権者各位

古語に「石も亦心あり」とか、二十年の苦節に對し希はくば、私の苦衷を憐れんで各位の一票を賜はらんことを。而して私をして黨を携げ、同志と共に非常時日本の國家革新の偉業に對し其重責に任せしめられんことを。これが私の各位に對する衷心からの御願ひであります。

東京府 加藤 勘 十

立候補の御挨拶

第六十八議會が解散され、此處に改正選挙法による總選挙が行はれることになりました。私は各無産團體の同志諸君の支援の下に、立候補するに至りました。私は當第五區の選挙戦を通じて、皆様と相知り、相まみえますこと既に三回、今日で四回目であります。過去三回の選挙におきまして、數萬の有権者諸氏の御同情と御支持を得ましたにも拘らず、私の至らないために、皆様の尊い政治上の權利を無効に歸せしめ、御期待に添ひ得なかつたことは、心の底から恐縮に堪へない次第と考へて居ります。そして微力乍らも、皆様の御同情に酬ゆるの道として、荒れ狂ふ反動勢力の嵐の中にも、純真なる同志諸君と共に、一時の弛みもなく「われ大衆と共に生きん」の信念に基き、一意、苦難の途を戦ひ抜き、勤勞大衆の生活權を護る旗持ちとして、與へられたる持場を終始一貫、固守して參つたつもりであります。

今、第四回目の選挙戦に臨むに當り、若し私の皆様への誓ひの言葉を許して頂きますれば、私は私の全精神を注ぎ渾身の情熱をこめて「どのやうな誘惑があり、どのやうな困難にぶつかり、どのやうな迫害に遭過しやうとも、勤勞大衆の生活權を護る旗持ちとしての態度を、死をもつて貫き通すであらう」ことを御誓ひすることができるのであります。

最近の世の中の情勢を観ますと、所謂軍需インフレーション景氣だと騒がれておりますが、それにも拘らず、勤勞大衆の生活は深い霧の中にとち込められたやうな、重苦しい憂鬱な感じがつきまとつてゐるのであります。何が一體、大衆の生活から晴やかさと澄らつきを喪はしめたのでありませうか。それこそは實に、滿洲事變を契機とせる所謂「非常時」のかけ聲につれて惹き起された諸々の社會現象と、物價高竝に公租公課の負擔の増大から來た生活の苦惱の反映でないかと思はれます。「非常時」のかけ聲は、一方では農村といはず、工場といはず、商家の店先といはず、あらゆる一切の勤勞大衆に、堪へ得られる限りの最大限の勤勞を強要し、他の一方では尨大なる軍事豫算を要求してゐます。この尨大な軍事豫算が、所謂軍需インフレーション景氣の原因を爲してゐるのであります。軍需インフレーションは極めて偏頗な經濟現象を露出してゐます。極く少數の軍需工業大資本家と及びそれと直接に結合してゐる大金融資本家は、飽き満ちるほど大きな恩恵に浴してゐますが、勞働者、農民、中小工業者、俸給生活者は、遂に収入の減少を見得るか、さもなければ、彼等が儲け太つた残り滓を僅か均霑してゐるに過ぎない有様であります。

このやうな状態の下にある勤勞大衆は、どうしたならば、あらゆる重荷から解き放たれて、晴々とした朗らかな氣持ちで毎日の生活を樂しむことが出来るやうになるでございませうか。それには、自らの苦しい生活の體驗から生れた力強い抗議が爲されねばならぬと存じます。私は微力ではありますが大衆の一人として、大衆と共に苦しみ、共に樂しむ立場から、同志諸君と相圖り、現下の情勢に最も適應した勞働者、農民、中小工業者、俸給生活者の廣汎な各層に亘る全民衆の政治的勢力を結集し、正直にして強力なる政治的共同戦線の闘争主體を確立し、それに據つて闘争を押し進めたいと存じます。

勞働者、農民、俸給生活者の生活安定化のために必要な社會的施設、中小工業者の生活保障のための諸般の施設、政治的權利に乏しい婦人の地位向上のための施設、等々、何れも緊急を要するもののみではあります。それ等の諸般の施設を聞き取る前提として、當面、最も必要と思はれるものとして、私は次の諸目標の下に、闘ひ進みたいと存じます。

- 一、反ファッショ民衆戦線の強化
- 一、保守か進歩か、官僚政治か民衆政治か
- 一、大衆負擔の増税反対、独占資本へ重税
- 一、尨大なる軍事豫算への嚴正なる批判、社會施設の徹底
- 一、物價の引下げ、賃銀、俸給の引上げ

人々の心持ちの上に、ジメジメした陰鬱な空氣が漂ひ、世の中から、からつと晴れ渡つた明るさが失はれてゐるのは、大衆の生活に上から命令を與へやうとするファッショ勢力が無暗に横行してゐるからであります。何をおいても先づ民衆をファッショの重壓から脱せしめることが、一番緊急を要し大切なことと存じます。

官僚政治は多年の醜惡な政黨政治家の利己的政治の反動として發生したものでありますが、社會の進歩の法則に反する保守的反動現象であることに違ひはないのであります。私共は一日も早く、政治を正しい軌道に上せ、民衆の生活利害を本位とせる政治の確立を圖らなければならぬのであります。

政府は現在の尨大なる軍事豫算と赤字公債の累増との矛盾を、今でさへ生活に苦惱してゐる全勤勞大衆の負擔による増税、現行所得税免税點一千二百圓を更に低下して、月額八十圓程度の勤勞所得者にまで所得税を課さうとしたり、酒、煙草、其他の間接税の引上げ等によつて當面を糊塗せんとしてゐます。

何が故に軍需インフレによつて巨大な利益を受けてゐる大資本家の負擔による増税を計畫しないのでありましょうか。それは大資本家の大きな反抗にぶつかるからであります。

私共は斯くの如き大衆を塗炭の苦しみに泣かしめる増税案には絶対に反対であります。それにつけても、悪性インフレか増税か、を不可避としてゐる現在の尨大な軍事豫算に對しては、國民大衆の生活の現實に則して、嚴正なる批判を加へ、而して世界的に類例のないほど社會施設の貧困について、充分に考へなければならぬと存じます。

全勤勞大衆の生活を安定せしめんがためには、物價の引下げと、勤勞收入を増加せしめることは、是非とも爲されねばならぬ事であ

ります。大資本の金融的、商業的重壓の下に喘ぐ中小商工業者の保障、勤勞大衆の所得の増加と全く正比例しております。以上が私の立場であり、態度であります。

普選法布かれて正に九年、選挙を重ねること三回、私は第一回、第二回共に次點で敗れ、第三回目は當時の大衆黨首腦部の反動化と意見の對立を見、私を支持推薦してくれた同志諸君の友情に、感激の涙にむせびつゝも、階級的良心に従つて、遂に選挙場裡に出ることなく敗れました。時代はうつり、人かはり、第一回目の秋和君は今行衛知れずであります。第二回目の大山さんは第一線を退いて遙か異境の地に、靜かに勉學を續けておられます。

私は先般アメリカに参りました節、親しく大山さんと無産運動に携はるものゝ苦衷を、夜を徹して語り合ひました。大山さんは私を慰め、私を激勵してくれました。私は顧みて大山さんに敗れたことを少しも悔ゆるものではありません。

東京第五區の地、この地は無産政治闘争の舞臺として、初めてこの地に立候補いたしました私にとつては郷土であります。而して、やがては民衆の生活權を護る旗持ちとして屍を埋むる墳墓の地であります。私にとつて生活の本據であり、政治闘争の郷土であり、墳墓の地であります。この地の皆様の、御同情と御支援とによつて、皆様の忠實な旗持ちとして、勤勞大衆の生活權擁護と反ファッショの旗を高らかに掲げて戦ひ得られますやう、皆様の温き御同情と御支援を御與へ下さいますやう、心の底から御願ひ申上げる次第であります。

大阪府 塚本重藏

第三區の有権者各位に謹んで御挨拶申し上げます

塚本重藏

今回の總選挙に際し、不肖私は社會大衆黨の同志諸君並に區内有志諸彦の熱烈な御推薦を辱ふし、淺學非才を顧みず全勤勞大衆の生活安定を關ひ取り、その生命線を守守する一兵士として既成諸政黨と戦ふべく決意し猛然立候補致しました。

想ひかへせば過去四年間は國家の諸情勢に一大變轉が行はれました。財閥と結んで永久のおらが春を夢見てゐた既成政黨は五・一五

事件等々により政黨や財閥の巨頭等がビストルに倒れて以來政黨より蹴落されたばかりでなく少數の官僚に暴力圍持り、選舉肅正の鐵鎚を受けて縮み上り、底なしの脱税疑獄と選舉違反を曝露して崩壊の一路を辿りつゝあります。

既成政黨は何故に政權を失つたか。彼等にして國民の支持を確信することが出来たならば、何を好んでか退却に退却を重ねたであらう。既成政黨没落の眞の意味は、彼等が議會を獨占して國民大衆の衷心の要求に耳を藉さなかつたからであります。而してそれは資本家政黨としての彼等の本質なのであります。

我が社會大衆黨は斯の如き議會を斷乎として革新し、議會政治をして眞に勤勞大衆の議會政治たらしめんがために勇敢に戦ふべく今や全勤勞大衆の熱望に従ひ分裂抗争してゐた無産陣營を統一合同して吾國唯一の勤勞階級の政黨となり、財閥の走狗である既成政黨と鋭く對立し近き將來に之を木ッ葉微塵に粉碎しやうとしてゐるのであります。従つて此の選舉戦は吾等の躍進する絶好のチャンスであり、全勤勞階級の輝やかな勝利への前哨戦であると云ふべきであります。

今や私は此の重大なる任務を荷ふて最後の決勝點に突入せんとして居るのであります。云ふ迄もなく大阪の第三區は勤勞大衆の密集地であります。私は石に啗りついても勝たねばならぬ此の一戦であります。全勤勞者大衆諸君、希はくば私の此の燃ゆる赤心に御同情を賜り絶大なる御支援を切に御願ひ申し上げます。

私の略歴

- 一、明治二十二年兵庫縣加古郡に生る
- 一、明治四十二年來阪機械工となり汽車製造會社に勤め傍ら果實小賣商を営む
- 一、大正五年以來勞働組合運動に身を投じ常にその先驅に起つて戦ふ
- 一、社會大衆黨中央執行委員、同黨此花區支部長
- 一、昭和二年大阪府會議員に當選
- 一、恩賜財團濟生會病院大阪府委員
- 一、内閣統計局家計調査委員

一、大阪市教化委員、公道委員

尙中小市民のため霞町に社民病院を出入橋に診療所を同志と共に經營す。

私の重要政見

一、重要産業の國營

産業の統制は今日着々と進んで製鐵合同を筆頭に、製紙業の如き、強度にトラスト化されたものが現はれつゝある。斯くの如く重要産業がトラスト化されて行く反面には、一般大衆の利害を犠牲にして一部少數の財閥資本家を利すると云ふ弊害は愈々高まらうとしてゐる。此の弊害を除去する道は唯一つ重要産業を國營に移して、その利潤を國家の手中に收め、以て國民大衆の生活を保證する幾多の事業費に充當すべきであります。

二、税制の根本的改革

軍事實費の増大から来る赤字をのがれたるためには、愈々來年度から増税は必至の状態であります。然し我々は現行税制のまゝで増税することは絶対反對であります。現在のまゝで増税するならば、大衆の負擔は愈々増大してその生活苦は一層深くなるからであります。故に先づ現行の税制を根本的に改革し上に重く下に軽くすべきである。そのためには綜合財産税を創設し、相続税、土地増價税とを税収入の根源とし専ら大資産をもてるものよりの税収入を計り、大衆負擔の課税は出来る限り減免の手段をとり、以て民力の涵養をなすことが刻下の急務であります。

三、民衆商工金庫の設置

今日中小商工業者小賣商人が一番悩んでゐる問題は金融の道であります。今日銀行が幾つあつても、その銀行に金が有り餘つてゐても中小商工業者のために金庫の扉は開かれないのである。國家は資本主義的立場から離れて、中小商工業者小賣商人の生活安定のために金融の道を開くべきである。之がために大規模な無擔保で融通の出来る民衆商工金庫を設置すべきであります。

四、國民年金制の即時實施

今日官公吏軍人等に對して恩給制度のあることは人の知る通りであります。勞働者、農民、小賣商人等も皆職業に依つて夫々國

家に奉公してゐることには少しも變りはないのである。國民に兵役、納税其の他の義務を負はして居る國家は、年齢六十歳以上にて困窮なる者に對して養老年金を與へ其の餘生を樂しましめ、寡婦及孤兒に對しても年金を與へてその生活を保證すべきであります。

五、國民健康保險制の確立

國民保險の問題は今日の大問題であつて、歐洲の諸國には何れもこれを專管する保健署が存する位である。我國に於ても近來此の問題が漸く議者の留意するところとなつて、國民健康保險制の草案を見るに至つたのは喜ぶべきことであるが、未だ未だ我々の要求からは遠い。私は進んで醫業の國營を樞軸とする國民健康保險制の確立を要求するのである。

六、勞働者保護法の制定

私は全勞働階級の自由と生活權確保のため在記諸法案を戦ひ取り度いのであります。

イ、勞働組合法の制定

ロ、最低賃銀法の制定

ハ、失業保險法の制定

ニ、退職手當積立金法の制定

ホ、商店員保護法の制定

ヘ、海員法の改正

ト、臨時工雇用禁止法の確立

七、外交政策

イ、滿洲國を自主的民族獨立國たらしむること

ロ、日支關係の調整

ハ、日ソ不侵條約の締結

ニ、太平洋安全保證條約の締結

ホ、軍縮問題、軍備を可能な最小限度に縮少し、建艦競争を廢絶して國民の負擔を輕減すること

スロীগアン

肅正の一票は、大衆黨の塚本へ

財閥の政黨か、大衆の政黨か

疑獄醜惡の既成政黨か、明朗正義の大衆黨か

税金は上から、議員は下から

帝國議會を勤勞大衆の手に

結語

私は以上申し上げました諸政策の實現を圖り國民大衆の生活安定のため身命を賭して戦ふ決心であります。働かねば喰ふことの出来ない勤勞大衆の利害と、思想と、感情とは、自ら其の境遇にあるものでなかつたならば解らないのであります。

私は私の略歴の示す通り、三十年間の勞働生活と十年間の小賣商人としての體驗を辿じ、二十年間の勞働運動と十年間の政治運動との體驗とを通じて勇敢に戦ふ決心であります。

何卒第三區に於ける勤勞大衆の利害を代表する唯一人の候補者である塚本を勝たせて下さい。

財閥中心の暗黒政治を打破して、勤勞者本位の明朗政治を建設せんとする大衆黨の公認候補である塚本を勝たせて下さい。

嚴寒の折柄かつ御多用の中を申兼ねますが来る二十日には是非御足勞を賜り皆様の清き御投票を私に下さいますやう。

切に、切に御願ひ申し上げます。

塚本重藏 頓首

第三區 有權者各位

大阪府 杉山元治郎

立候補の御挨拶

杉山元治郎

今回の総選挙に際し、農民並に勤勞大衆諸賢の熱烈なる御推薦により再び立候補することに致しました、就ては一言御挨拶を申し上げます。

杉山元治郎の略歴

杉山の人物については、既に皆様がよく御了承頂いてゐることゝ存じますが、猶ほ念のため略歴を申し上げます、大阪府泉南郡北中通村大字下瓦屋第二十八番屋敷に生れ、當年五十二歳、學歴は大阪府立農學校と仙臺私立東北學院神學部特別科を卒業し、大正十三年齒科醫師試験に合格し免許證を受く、一般の經歷としては和歌山縣農會技手、基督教自給傳道者として多年東北農村の教化に従事し、後ち大阪市弘濟會育兒部に働いたこともあります、大正十一年四月九日全國農民組合の前身日本農民組合を創立し、今日に至るまで中央委員長として働き、勞働農民黨結成せられるや第一次の中央委員長となり、現在では社會大衆黨の常任顧問、昭和七年の總選挙に於て衆議院議員に當選、昭和七年乃至九年の事變の功により勳四等瑞寶章を授けられたのであります、公職として大阪府失業防止委員、選舉肅正委員、恩賜財團濟生會大阪支部委員、財團法人同潤會の東北農山漁村住宅改善委員を勤め、其他に購買組合共益社事務理事、日本農民福音學校長等を致して居ります、農村問題に關する多くの著書があります。

杉山元治郎社會運動への動機

右の様に杉山が貧乏な小作人の家に生れ、多少農業教育を受け、今日までいろ／＼と生活して参りましたが、其の舞臺は主に農村であります、だから農村の窮乏と、貧農階級の生活苦とは、如實に體驗してゐる次第であります。農は國の大本だとか、百姓は國の寶だとか云ひながら、今日の様な悲惨な生活状態に置かれて居るのを見まして、社會正義の立場から聊か義憤を感じざるを得なかつたのであります、大正十一年四月賀川豊彦氏と共に農民組合を創立し、農民運動に微力を致したことも、また大正十五年勞働農民黨を作り、

無産政黨運動に努力致したことも、要するに資本制社會の社會的不義、不正に對し戦はんとする良心の命令に依るものであります。

杉山元治郎の政治闘争簡歴

過ぐる衆議院議員の總選挙に際し、第五區の有権者各位から、一萬八千五百十票と云ふ多數の御投票を頂き、衆議院議員に當選させて頂いたのであります。爾來四ヶ年小數黨であり、且つ微力短才であります、全力を傾注して戦つて参つたことは、其の都度新聞紙の報導により御了承頂いて居ると存じます、各種常任委員會に於ける多くの發言を別にし、本會議に於ける壇上に立ちましただけでも次の様であります。

第六十二議會 國務大臣の施政方針演説に對し一般質問をなし、農村救済の臨時議會を開けとの決議案に賛成演説をなした。

第六十三議會 小作保護法を提案し、其の趣旨辯明をなした。

第六十四議會 昭和八年度豫算案に對し、反對返上論をなした。

第六十五議會 正昭九年度豫算案に對し、反對返上論をなし、又小作法を提案その趣旨辯明をなした。

第六十六議會 國務大臣の施政方針演説に對する一般質問をなし、又凶作地に對する政府所有米穀の臨時交付に關する法律案の制定に對し賛成演説をなした。

第六十七議會 昭和十年度豫算案に對し、反對返上論をなし、其の他小作法の提案説明、農家食糧米差押禁止法の提案、臨時利得税法制定に對し質問演説等をなした。

右の様に殆んど毎議會の壇上に立ち、民意のある處を叫んだのであります、併し杉山が先きに立候補致しました時には、一人や二人の無産黨議員が當選した處で、何程の働きが出来ると冷笑されたものであります、だが事實は其の正反對でした、今は非常時です、多數必ずしも議會の力でありません、正義を叫び、民意を率直に語る者こそ力です。

杉山元治郎の政綱

さて最近社會一般の情勢を見れば、稍々好景氣來を稱へてゐる様であります、其は全く跛行的のもので、極く少數の軍需用品製造工場の資本家のみであります。勞働者は寧ろ勞働強化と賃銀の値下り、インフレによる物價騰貴との挾撃に會ひ、一層生活難に苦しん

であるのであります、此の跋行的量氣も何時まで續くか、赤字公債の發行にも限度がありませう、然らば近き將來に於て此の反動の來ることは火を見るより明かでありませう。今から勞働者、農民、一般勤勞大衆が是に備へておかねばなりません。

此の時に當り我が社會大衆黨が、勤勞無産大衆の行くべき道をハッキリと指し示して居ります、社會大衆黨の政綱が即ち杉山の政綱であり、日頃着々と實踐に移してゐるものであります、例示すれば次の様です。

總選舉政策

- 一、中心スローガン
- 一、肅正選舉の一票は大衆黨候補へ
- 一、先づ國內改革の斷行
- 一、民衆富んで國防全し
- 一、過去か未來か、既成政黨か大衆黨か
- 一、中心政綱
 - 一、勤勞議會政治の建設
 - 一、大衆的増稅反對
 - 一、國民年金制の即時制定
 - 一、小作法の制定
 - 一、重要産業の國營化
 - 一、農産損失の國家補償
- 一、選舉政綱
 - 一、政治政策 (イ)選舉肅正の徹底(買収犯の嚴罰、混同開票制の採用) (ロ)選舉法の即時改正(大選舉區比例代表制、有権者年齢を滿二十歳まで低下、選舉公營の徹底) (ハ)職能代表による貴族院改革 (ニ)國民經濟會議の設置(内閣審議會の廢止と内閣調査の根本的改革) (ホ)内閣制度及び行政機構の改革
 - 一、財政政策 (イ)軍事費の標準化 (ロ)稅制の根本的改革(大衆課稅の廢止、綜合財産稅の創設) (ハ)社會的地方交付金十億圓 (ニ)國債利子支拂猶豫
 - 一、産業政策 (イ)重要産業の國營 (ロ)配當制限法の制定 (ハ)農業損害保險の創設 (ニ)中小工業者及農民の生産資金の無擔保金融(民衆商工金庫の創設、國立農業信用銀行の創設、農家借金支拂猶豫) (ホ)都市農村の均衡化
 - 一、社會政策 (イ)國民年金制(養老、寡婦、孤兒年金制の確立) (ロ)勞働者保護法の制定(勞働組合法の制定、海員法の改正、勞働者最低賃銀法の制定、失業保險制の確立、母子扶助法の制定、商店員保護法の制定) (ハ)小作法及小作組合法の制定 (ニ)國民健康保險制の確立
 - 一、外交政策 國際平和確立の基調に立ち資本主義的戰爭の危機、克服滿洲國の自主的獨立、日ソ不侵略條約の提唱、日支平和工作の促進、大平洋安全保證條約の設定等

右の様に多くの政綱政策を持つて居りますが、既成政黨の様に單に提唱するだけでは誇るに足りません、要は其の實行するか否やであります。杉山の過去四年間の働きを御覽頂けば、看板ばかりの政策でないことを御了解頂けませう、今後も農民並に勤勞大衆の公僕として、社會正義の樹立のため殉ずる決心であります。今や政、民兩黨の挾撃の間に孤軍奮闘致して居ります杉山のために、以前投票して下さつた有権者各位は勿論のこと、他の多くの有権者各位も、今度こそ是非一票を投じて下さいます、非常時議會に皆様の代理として、又一個の肉弾として働かして下さいます様只管惻願する次第であります。

新潟縣 三宅正一

有権者各位

來る二十日に對する御願

この公報が各位の御手許にとゞくのは、投票日二十日に間近い時と思はれます。詳しい私の主義政策については、すでに各位の御手

許に差上げました御挨拶状によつて、御承知のことと思ひますから、決票日のせまつた今日、簡単に私の衷情を各位に訴へ、最後の御願ひをしたいと思います。

有権者各位

思へば無産政黨の運動も久しいものであります。初は國賊のごとく罵られ、蛇蝎のごとく嫌はれた時代もありました。それは資本家地主等、無産政黨運動を不利益とする人々が、未だ無産政黨の何たるかを知らない民衆の無智につけこんで、しきりに逆宣傳をした結果でもあります。一般の勤勞大衆の多くもまたさう信じたのであります。しかしながら私どもの運動に對する信念はつねに變らなかつた。もしも日本の政界が、いつまでも財閥の手先である既成政黨によつて占領されるならば、資本主義經濟のもとに、ますます生活をおびやかされる國民大衆は、政治的にも重い負擔を強ひられ、不公平なる立場に追ひやられて、ひとり大衆生活の破滅となるばかりでなく、國家の前途實にあやふしと確信したのであります。

かくしてひとり勤勞階級の生活を守るばかりでなく、社會のため、民族のため必要なりとの確信をもつて、私はこの運動の最初から一身を投じてきたのであります。この間私どもの運動は、實に惡戰苦闘の連続である。

しかるにこゝ數年、既成政黨の醜狀は白日の下にさらされ、國民の憤激を集めつゝあるとともに、私どもの運動に對する大衆諸君の理解も、次第に深められて、今やわが社會大衆黨は、日本における唯一の勤勞階級の政黨として、多數國民の支持をうけるにいたつたのは、心ひそかに欣快とするところであります。

有権者各位

私は今日において日本の國家革新を擔當しうるものは、ひとりわが社會大衆黨のみであると信じます。わが國の社會運動が、眞に國家を背負つて日本の改革を斷行するためには、國民が安心して共に手をとつて進んでゆけるやうな、國情に即した道を切りひらいてゆかねばならぬと考へました。

これがために、私どもは共產主義を排撃して、いはゆる極左運動に對しては最初から對立してきたのであります。

さらに滿洲事變以後、フアツショ運動が起つて、無産陣營におそひかゝつたときにも、フアツショの我國の國情に合致しない所以を

信じて、フアツショ反對を叫んで今日にいたつたのであります。

有権者各位

かくしてわが無産政黨運動に對する勤勞大衆の支持は、昨年の縣會議員選舉にもつともよく反映し、わが黨は一舉にして三倍の議員を獲得したのであります。これはいふまでもなく、過去十數年間、彈壓と迫害のもとに戦ひ來つたわが無産政黨の實踐が、眞に勤勞大衆の期待を裏切らなかつた何よりの證據と信じます。

すなはち兩度の縣會において諸車税を減廢して縣民負擔の軽減を行ひ、農民組合運動を通じて小作料を軽減し、かつて女郎と三助とを名物とした越後の農民に生色あらしめ、昨年の議會においては政府提出の重要法案が枕をならべて討死したにもかゝらず、農家飯米差押禁止法を獲得し、露療組合運動によつて露療の民衆化を実現したるもの、すべてみな無産政黨を背景とする私どもの力でありま

す。かくの如き私どもの闘争に對する大衆諸君の正しき批判は、期せずして我黨に對する支持の聲となり、今回の選舉において全國において三十の同志はそれ〴〵必勝を期して戦つて居ります。そして選舉の結果は政、民、中立伯仲の間に、わが社會大衆黨がキヤスチング・ポートを握り、政局の舵を握るにいたることは、すでに世間の豫想するところであります。

有権者各位

學校時代の友人の多くは、或は官界に、或は實業界に、學界に、それ〴〵相當の地位を占めてをります。私は學校時代早くも社會運動の流に投じて、すでに十五年の星霜を経ました。その間、困苦を共にし、窮乏を分つて、戦ひ來つた同志のうちには、絶望のあまり中途にして腕くも棄志をひるがへしたるあり、或は反動フアツショ陣營に走つたるあり、甚しきは支配階級の膝下に屈服して、昨日の同志に對してかへつて反間中傷の聲を放つものさへ出て居ります。しかしながら私はあらゆる苦難にかゝはらず、初一念の貫徹にむかつて進まんとするものであります。しかも私が議會において一つの議席を獲得することは、かゝる使命遂行のためにもつとも願はしきことでもあります。再び敗戦の苦汁を喫せんか、過去十數年にわたる惡戰苦闘はこゝに極はまり、刀折れ、矢盡きて、また立つ能はざるをおそるゝものであります。

今この絶好の機会に遭遇し、私は多くの同志とともに、非常時日本の國家革新の事業に参劃すべく、こゝに各位の支持應援を乞ふ次第であります。

有権者各位

古語に曰く「石にも亦心あり」とか。十数年の苦節に對し、各位心あらば願はくば私の苦衷をくんで各位の一票を賜へ。これが私の最後の各位に對する衷心の御願ひであります。

岡山縣 黒田 壽男

一、働く者に政治的自由を與へよ

議會政治が行はれてから五十年、いま第四回の普通選挙による總選挙戦が行はれて居ります。だが、下積になつてゐる働く民衆は、果してこの議會政治によつて政治的自由を持つてゐるのでありませうか。

議會の基礎であつた既成政黨は、いまや全く獨占資本家の代辯者と化し、議會とは要するにこれ等獨占資本家の取引所となつてしまひました。働く民衆にとつては議會政治は選挙の時に一票を行使するといふ丈で自らの生活と何の關係もなく行はれ、民衆の政治關與は一の形式となつてしまひ、政黨は民衆の生活を無視し、止めどもなく腐敗して行きました。

近來、大資本の獨占は更に進行し、獨占資本家は自らの獨占支配を政治的に一層強化するために、民衆のこの形式的政治關與すら嫌ひ出しました。彼等は既成政黨墮落を口實に議會政治すら廢止し、大資本の獨裁政治を目論むで居ります。

私達はかうした獨裁政治をファッショ政治と呼びます。

いまやファッショ政治は進行しつゝあります。議會に基礎のない官僚及軍部上層部が政治の實權を握り、議會は有名無實のものとなりつゝあることはこの事實を證明して居ります。ファッショは既成政黨を我々と同じやうに攻撃して居りますが、私をして云はしむれば、ファッショは既成政黨以上に民衆の敵であります。

何故かと云へば、獨裁政治は民衆の政治的自由の蹂躪であり、政治的自由蹂躪は生活權の蹂躪を意味するからであります。だから私

は「官僚政治の打破」「ファッショ反對」を叫び、「普通選挙權の徹底的擴張」を主張するのであります。

二、軍事豫算と税制の整理

昭和十一年度豫算は、總額二十二億七千餘萬圓で、その内の終五割は軍事費であり、しかもこれは年々六億乃至八億圓の赤字公債で賄はれて公債總額は百億圓にも達してゐます。此の尨大な軍事費は、たしかに軍需工業資本家を潤ほしました。第六十七議會における政府提出資料によれば、これ等軍需工業會社の儲けは、昭和六年に比して九年には陸軍からの注文で二倍となり、海軍からの注文で六倍となりました。しかしこれに反し、労働者の賃銀は平均一日十錢安くなりました。

また赤字公債の増發は、國內にインフレを起し、海外ダムピングによりて輸出工業資本家の懐を温めました。しかしこゝに働く労働者の賃銀は驚く程低くなつてゐます。

更にインフレは必然的に國內に物價騰貴、わけても生活必需品の物價騰貴を惹き起しました。例へば米は、昭和六年に一石十八圓に過ぎなかつたものが、三十二圓になりました。しかし三十二圓の米をつくつてゐる農民も亦苦しんで居ります。何故かと云ふと農民は長い間、高い肥料代、高い小作料を支拂つて居り、高い税金を課せられてゐたので、年々莫大な借金を背負つてゐるために、三十二圓はおろか、四十圓になつても損失を償ふわけには行きません。依然として農村問題は日本にとつて生死の問題であります。それなのに政府は軍事費の膨脹を楯に、かくのごとき農村を救済しやうとはして居りません。

軍需インフレが民衆にとつて生活難を深化してゐることは、そればかりではありません。年々の赤字公債は、既に財政破綻を來さうとして、政府はこれを救ふためにと稱して所得税免稅點の引下げ、酒税の引上げ、煙草郵税の値下げ等々大衆的増税を企むで居ります。かくて軍需インフレは、資本家には利潤を、働く民衆には貧困を約束して居るのであります。

こゝに於て私は「軍事費の縮減」「相續税、所得税の高率累進賦課」「資本利子税、特別利得税の増徴」「恩給制度を下に厚く上に薄くなる様に改正」して支出を節減し歳入を増すことによつて、次の諸事業を即時斷行すべきことを要求するものであります。

- (一) 労働者、農民、小中商工業者、下給俸給生活者の國稅並に地方稅の減免
(二) 義務教育費全額國庫負擔、地方稅政調整交附金の交附

- (三) 養蠶農家損失の國家補償
- (四) 農家及小中商工業者の負債整理の徹底と低利資金無擔保融通
- (五) 出征入營兵士家族生活の國庫保證

三、働く者の生活権を擁護せよ

軍需インフレの破綻によつて、働く民衆は敍上のごとく生活苦に喘いで居ります。しかも政府は尅大な軍事豫算を口實として何等の救済をも講じようとはしてゐないことも既述の通りであります。のみならず大した豫算も必要としない働く民衆の生活権擁護の方法すら講じてゐないのであります。

都市にあつては前に述べたやうに労働者の労働條件は日々に悪化して居りますけれども、労働者にとつては自らの生活を擁護する罷業権すらないのであります。賃銀の低下、失業の不安、臨時工採用による労働條件の劣悪化、かうした諸事情に對抗し得る方法としては、労働者が團結し、罷業する権利は、生活権擁護の立場から當然なものであります。しかるにわが國においては、いまだ労働者が労働組合に加入した。がために誠首され、労働條件の改善を要求しては失業し、罷業は非合法的手段とされ、労働者のかゝる行爲を保護する法令一つないのであります。

また農村に於ては、小作農民は高率な小作料に悩み、土地取上げに喘ぎ、高利債務に呻めいて居ります。小作料の減免、耕作権の確立、債務の整理は農村問題解決の最重要手段の一つであり、かくのごときものゝための要求運動は生活擁護の當然の権利であるにも拘らず、現行法規の下に在つては、かくのごとき小作農を保護すべき一つの法令すらありません。

また都市における居住者の絶対多数は、借家人であります。しかるに現行法律の下では此の借家人が、如何なる場合にも家主からの立退き要求に従はねばならない程、その居住権は保護されて居りません。もちろん六大都市にだけは借地借家法が實施されて居りますが、これは不充足且つ偽購的なもので眞に都市住民の居住権を保護しては居りません。まして況んやその他においておや。かくて私は民衆の生活権の擁護のために次の如く要求するものです。

- (一) 團結權、罷業權並に臨時工禁止を含む労働組合法の制定

- (二) 耕作権確立並に小作料引下げを含む小作法の制定

徹底的借地借家法の全國的實施

肥料價額引下げのための肥料カルテルの嚴重な取締法令の制定

借金支拂猶豫令の制定

(五) 私は此の要求を掲げて無産大衆のため戦ひ抜くことを有権者諸兄に誓ふと共に、諸兄の絶大な御支援を御願ひする次第であります。

福岡縣 松本治一郎

一、弱體内閣と弱體政黨

重臣プロックを背景とした軍部、官僚、政黨の寄合世帯である岡田現内閣は、誰もが知つてゐるやうに、所謂ファッショ的傾向を抑へ制することを目あてとして生れた中間的弱體内閣であります。従つて目下の非常時局面を打開するための政策に就いても何一つ持ち合せがなく、右に左によるめきつ定見なき御都合主義の間に合せ策で其場々々をゴマ化してをります。

政友會は現内閣を指して、政黨に基礎を持たぬ弱體内閣であると非難し虚勢を張つてゐますが、一時は絶対多数黨として議會に三百三の議席を有しながら、弱體である筈の現内閣を倒し得なかつたばかりか、何等強力なる迫撃を加へることも出來ず、犬の遠吠へにも似た無力なる正體を暴露しました。

民政黨たるや其の弱體内閣の袖に縋つて與黨となり、辛ふじて政權のおこぼれを頂戴してゐるに過ぎません。その暫間的態度は、實に笑止の至りであり、また醜惡の極みであります。

國民同盟に至つては政黨として自立の能力さへもなく、醜婦の厚化粧を凝らし、ファッショ勢力に身賣りせんとして頻りに秋波を送つてゐます。

このことは正しく、現内閣が弱體内閣であつると同時に、既成政黨も亦、國民大衆の支持を失へる弱體政黨であることを完全に暴露したものでありますまいか。

二、立憲政治を危機に導いたものは誰か

かくの如く既成政黨が無力無能に陥つたのは、彼等が過去に於てなした凡ゆる罪惡の結果であります。飢餓と寒さにふるふる失業者

工場、鑛山、街頭に於て汗と油にまみれて長時間の労働に苛まれつゝある労働者
草木の根を啗つて其の日の露命をつなく農村大衆の疲弊困憊

大資本に壓倒され没落に瀕して喘ぎつゝある中小商工業者

薄給に泣く下級官吏、サラリーマン等々

かゝる國民生活の非常時をよそに見て、一部大富豪と結託して秋利私慾を貪り、疑獄に次ぐに疑獄、瀆職につぐ瀆職を以つてした彼等既成政黨は、自ら墓穴を掘つて國民大衆の信頼を失ひ、議會政治信するに足らずと、我が國の政體に反する獨裁政治の樹立を企てた一部ファッショ勢力を擡頭せしめ、立憲政治を危機に直面せしめたのであります。

しかも此の反動ファッショ勢力にさへ立憲政治擁護のための一戦をも交へ得ず、猫に睨まれたる鼠の如く、憐れにもその臆病と無力さを國民大衆の面前に餘すところなく暴露したてはありせんか。

然るに、第六十八議會が解散され總選舉となるや、彼等腐敗墮落せる既成政黨は、ファッショ勢力が稍下火になつたとみて、一様に「憲政常道論」を振りかざしてのさばり出しました。それは既成政黨の醜態さに愛憎をつかした國民大衆を、再び欺き集めて、かつて味つたところの甘い汁にありつかんとする狡猾極まる魂膽に外ならないのであります。

然しながら「憲政常道」への復歸とは、斷じて彼等が云ふごとき既成政黨へ國民大衆が復歸することではありせん、眞の憲政常道への復歸とは、國民大衆とその利害を代表するわれわれ新興政治勢力との結合でなければなりません。

抑々、立憲政治とは、政黨政治屋が、私慾を充すために政權にありつくことを云ふのではなく、議會を通じて民衆の總意が政治に實現することであればなりません。民衆の總意を體現し得ない政黨が、たとへ政權を獲得したからとて國民大衆に何の利益するところがありませうぞ。

三、選舉肅正、明朗政治は我等から

彼等はまた、選舉肅正、明朗政治を第二の題目としてゐます。だが選舉肅正といひ、明朗政治といふ裏には「不正なる選舉」「陰鬱なる政治」に一貫したる彼等の過去の、自ら證據立てゝゐるものではありませんか。肅正ことに結構であり、明るい政治もまた大賛成であります。だが、今日、選舉肅正を強調し、明朗政治を叫ばねばならぬ悲しむべき状態を作り出したのは、一體誰の罪でありますか。云ふまでもなく、腐敗墮落せる彼等既成政黨の罪であります。我等は彼ら既成政黨から此の聲を聞く時、恰も強盜に説教されてゐると同様の感なきを得ないのであります。

眞の選舉肅正、明朗政治を彼ら既成政黨に望むことは、まことに木に據つて魚を求むるの愚に等しい。

私は斷言します。選舉の肅正と明朗なる政治を聲高く叫び得るものは、新興政治勢力たるわれわれ國民のみであることを。

四、國民大衆に捧げる私の覺悟と誓約

今日の行詰まれる社會情勢と、國民大衆の生活窮乏は、彼ら腐敗政黨の憎むべき罪惡の綜合的結果であります。故に國民大衆は、今日こそ彼等に對して一齊に力強き「總括的不信任」を投げつけねばなりません。

不肖松本治一郎は、この國民生活の非常時局に際して行はれる此度の總選舉に當り、正義を愛する同志諸君に推されて此處に立候補致しました。私はクドクしく政見を述べたことを避け、たゞ一意専心、身命を賭して民衆の生活の安定と權利擁護のために、次に掲げる政策の實現を期し、國民大衆の目醒めたる御協力と御支持により、眞實の明朗政治樹立のために、最後の血の一滴まで闘ふことを誓約致しまして、私の決意を披瀝し、立候補の挨拶に代ふる次第であります。

主なる政策

勤勞大衆の負擔を軽減し大富豪に高率累進課税

勤勞大衆に生産資金の無擔保無利子貸與

失業保險、退職積立金制度の即時制定

労働者最低賃銀法の制定

下級官吏、薄給サラリーマン、労働者の待遇改善
 農漁山村の徹底的保護政策の實施
 農家飯米一ヶ年分差押へ禁止法の制定
 土地引上げ、立毛差押へ、立入禁止處分反對
 災害、窮乏農民に充分なる飯米と肥料の無料給附並に税金の減免
 小開墾補助費交付制度の復活
 出征、入營、戦死傷病兵士家族の生活の國家による保障
 一切の社會施設費、社會事業費の増額並にその全額國庫負擔
 大資本の重壓に苦しむ中小商工業者の保護
 義務教育費の全額國庫負擔
 身分的、民族的差別の撤廢
 富豪の脱税、瀆職官吏の嚴罰
 ファッショ反對

福岡縣 龜井貫一郎

今回の總選挙に當りまして私は同志の御推挙を以て茲に立候補致しました。

社會大衆黨とは

私の所屬致して居ります社會大衆黨とは全國の無産階級解放の爲普選を前にして全國單一の無産政黨労働黨が結成されました時、此労働黨が共產黨の外廓となり其の指導の下に動く様子が見えましたので、之から脱退し日本労働階級の行く可き道を明にす可く結成致しました社會民衆黨が其の前身であります。其の時同じく労働黨から脱退し日本の國情に即して労働者農民の爲に働こうとし

て麻生久君を黨首として日本労働黨が出来ました。即ち社會民衆黨と日本労働黨と労働黨の三つになつたのであります。其後麻生久君は其の大腹から無産黨を一にして其の中で國情に即した無産運動の本流を確立されやうとして、日本労働黨と労働黨と地方無産黨を合同されました。民衆黨も参加されました出来たのが全國労働大衆黨であります。其處で我國の無産黨は社民黨と労働黨の二つになりました。

労働黨の中で漸次麻生君の指導力が確立し準共産黨が退却しましたので、労働黨と社民黨が合同して茲に社會大衆黨が安部先生黨首麻生君書記長の下に生誕致しました。

労働階級の解放によつて日本民族の發展を期する麻生君と世界の情勢から國際的社會主義の誤りを認め、日本に社會的經濟を確立しようと云ふ舊労働黨中の健全分子と我々がうまく行かぬ筈は御座居ません。今、社會大衆黨は和氣藹然協心協力奮闘を致して居り其の政策綱領は大體舊社會民衆黨と同然であります。

淺原君と私は即ち舊社民と舊民衆黨とは運動の理論と實踐の方針に於て多少違つて居りましたが、同じ社會大衆黨になつたので黨本部の政策綱領で一緒にやつて行こうと考へて居りましたが、何分私は黨本部で麻生君を助けて中央に居るか全國を駆け廻り淺原君は又本部に居られず九州に居られました爲に御懇談の機會がなく今日に至つたのは残念であります。だが御蔭様を以て、私が最初の立候補以來各位に御訴へを致しました主義方針で全國の無産黨が殆んど統一されたことは、各位の御支援に對して御禮を申上度いと存じます。

躍進する社大黨

我々が豫ねて主張致して居りました選挙肅正は遂に行はれました。此肅正選挙で社大黨は正式黨員たる府縣會議員三十二名、黨系統の中立議員約十名、此分では私の同僚で今回立候補致して居りますものゝ中十名乃至十四名位は當選致すであります。此躍進に對し八年の御眷顧の御禮を申上ぐると共に各位の御力添へで躍進さして戴き度い事を切に御願致す次第であります。社會大衆黨は國民生活の安定、國內改革の斷行、日本民族の發展に對する大衆の迫力の集結した清新な力であります。蓋し一定國民の輝かしき永遠性は、その發展の方向が雄大なる人類總意の源に添ふた時にもみ確保せらるゝものであります。

先づ國內改革を斷行する。其の國の建前が立派なものになつた時に我國民の背後に全極東民族が動員せられます。然る時世界の如何なる國々が牽制してかゝらうと斷じて打勝ち難きものとなります。匹夫も魂を奪ふ可からず。況や東洋民族の魂を高き民族相愛の純理論の中に求むれば互に崑崙山脈の天險によつて東西兩洋を割し大平洋岸に胸壁を連ねて亞細亞の侵略者を撃滅する事が出来るでせう。しかしこの事は素より戦を好むと云ふ事では御座いません。各民族が人類文化に貢献する能力に比例して公平に世界の資源を再分配し資源の開発を自由にし、移住、貿易を自由にし白人帝國主義に壓迫されて居る民族を開放し世界民族を平等にする平和的處理を本來の建前と致します。内、國民生活安定の國內改革、外、革新的國民外交、こゝに日本再建の重い荷を背負はされて我々は立ち上ります。

國內改革は何から

色々な政策も力がなければ繪に書いた餅であります。實行力を要します。實行の力は出來つゝあります。軍部、官界、實業界、農村では産業組合、農民組合、中小商工業組合、労働組合等社會の各界に亘つて改革の力は立ち上りました。しかし其改革にも力で急進的に行こうと云ふのと具體的合理的に行ひ、時と共に全面的改造を行はうと云ふのと大別して二つありますが、吾々の任務は議會の中に改造の同志を増して諸改革勢力の大綜合を行ひ改造の迫進力を増し度い事、之が第一の着手であります。

富面の仕事

改革とは現状に於て資本主義の經濟政治に改革を加へる事でありませぬ。それでなければ國民大衆の生活は安定致しません。又日本の社會は多少老人的生理状態になりました。誰れでも學校に行き又勉強出來其の才能に應じて國家の爲に働き且つ立身する希望を持つことになつて居りませぬ。

改革は先づ財政部門より起ります。本年度の豫算は資本主義機構の下に於ける最後のものであります。公債發行を極減すれば今日のインフレは解消し、さりとて分配生産の行程に手を下さないで無制限に公債を發行すればインフレの破局に葛進致します。更に増加しなければならぬ國防費、産業費社會政策費を賄ふ爲には第一には増税であります。だがこゝの増税が一般國民にかゝれば又購買力減少と不況が襲ひます。増税は當然社會政策的な富の均分化に向つての有産有閑資本及巨大財産に重課する税制改革に向はざるを得ませぬ。

ん。之丈けでは賄へませぬ。國防産業社會施設の公債によるの外ありません。しかし此公債は利子を喰ひます。そこで公債利子を引下ぐると共に別に産業公債を發行し、重要産業の國有、國營乃至私的企業への國家資本の参加を圖りその利潤で公債利子を賄はねばなりません。即ち富の再分配均分化の行程を通じ國民の生計餘力の増加を圖り其貯蓄力の上に公債消化力を延ばして行くと共に國民の生活に活力を興へるのであります。其産業費を以て農村中小商工業者の協同組合による生産資本を融通し其社會政策費を以て夜間中學其他教育機會均等國民創造力の發展を圖ると共に養老寡婦孤兒の院外救助を行ひ國民後顧の憂なからしめ度く存じます。その關係に於いて保險の公營は必要となります。其國防費を以て國防を完備すると共に國防の高度化の上から其費用を新興工業に振向け國防産業の一元的統制を實現し、國家産業の海外進出力と國防を同じ基礎の上に置き併せて立地集結工業の統制、公益的産業統制、産業設備の代換、國家産業の見地よりする勞資の協力の立前の労働行政を確立し労働者の産業に於ける地位を高めるのであります。農民組合産業組合運動の發展により土地利用組合、農産物の生産者統制、農村の工業化を以て農村の平和と都市農村の不均衡を回復し度く存じます。これが出來れば大體國際飛躍日本の姿勢は明らかな勤勞者日本の力で立ち直ります。其處で新なる世界秩序と平和を求めて新國際協和に出發出來るであります。この平和的國策を認めざれば血は呼び起されます。しかしこの用意あらば日本は突進出來るであります。

各界中堅人の時代に

従つて力ある中堅が下積みになつて居ります。この人々を上を押し上げて新興日本の指導者とする時代を作る可く先づ議會を新にして戴きたいので御座います。議會を新しくする爲に私に叶ひますならば御奉公さして戴きたいので御座います。

道義日本の再建を目指しまして。

二、國家主義各派

北海道 赤松 克麿

九〇

現代の日本は、建國以來未曾有の重大なる歴史的段階に立つて居ります。滿洲事變を起點として、我が日本民族は白人本位の欺瞞的世界平和主義に對抗し、亞細亞解放を通じての真正世界平和主義を確立すべく敢然と立ち上つたのであります。滿洲事變以前の日本は消極退嬰主義に囚はれ、英米列強に追従し、東洋に於て優越的地位を占むる能はざるのみならず、一步一步國家的地位を低下しつゝある有様でありました。英米列強は日本の大陸發展を制肘し、英米に依頼する支那國民黨権は執拗なる排日行動を繰り返し、ために日本は滿洲に於てすら張學良軍閥により毎日排日の迫害を蒙るに至つたのであります。而して我が政局を擔當する既成政黨は、政友、民政共に徒らに政權爭奪に没頭し、黨利黨略に熱中し、その結果、對外國策は没却され、國運發展は無視されたのであります。

斯くの如き憂ふべき國難状態を敢然と打開したのが滿洲事變であります。之によつて我が國民意識は消極日本から積極日本へ、退嬰日本から躍進日本へ一大轉換を行ふたのであります。躍進日本のコースは、滿洲帝國の建設となり、國際聯盟の脱退となり、ワシントン條約の廢棄となり、北支工作の進展となり、更に倫敦海軍會議の決裂となつたのであります。日本は膨脹民族であり發展民族であります。日本が東洋の安定力として、東洋平和確保の中心勢力たる地位を占めるのは當然であります。日本自身の人口問題、資源問題の解決のためにも、また永く白人帝國主義に侵略された亞細亞被壓迫民族を解放するためにも、日本は如何なる外部的壓迫にも屈することなく、舉國一致を以て大亞細亞政策の斷行に向つて勇往邁進しなければならぬ天賦の使命を有するのであります。東洋文明勝つか、西洋文明勝つか、今や東亞を舞臺として世界文明の爭覇戰の序幕が展開しつゝあるのであります。

滿洲事變發生して以來、既成政黨は政局の中心的地位から退却して、齋藤内閣、岡田内閣の如き官僚中間内閣の實現に至りました。既成政黨退却の直接の動機をなしたのは五・一五事件であります。此の未曾有の内外の非常時局に對して、既成政黨は何等の國策經綸なく、一片の政治的良心なく、徒らに政權爭奪、利權蒐集に没頭し、到底時局を擔當する能力を有しな

いからであります。政友會が三百三名の絶對多數を擁しながら空しく政權から隔離したのは、政黨的信用が地に墜ちたからであります。民政黨と雖も何等政友會と本質に於て變ることなき政權爭奪株式會社であります。

彼等既成政黨は低劣なる利己主義に墮落したため、外に對して國運の發展を圖らざるのみならず、内に於て些かも國民生活の安定に盡す所がありません。就中、極度の疲弊に呻吟しつゝある農村救済に對して、口に農村振興を唱へながら、實際に於て殆んど誠意ある對策を講じないのであります。農村の窮乏は國家産業上から重大問題なるのみならず、國防上から見ても、國民道德の上から見ても、由々しき國家的大問題たるを失ひません。五十億の借金と過重なる税金と農産物價格の低落に悩みつゝある農村に對して、根本的救済策を確立することは、國家焦眉の急務であります。米穀專賣、肥料國營、正しき協同組合の發達等は、農村更生のための絶對條件であります。

日本建國の精神が、畏れ多くも皇室を中心とする大家族主義であり、この一君萬民の國家體制が三千年の歴史を有することこそ我が國體の萬國無比なる所以であります。明治天皇の渙發し給ふた五箇條の御誓文の中に「官武一途庶民に至るまで各々其の志を遂げ人心をして倦まざらしめんことを要す」といふ御言葉がありますが、國民大衆が各々其の志を遂げ生活が安定し何の不平不満もなく、君國に奉公の誠を致すやうになることが、大御心に現はれた政治の眞諦であります。現代の政治家は能く大御心を體して、救世濟民の實を擧ぐる責務を有するのであります。然るに現代の政黨政治は黨利黨略に流れ、一君萬民の本義を没却するため、勤勞國民の生活難は益々深刻を加へんとする傾向にあります。生活犯罪件數の激増、親子心中の増加、國民健康の惡化的傾向等の如き、明かに勤勞民衆の生活苦を語るものでなければなりません。宜しく現代の政治を我が國體の本義に引き戻し、從來の墮落せる利己的政治に對し一大革新の實を擧ぐることは愛國の至情に燃ゆる國民的良心の要請であると信ずるものであります。

五・一五事件以來、議會が國民的信用を失つたことは明瞭であります。それは議會制度其物が信用を失つたのではなくして、議會を構成する既成政黨が信を天下に失つたのであります。明治天皇の欽定憲法によつて生れた帝國議會の信用を高めることは、國民の當面する義務であります。それには從來の既成政黨のみによつて衆議院を獨占せしむることなく、正しい國民的政治的良心を議會に反映する必要があると考へます。即ち外に對しては日本民族の世界的雄飛を意圖し、内に對しては國民生活の安定を念とし、常に愛國の

情熱に燃ゆる代議士を一人でも多く議會に送ることが今日の總選舉の持つ時代的意義であると考へるものであります。不肖私は今回本道第四區の同志諸君の熱誠なる推薦を受けて立候補した次第であります。微力短才ながら小生が飽くまでも新日本建設の一兵卒として愛國の至情の動くまゝに献身的政治生活を送らんとする決意と覺悟とを御認識下さいまして、私のため絶大の御後援あらんことを切望するものであります。

赤松克磨略歴

- 一、明治二十七年十二月四日、山口縣徳山市に生る(當年四十三歳)。
- 一、大正八年六月、東京帝國大學法學部卒業在學中雜誌『解放』主筆となる。
- 一、大正八年九月友愛會に入り選友同志會々長となる。
- 一、大正十五年十二月安部磯雄氏等と社會民衆黨を組織しその書記長となる。
- 一、昭和七年五月社會民衆黨を脱し日本國家社會黨を組織し黨務長となる。
- 一、昭和八年七月國民協會を組織し會長となる。同年十二月松岡洋右氏の政黨解消聯盟に參割す。
- 一、現在、國民協會々長兼やまと新聞編輯顧問

東京府 松谷與二郎

立候補宣言

勤勞日本黨總理 松谷與二郎

私は勤勞日本黨々首として今回第四回目的の立候補を致しました。私は本年五十七歳、資本主義の惡弊に悩む勞働者、農民、中小商工業者の解放を叫んで、惡戰苦闘三十年、いつしか齢を重ねました。然し未だ老いません。主義に殉じ、主義に闘ふべく、一身を抛つて奮勃たる元氣をもつて健闘致します。どうぞ皆さん、この意氣を諒とせられまして、前回同様絶大なる御援助を賜らんことを切望致します。

國內不安は非日本的經濟闘争に原因す

今や我國は、非常時といふ國家としての一大危局に置かれて居ります。此非常時たる要素を検討して見ると、それは對内的と對外的との二つに分類することが出来ます。

而して、對内的には思想不安、農村疲弊、失業者續出等に因る世相惡化等ですが、要するに斯る國內的不安状態を招いた根本原因は何と云つても資本主義の非日本的な惡影響に在りと言はなければならぬ。農村問題にしても、資本主義の重壓に悩む農村に於て、激烈な非日本的階級闘争思想蔓延の結果、遂に地主、小作人共倒れとなり全国的に疲弊困憊し、全農村を通じて、其負債額實に六十億を算するに至つた。又都市に於ても、工業資本家の多くは勞働者を搾取し、一旦經濟界が不況となれば、御都合次第でそれら勞働者の多數を誠首して平然として居る。一方勞働者の中にあつても、今猶勞資の利害が對立すとなして、勞働者の世界的團結を説き、非日本的思想を抱く者がある。特に私の奇怪に思つてゐる事は、我國の輸出貿易が最近著しく發展し、昭和七年の輸出貿易額十四億九百餘萬圓だつたものが、昨年度に至つては二十六億三百餘萬圓に達し、差引十一億九千四百餘萬圓即ち約二倍に近き大飛躍を爲してゐるが、之に對して勞働者の就業率、賃銀率は殆んど改善せられて居ない。殊に失業者の数は、勿論二百五十萬人に達して居る。輸出貿易が如此く二倍にも大飛躍をして居るのに勞働者の就業率、賃銀率が依然して不良なのは何故でせうか。これは資本家のみ儲けて勞働者に均霑しない不當搾取の結果に外なりません。

斯くては勞働者の不平怨嗟の聲は永久に絶えることがなからうではありませんか。中小商工業者の場合も亦同様であります。資本主義による自由競争の結果として、小資本は大資本に併吞せられ、中小商工業者は之が重壓下に喘ぎ、デパートの進出は一般小賣商を壓迫し、倒産の悲境に陥らしめてゐる。之等が偽らざる現在社會の實相である。

約言すれば、我國の對内的非常時性は、農民對地主、勞働者對資本家、中小商工業者對大資本家の相剋性とそれに基く所謂階級闘争に其根源が置かれてゐるのである。須らく國體の本義に照し之を是正し、資本家地主は自制し、勞働者農民は反省し、産業協力國民一團となつて精進邁進すべきであると確信する次第であります。

非常時難局突破の唯一の途は經濟統制にあるのみ

今や眼を擧げて世界の國際情勢を御覽なさい。海軍會議決裂の結果は、英、米、佛、伊、提携から更に露、獨をも勸誘し、六ヶ國プロックを結成して我國を世界的孤立無援の窮狀に追詰めんとしてゐる。

剩へ、來るべき無條約狀態に處すべく、英國は海軍大擴張を斷行するのみならず、帝國領土に間近き香港に空軍根據地を建設せんとし、米國も亦太平洋面に數ヶ所の空軍根據地を新設し、大西洋艦隊の主力をも恒久的に太平洋岸に集中せんとして居る。又一方ソビエツト露西亞は、對日戰備として第二次五ヶ年計劃を急ぎ、隣邦支那は、陽に親日を唱へて陰に反日抗日を事として居るの狀態である。而も滿洲國成立漸く五年、之れが扶掖誘導の大責任は、繫つて國民の双肩に負はされてゐる。斯くて對外非常時の聲は、年と共に其深刻さを加へつゝあるのであります。

此重大危局に臨んで、國家の内部に險慘な不安を孕み、而も國民が二つの階級に分れて内部鬭争を續けるといふことは、甚だ憂慮すべき現象である。一刻も早く非日本的な階級對立と、其根源たる資本主義を修正し、天皇治下に於ける強力なる政府によつて、現在の自由主義經濟機構を改め、國家統制による經濟機構とすると共に、同胞一體烈々たる國民精神の實踐を通じて、盡忠報國の血誠を盡すべきであります。

大凡我國の財産は、國體の本義に照せば縱しや名義は私有であつても、其實質は總て 天皇の御所有であり、改めて皇室によつて國民平等に配分されて居るといふ所謂「皇道經濟」の根本原理に立つてゐるものである。斯くして私共の唱導する統制經濟は、電氣、製鐵、紡績等を始め各種の重要産業、銀行、保險等を嚴重な國家統制の下に置き、右の根本原理に基き公正な利潤の處理によつて、搾取なく鬭争なき一君の下萬民厚生の実を實現せんとするものである。

之を實例によつて示せば、例へば電力問題に於て、我國の電價一キロワットは四錢内外であるが、米國では其十分の一以下の三厘五毛である。之れ正に獨占事業による資本家の利益壟斷の好典型である。又滿洲國に於ける撫順炭は、撫順渡し一噸三圓五十錢であるが、内地に來ると一圓十四圓と爲る。これは三井、三菱其他有力なる石炭業者が、一種のトラストを造つて其結果六、七千萬圓の利潤を搾取して居る爲めで、それだけ石炭需要者が苦しめられてゐるのである。然るに國家的統制經濟によれば、斯る弊害なきと同時に其利潤は擧げて國家の収益と爲り、軍事費の如き自ら其中より湧出し得るのであります。

斯くの如く、内統制經濟を布いて國內鬭争の憂ひなく、上に萬世一系の皇室を戴き、國民一丸と爲つて外に當らば、對支、對露、對米等の各問題敢えて憂ふるに足らず、益々國威國力を伸張し、大亞細亞の盟主たり得ること期して俟つべきであります。私は斯る主張の下に、曩に大衆黨の同志諸君と袂を別つて國粹主義に基く労働農民黨とも云ふべき「勤勞日本黨」を組織結成したのであります。

私の主義主張の大意は、大約以上申述べた通りであります。右の立脚點より現岡田内閣を眺むる時、甚だ遺憾の點が多いのであります。先づ何よりも第一に許し難いのは、國體明徴問題であります。長くも 天皇は國民の宗家にましまし國家の基本で在らせられるは、實に我帝國の世界に冠たる所以であつて我國民の最上無二の誇であります。従つて天皇機關説の如きは我國家に絕對に容るゝの餘地なきに拘らず、政府は未だに問題の最後の解決を曖昧に附して居るのは、微力と云はうか不誠意と云はうか正に鼓を鳴らして責むべきである。

以上述べ來つた處に依り、私の當面の政策の主なるものは左の如くであります。

- 一、國體明徴の國民生活への徹底
- 二、大規模失業救済策の實施
- 三、國民最低生活の保障
- 四、重要産業及金融の統制
- 五、中小商工業の保護
- 六、廣義國防思想の普及
- 七、軍事費と社會政策の調和

私は右七政策貫徹の爲めに、身を堵して戦ひ倒れて後己むの決心です。何卒私の主義主張を十分御検討下さいまして、何分の御同情と御聲援とを冀望して止まない次第であります。

群馬縣 田中澤二

群馬縣第一區の選舉民諸君
タナカタタジ は、今度の總選舉に、群馬縣第一區より立憲養正會所定の候補者として立候補いたしました。タナカタタジ の立候補の趣意は、立憲養正會の國策たる 日本改造の具體案 を實現して 天皇政治を確立したためであります。

群馬縣第一區の選舉民諸君

政治がありながら、國がみだれたり、國民が苦しんだりするのは、政治がまちがつてゐるからです。どう間違つてゐるかといふと、今の日本の政治が 天皇政治ではないからです。天皇政治といふのは、天子さまのみ心の通りに國を治め民を治める政治といふことです。大臣や議員が、政黨といふものによつて、悪いことをする様な政治は、いくら 天皇御統治の下にある政治とはいへ、天皇政治ではありません。

群馬縣第一區の選舉民諸君

一日も早く 天皇政治をうちたて、日本帝國を 天子さまの御意のとほりの日本國にさせ、それが國民としての護國のつとめです、また責任です。

群馬縣第一區の選舉民諸君

タナカタタジ は、その責任を果す爲に立憲養正會をつくり、日本改造の具體案をつくり、全國の同志をあつめ、どうしても天皇政治の確立によれる新日本の建設といふ目的を達したいとおもひます。

この目的の達成は、養正會が、衆議院の多数を制することによつてできます。その第一着手として、こんどの選舉に、タナカタタジをはじめ、門下の者六、七人が全国各地で立候補いたしました。

群馬縣第一區の選舉民諸君

タナカタタジ は、言つた事は必ず實行する男です。命にかけて實行する男です。既成政黨の政治家のようにウソをつく事は大き

らひな男です。どうぞ、タナカタタジ を信頼して下さい。

タナカタタジ の名をよくおぼえて下さい、タナカタタジ を本字でかけば 田中澤二 ひらがなでかけば たなかたくじ 投票の時ほどでも書きいゝ字で書いて下さい。

昭和十一年二月七日

立憲養正會所定 タナカタタジ

衆議院議員候補者 田中澤二

立憲養正會總裁 たなかたくじ

愛知縣 杉浦武雄

立候補宣言

日本は正に非常時である。而し幸せな事に日本の非常時は悲觀すべきにあらずして、後の飛躍が期待せられて愉快な非常時である。昨年の秋頃から日本は北支那に手をつけた。丁度滿洲事件の時と同様で、政府がやるのではない。軍部大臣が命令したでもない。誰とはなしに日本がやつて居るのである。いつの間にか滿洲國が出来たやうに、親日的な北支那政權等が出来てあらう。

北支那問題を進めて行くと、英米露支と衝突するおそれがないでもない。従つて日本としては非常なる覺悟が要る。併し日本は如何なる困難にぶつからうとも、やりとうさねばならぬ。理由が三つある。

第一、經濟的理由 徳川時代の日本は始終人口三千萬で自給自足して來た。勿論國防には一錢も使はずに。當時の生産状態に於ては三千萬以上の人口が養へなかつたためである。然るに世界各國は、ズット以前から、軍備を充實して他國を侵略する、所謂帝國主義戰爭に没頭して居り、其の先端は日本に迄及んで來た。こゝに日本は國力の増進と國防充實の必要とを感じ、其の手段として、能率的な西洋式生産方法を採用した。日本は之に成功し、日清戰爭の頃には、國力は増大し國防はやゝとゝのひ大捷を得た。然るに明治三十年頃人口四千萬を數ふるに至つて、日本の國內原料は乏しくて、之を利用するだけでは、如何に努力しても、四千萬以上の人口を養ひ

國防はよりよく完備させて行く事の出来ない事がわかつた。之より日本は原料を外國から買ひ、之で品物を作り、再び之を外國に賣り、其の利益で國家を經營する方針を立てた。其の後種々の事があつたけれど、結局日本は大和民族七千萬をようし、世界一流の軍備を有するに至つた。

従つて此の調子でいつ迄もやつて行ければ日本は萬歳であつた。然るに此の數年來、日本でいくら安くてよい品物を作つても、諸外國で買つてくれなくなつた。英國は本國及植民地。米國は南北アメリカ。ロシアは自分一ヶ國。フランスは歐洲全體を各其の經濟區域として自給自足の經濟を立て、區域外とはなるべく取引せぬ方針をとり出したのであるから、日本の品物が賣れなくなつたのは當然である。こうなつて來ると、外國貿易で國を立て、來た日本は生きるか死ぬの大問題である。せつばつまつた日本は滿洲へ進出しやうとした。然るに張作霖、張學良二代つゞいて日本を滿洲から追ひ出さうとして居た。こゝに於て日本の決心は出來た。關東軍先づ動き全國民之を支援して張學良を滿洲から追出し、滿洲國を作つた。即日本は其の生存の必要上滿洲に進出したのである。日本にとつてはやむを得ざる行動と云はねばならぬ。

かくて滿洲は日本にとつて將來の最よき得意先であり原料供給地となつたわけであるが、今の今としては其の實力がない。然らば今日只今日本の得意先たり原料供給地たり得るところは何所か。それは北支那をおいて他にない。北支に親日的な政權が出來、治安が保たれたなら、人口八千萬、大臣居り、御用商人居り、其のコブソ居り、金持事業家住み、支那中文化最も高く、内容充實した地方たるべく、日本の得意先としての資格十分である。果して然らば貿易國として立つた日本は北支に進出する以外、國を經營して行く案はない。困難だらうが危険だらうが、北支問題をやりとす外ないではないか。更に進んで中支、南支に親日政權の成立を見る時日本は、東洋全體を日本の經濟區域として優に、英米露佛と十分に對抗し得、始めて國家百年の計も立つと云ふものである。

第二、國防上の理由。之は明白である。ウラジオストクから東京へ來るに飛行機で六時間。往復十二時間。それ位の力をもつ飛行機はどこにもある。現にウラジオに居る。日本にとつて脅威である。而し之には日本に對案がある。滿洲國方面は勿論安心してよい。北支以南に日本に敵意をもつ國の飛行機が居る事は困る。蔣介石は日本に好意をもたない。彼は英米に飛行根據地を與へ、自らも空軍を擴張して日本を脅かさうとして居る。日本の立場に於て極めて危険なる人物である。故に日本は彼を排撃し、日本ビイキの政權を

作らねばならぬ。之は日本の國防より見たる絶對問題である。だから北支那問題等は是非ともやらねばならぬ。

第三、より高き文化建設の爲めに。支那には原料は無限と想像せらるゝ。北支那山西省の石炭だけでも千二百億噸。撫順の百二十倍である。未だ探せばいろいろなものがいくらもあらう。併し只あると云ふだけで支那人には之を利用する能力がない。賣の持ちくされである。故に日本の頭腦技術資本をもちこんで、之を開發したなら日本の爲めには勿論支那の爲めにも幸せにきまつてゐる。之によつて日支五億世界人口の約三分の一がよりよく生きて行かれる見込があるのであるから、日本としては少々の非難は忍んで斷然手をつけるべきである。日本が此の立場に立つ時日本の心事は公明正大である。人類の爲め犠牲を忍ぶ勇者の態度である。

以上三つの理由よりして日本は先づ北支那に手をつけたのであるが、之が成功の曉を考へて見給へ。日本の前途は光明に輝く。歐洲や米國のやうなツツキチラシたカスではない。五千年來手を入れた事のない土地です。原料は無限です。而して人口は四億。此の一大經濟區域に日本が君臨する時、世界中日本に及ぶものがあらうとは思へない。而も世界に類例なき尊嚴なる國體。單一民族七千萬。世界何れの國が日本に比すべきものがあらう。

今や日本は此の希望に燃えつゝ北支那に手をつけた。若干の危険困難は忍ぶべきである。併し仕事は大きい。堅き舉國一致を要する。舉國一致の基礎は國民生活の安定である。政治の局に當る者は愈此點に心を致すべきである。政治監督の任にある國民は今迄以上に政治家の本質をたしかめてかゝつて頂き度い。

日本は正に非常時である。國際聯盟は脱退し、軍縮會議は蹴とばし、北支問題に手をつけた。日本の國民は何物を忍んでも舉國一致せねばならぬ。日本國民は舉國一致する。日本の政治家は口を一致を説きながら本腰でない。小さな黨派心にとらはれて相争ふ。そんな事で何が舉國一致であるか。舉國一致の眞の姿は一國一黨である。一國一黨は非常時國家の當然の立前である。イタリイを見よ。ドイツを見よ。ロシアを見よ。支那を見よ。皆一國一黨である。米國は大統領が絶對無限の權力を有して一國一黨以上である。非常時を叫びつゝ黨利の爲めに相争ふ。之れは日本と老衰英佛とのみである。度し難きは政黨政治家の態度であると云はねばならぬ。

國民諸君。僕等は今もう政黨政治家なんか頼らずに僕等一人一人が實力を以て相結び舉國一致非常時を突破して躍進しやうではありませんか。繰り返して申しますが滿洲事件以來、國家の重大時に何等の發言を爲さず、遂に政治の主流から逐ひ出されたやうな無力

な政黨政治家は非常時國家を擔任する力がありません。
諸君の御同情ある御批判を求め、御共鳴を希望します。
有権者諸君

山梨縣 平野 力三

所信を吐露して有権者各位に訴ふ

我が國政治運動史上に特筆さるべき選舉肅正のもとに施行せらるゝ衆議院議員總選舉の陣頭に立ちて、選舉公報を通じ有権者各位に政見を述ぶるの機會を得ました事は、私の最も欣快とする所であります。

私は大正十一年早稻田大學政治經濟科を卒業致しまして以來農民運動に身を投じ、特に小作問題激甚を極むる山梨縣に於て、今日まで一貫して農村問題解決のため奮闘して参つたのであります。

而して其の間、一部の人造よりは小作争議の煽動者と目され、或は過激思想を懐くものとして攻撃されたのでありますが、然し私は終始一貫、我國の農民階級が國家經濟の見地よりするも、又國防上の見地よりみるも實に國家の礎石たるに拘らず、その生活の狀態は甚だしく惠まれずして社會のドン底に押し込められたる現状を直視する時、正義のため人道のため、農民解放の信念は一日として念頭を去り得なかつたのであります。

富める者は益々富み、働く農民は日に月に衰へ、小作米の納入が出来ずして娘が女工として得たる賃銀を以て之を支拂ひ、或は山積せる借金のためには愛する子供を犠牲にせざるを得ない農民階級の姿をながむる時、正義に燃ゆる私の青春の熱血は遂に今日の農民運動の歴史を印し來らしめたのであります。

都會に於ける失業者は賣られて鑛山労働者となり、足尾銅山に、或は日立の鑛山に、將又北海道の夕張炭坑に身を埋め去る有様は、之皆農村疲弊の結果農村よりはみ出され都會に流るゝ農村青年の生涯の姿であります。

我が日本の國が世界の三大國の一に數へられ、國都東京は正に東洋第一の大都市となりました、この燦然と輝く大都市の華麗なる光

景を眺めたる眼を以て、一度足を農村の眞只中に踏み入れ破れズボンに破れ足袋の農民大衆の姿を凝視する時、そこに農民運動に對する感激の熱情が怒濤の如く高鳴るのを禁ずる事が出来なかつたのであります。

私は此の社會制度及經濟制度の不合理を是正するの運動こそは、正に私の全生涯を賭しても意義あるものである事を年と共に確信するに至つたのであります。

一方政治の實情に眼を轉ずれば、既成政黨は此の深刻なる社會現象に耳を藉さずして恰も噴火口上に舞踏するが如く、私利私慾を事として黨利黨略に専念し來つたのであります。

茲に於てか、五・一五事件等の勃發を見ると共に國民の間に政黨政治の積弊を打破せんとする輿論が起り來り、私共が十數年に及ぶ奮闘打つた効果ありてか今や漸くにして選舉肅正の聲と共に、政界の一角に黎明を見るに至つたのであります。

私が茲に立候補を宣しまして山梨縣下十有餘萬の有権者諸君の嚴正なる御批判の下に是非當選の榮を得たいと念ずる所以のものは、この農民運動の體驗を國會の議場に深刻に反映したい熱情に燃ゆるためであります。

過去の代議士にして眞に農民の苦痛を議會に叫んだ者がありましたでせうか、「働らけど働らけどなほ我がくらし、樂にならざり、じつと手を見る」の啄木の歌を眞實に議會の問題として國政に反映せしめたる議員が果して何人ありましたでせうか。

醫學は進歩し、醫者の數は年と共に激増しつゝありと聞きますが、己れの子供が瀕死の狀態にある時、一服の藥を求むる能はざる農民階級の存在する事を激烈に國民の前に訴へた農民の代表が果してありませうか。

私は今回は是非當選したい希望に燃えて居ります。日比谷原頭の議政壇上に農民大衆の切實なる要求をひつきげて血を吐いて倒るともそれは正に男子の本懐とする所であります。

全山梨縣下有権者諸君 此の私の信念に對して滿腔の御同情と御賛同を賜り度いと存するのであります。

眼を轉じて世界の大大勢を見れば我日本はかの滿洲事變より國際聯盟を脱退し、海軍々縮條約の決裂等國際關係愈々急迫をつげんとする時、國家非常時を痛感するのであります。

皇道會はこの時局に當面し皇道精神に立脚し國家改造の使命を以て生れたのであります。

左に皇道會の綱領と私が日頃抱懐致して居ります、農業政策に對する具體的政見を申し上げて選舉公報を通じての御挨拶と致します。

皇道會 綱領

皇道政治を徹底シ以テ金匱無缺ナル我が國體ノ精華ヲ發揮スルヲ主眼トス

- 一、既成政黨ノ積弊ヲ打破シ、以テ公明ナル政治ノ確立ヲ期ス
- 二、資本主義經濟機構ヲ改廢シ、國家統制經濟ノ實現ヲ期ス
- 三、國民道德ノ振興ヲ圖リ、以テ綱紀ノ肅正ヲ期ス
- 四、軍備ヲ充實シ、以テ國防ノ完備ヲ期ス
- 五、國際正義ノ貫徹ヲ圖リ、世界資源ノ衡平ヲ期ス

農業政策

- 一、小作法の制定
- 二、耕作權の確立
- 三、小作料の合理化
- 四、米穀の國家管理
- 五、産蕪處理統制法の實施
- 六、肥料の專賣
- 七、貧農階級金融制の確立
- 八、副業の統制
- 九、農業保險の實施
- 一〇、農村青年教育の徹底
- 一一、農村衛生設備の施行

- 一二、税制の根本改革
 - 一三、勤勞階級雜種税の輕減並に撤廢
 - 一四、農村文化の建設
- 貴下の清き一票を是非平野力三へ御願申上ます。

山梨縣 今井 新造

立候補に際して謹んで縣民各位に訴ふ

敬愛なる山梨縣民各位

今回の衆議院議員改選に際し、不肖今井新造先輩各位の御推舉を蒙り決意立候いたしました。元來、私は學なく、智なく、才なく、平凡武骨の人間であります。只、一片皇國日本を憂へ郷里山梨を愛する赤誠の一念に於ては斷じて人後に墜ちざる確信を有します。此の非常時局に當り、私如き不敏の者でも、君國のため、又山梨のため一身を捧げて御奉公致したいと存じまして借越ながら各位の御後援を御願致す事になつた次第であります。

我が國現下の内外に於ける状態は敢て私が呶々する迄もなく、各位の夙に充分御認識せらるゝ事では有りますが、私共國民は愈々協力結束して、舉國一致國難打開に邁進せねばならぬと信じます。

然るに議會に絶對多數を擁したる政友會が現内閣に對し不信任の意を表したる爲め、政府は信を國民に訴へ議會解散に至つたのであります。私共も素より現内閣が完全無缺なる強力内閣とは思はない、然し乍ら政友會の主張する如く、今日直ちに現内閣を打倒せねばならぬ程、この内閣が國家國民の爲めに、無爲無能であると思はねば、政策的に行詰つて居るとも考へないのであります。

殊に現内閣は腐敗濁濁せる政界淨化の根本策として、政黨によつて汚されたる從來の如き金力萬能本位の腐敗選舉を肅正すべく、一大決心をもつて、これに全力を盡し今や舉國、官民一致之れが徹底を期すべく努力いたして居ります。

私共は此事のみに於ても今日の場合暫く現政府を支持して、これが有終の美を濟さしめたいと考へるものであります。

如何に無力弱體と稱する者ありと雖、現内閣は組閣以來外交に於ても、國防に於ても、財政に於ても將又諸般の施政に對しても、終始一貫、眞摯熱誠にして、之を黨利黨略のみに吸々として國家國民の利害休戚を念とせず、政界を腐敗墮落せしめたる政黨内閣に比すれば、勝る事萬々なりと確信するものであります。然し乍ら、吾等は民政黨の如く、現内閣に對して與黨の立場に於て謳歌、禮讃、追隨之れ事とする者ではなく若し將來現内閣にして稅政百出、國政變理の實力なくんば、直ちに奮然厥起して、斷乎之を打倒すべき決意を有するものであります。政策上の諸問題に就ては、私は既成政黨の如く、是を實現する確固たる信念なきにも拘らず選舉に際してのみ或は十大政策と謂ひ、八大綱領と稱し徒らに誇大の言を弄する事は、差控へるものであります。

一、國體明徴の徹底

二、道義國家の確立

三、國防の充實と自主外交の貫徹

四、鞏固なる日滿支の提携

五、激増人口の生存權確保

六、行政及稅制の整理斷行

七、農村負擔の軽減

八、中小商工業者の保護

九、農工商の並進

一〇、勞資協調

等平常私の考へて居ることを細目に亘つて述べますと際限がないのであります。要するに日本國民は最早從來の如く、徒らに歐米崇拜の迷夢より醒め、眞に國民的に自覺して建國の理想を世界に宣揚し、日本の正義を宇内に貫徹する爲には政黨内閣時代に於ける追隨阿諛軟弱外交を棄て、飽く迄自主的強力外交を確立すべく、更に内にありては協力一致階級闘争の端を發するが如き金權政治を打破して、國民大多數を占むる勤勞者の生活を安定すべく努力せねばならぬと考へるのであります。

而して代議士なる者が國民の代表として國家の立法に參與し、國家の豫算に協賛を與へ國策遂行のために努力すべきは勿論であります。又一面に於て、自己の郷國のため全力を盡して、その利益を計るべきは、理に於ても、情に於ても當然の事と信ずるものであります。

纏つて現在の吾が山梨縣の窮乏せる農村並に中小商工業者の困窮は殆ど言語に絶するものあり、縣債も今や將に一千六十五萬餘圓に達し、現状のままに推移せんか、年々歳々、更にこれを増加するのみでありまして、如何に縣民が自力更生に奮闘、勤勞するとも、縣自體の力を以てしては到底、窮乏せる財政の打開救済は、全く不可能の實狀にあるのであります。これが打開には一面に於ては中央政府の強力なる救済に俟たねばならぬ次第であります。

然るに過去の實狀を見るに其努力に於て缺くる處多く寔に遺憾に堪へなかつたのであります。是を思ひ彼を考ふる時、大は國家百年の大計を慮りて現内閣を鞭撻督勵すると共に、小にしては危機に瀕せる窮乏山梨の更生打開に努力邁進致す覺悟であります。

不肖新造敢て其器に非らざるも報國の丹心止み難く不敏を顧みず、昭和維新斷行の一行者として皇國の爲めに、わけても郷里山梨の爲めに奮然厥起この一身を捧げて御奉公致したいと決心致した次第であります。

申上げる迄もなく不肖新造此の度の擧は叙上の信念に基くものにして敢て一身一家の名譽榮達を望んで立候補したものでなく、況んや代議士の肩書を求めて自己の生活に利せんとし、或は利權を漁りて郷黨各位の面目を傷くるが如き醜惡なる行爲は斷じて爲さざる事を神明に誓ふものであります。

敬愛する山梨縣民各位

不肖新造以上の信念を以て立候補致しましたものゝ、四面強敵、政黨的地盤と稱するものなき初陣の不肖に對しては戰雲濛々として前途全く豫測を許さず寔に深憂に堪へざる次第であります。

仰ぎ願くば不肖の微衷を御賢察の上當選の榮に浴し得るやう絶大の御援助御後援を賜り度燕文を以て立候の御挨拶と致します。時將に嚴寒、切に各位の御自愛と御健康を祈り上げます。

今 井 新 造 敬白

國運轉換期と新興勢力の擡頭(政見)

信山信水白皓々たる中に、政戦將に酣ならんとす、誠に非常時局の選舉に相應しき景観であり猶又肅正純白の選舉たれよとの天の啓示であるかも知れない。

云ふ迄もなく、日本は今や國運轉換の時機である。國外には歐米の既存勢力を打倒してアジャ人のアジャを建設せんとし、國內には歐米依存の舊勢力(政黨、財閥等非日本の存在)を打倒して皇道國家の新設を圖らなくてはならぬ要求にせまられてゐる。

五・一五事件勃發以來新舊勢力の分野が明白となり、古き政治的勢力は新興勢力の攻撃に耐へかねて中間緩衝地帯として或は唯一の防楯として齋藤内閣、岡田内閣の牙城によつたそれすらが既に國民から游離したる存在として弱體内閣の名を以て呼ばれてゐる。

憲政の常道を強調し、議會中心主義でなくてはならぬ管の民政黨は聲息をひそめてこの弱體内閣の楯にダニの如くに喰下り、絶對多數を擁する政友會も亦寄せ世帯のミヂメさに弱體内閣から却つて擲論され譟弄され辛くも四分五裂の防衛に努めて居る。

何處に非常時突破の意氣ありや、畢竟此の種の政府政黨は結局時代から置き去られた季秋の胡蝶よりも儚なき過去の存在であるのだ。

今その具體的の事例として、政黨、財閥、重臣を通じ、所謂既成勢力のピカ一として彼等より國責扱ひを受けてゐる高橋藏相の非常時國家の財政計畫を検討して見よう。高橋藏相は自ら健全財政と稱して國債百億の突破を戒め赤字公債漸減の爲更に又増稅募債禁遏のため國防費と國民生活の安定費をすら犠牲に供して居る。これが果して健全財政と云ふべきであらうか。吾等皇道陣營の見地よりすれば老藏相の方針の如きは、時代錯誤の甚だしきものであつて、實に新興日本の伸展を阻止する不健全財政と云はねばならぬ。

第一飛躍日本の實體は、東亞大陸への進出に始まる。北支、蒙古への進出等爾後の大陸政策の維持發展には英、米、蘇、支の重壓に對し軍備充實の必要性は何人と雖もこれを否定し得ないであらう。

既に興安嶺以南蒙古沙漠以東の廣大なる版圖が皇國の國防圏内に入り、三千餘萬の純然たる大陸民族の政治的、經濟的、文化的啓沃

が日本民族の義務と責任になつたのである。

斯の如く日本の大陸への進出は、當然に國防、財政、政治、外交、經濟、思想の各分野に互つて重大なる變化を促さずには置かないのである。

然るに高橋健全藏相は十年の舊夢未ださめず「財政に應じた軍備」と稱へ「此の上軍事費の要求は國民の怨府となる」と稱し、軍事費の一部を削除し、農山漁村の振興費、中小商工業の中央金庫案を流産せしめて居る。何といふ呑氣千萬の放言であらうぞ、「國防は必要だが財政の伴はざるを如何せん。」と云ふた民政軍縮内閣の國防觀と同工異曲のテレビズム(歐米追隨)の平和思想である。

果せる哉去る三日の民政黨大會に於て町田總裁は「高橋財政と我黨の政策一致」を強調して黨員の大喝采を博して居る。

凡そ立國の要義よりすれば、國防は第一義的のものであつて、財政の如何に關せず必要あらば充實しなくてはならぬものである。公債で間に合はねば増稅に、増稅で間に合はねば賦金を仰付け如何なる手段方法によらうとも必ず必要は充されなくてはならぬ。必要な軍備を怠れば國家の破滅は必定である。

殊に今日の如く英、米、蘇、支否全世界の包圍的進撃に對して、亞細亞大陸を背負ふて起たねはならぬ日本である。東亞の指導力と安定力と復興力とならねばならぬ日本である。國運を賭しても大陸の守護神とならねばならぬ日本である。天業恢弘、八紘一字の民族的使命遂行の爲にも國防力は少しでも緩めてはならぬ日本である。此に理解のない政治的勢力はよし國責であらうとも政黨であらうとも非常時日本の政局より排撃退讓せしめなくてはならぬ。

更に不可解の一事は、老藏相のみでなく世上一般の財界人も公債百億圓突破を心配する公債増額恐怖病である。もとく公債はそれが國內債である以上巡環經濟の原則上何等憂ふべき理由がない筈だ。

英米でさへ一千億以上の公債をもつてゐる。獨逸、伊太利の巨額の公債ですら國は決して潰れない。國力が増大すれば公債が増大するのは寧ろ當然であつて、これあつてこそ國策の伸縮自在の動きがとり得るのである。而もこの數年來郵便貯金も、銀行貯金も共に増加の一路を辿つて、昨年末郵貯三十一億圓、銀行貯金百三十億圓以上の預金を擁して居る。年次二億、三億の公債が増加したとて、何で惡性インフレを惹起しよう。高橋健全財政は公債の値上りを欲する金融財閥の健全財政に過ぎないのだ。

財閥、特權者繁榮の半面に永久に救はれざる農山漁村の勤勞大衆が依然として飢饉線上に彷徨し僅かに國縣の補助政策によつてかそけき露命を繋ぐ大衆とこの大衆の貧困の爲或は金融資本の收奪の爲これら農民よりも惨なき生活を營んで居る中小商工業者群のある事を忘れてはならない。

現在農山漁村六百萬戸の痛であるのは、一戸平均一千五百圓の借金と、耕地面積過少農の増加である。負債と人口問題との解決は國民生活安定上急務中の急務である。米穀管理統制案や乾藪處理法案の如き生温き對症政策を以てしては百年河清を俟つ類ひである。

宜しく滿洲三千億圓の資源開拓の先驅として年次少くとも十萬戸の大集團移民計畫を樹て一方大規模負債整理の爲特別金融の國家機關を設け移民計畫と相互融通の關聯の下に抜本塞源の解決を要する。

この財源は軍需工業に對する非常時利得稅資本に對する高率稅其他此の種の増稅と併せて急激ならざる公債の増發によつて年次二億の豫算を追加すべきである。

然も高橋藏相を代表とする舊政治勢力の指導部は増稅尙早、公債漸減のカンヌキを以て、此の國民的要求を防がうとして居るのである。彼等は要するに金融財政の要心棒であり見附役としては恰好の存在ではあるが勃興日本、飛躍日本の指導者としては既に其の任務を了へて、國運の發展を阻碍せざらん爲次代の新興勢力に其席を讓るべき時代に到達したのである。

然らば將に來らんとする新らしき政治勢力とはどんなものか、皇國々體の本義より考へ日本獨特の政治機構より考へる時、新たに生れ出づる政治勢力は、農山村大衆とびつたり呼吸のあつたものでなくてはならない。この邊の消息は農村を地盤とする日本皇軍の機構から考へても直ぐ諒解が出来るであらう。信州郷軍同志會は斯る見地から軍民一致國防農村の強化を圖り新興勢力の中核たらんと志してゐる。

既成政黨には如何に過去の功績があらうとも如何に數の上の多數を擁しようとも畢竟唯古き形體の存在に過ぎない、新らしき芽生えはよし數に於て少數であつても力に於ては比較にならぬ強味を持つて居るべき筈だ。

記せよ今次の總選舉は五・一五事件以來最初の選舉ある、純情熱血の軍人が死を賭して國民に訴へたる赤誠を審判する日が來たので

ある、神明照覽の下、有權者各位は必ずや新興勢力の味方たることを信ずる。

福岡縣 小池 四郎

農は國の本なりと云ふ國に、百姓程つまらぬ職業はないとされる。何と云ふ馬鹿げた話でせう。

我國産業界の素晴らしいこの頃の躍進は一年中夜業を續けて働いてゐる勤勞者の勤勉の御蔭だ。それに何ぞや、勤勞者の一定收入(定額賃銀、俸給)は物價に比べて反つて下落してゐるとは、一體何事だ。

小賣商人も立派な勤勞國民だ。その没落を唯傍觀してゐる許りか、逆に手をねじつたりしてゐる。

これが躍進日本日の出の日本の姿と云へますか。日本は斷じてそんな中身の腐つた國ではなかつたと思ふ。

明治天皇御登極の詔に、次の二つの御言葉を拜讀する。

「天下億兆一人モ其處ヲ得ザル時ハ皆朕ガ罪」

「近年物價騰貴如何トモスベカラザル勢、富者ハ益々富テ果テ、貧者ハ益々窮ニ至リ候趣畢竟政令不正ヨリ所致」

この大精神を勇斷以て諸施政の上に顯はして行つてこそ、初めて日本らしいのです。

在滿出征兵士は零下四十度の酷寒に家を忘れ身を忘れて、ひたすら、君國のために生命を捨てゝゐる。在郷國民も大なり小なりこの犠牲奉公の精神を以て、田園に工場に街頭に日夜營々として立ち働いてゐるのだ。この尊敬すべき國民を、たとへ一人とても不安に置き不満に泣かせる事のない様、細心の注意が拂はねばならぬ筈です。皇室は夙夜之に肝膽を碎かせられて今日に及んでゐる。大君のために命を鴻毛の輕きに比せんとする中誠なる國民の上には、かすり疵一つ負はせてはならぬとの御軫念が常に伺はれる。この二つの精神が相倚り相和して渾然一體となるのが、所謂君民一如の政治と思ひます。

この大精神を戴して、國民の日常に心配のない様に仕向けて行くのが政治家の大責任だ。殊にこの二三年景氣が出たと云ふその景氣がもう行詰りだ。産業はこれ以上盛になる餘地はなく貿易も頓挫の形です。然らばこの際さし當つてどうすればいゝか。私はこう主張する。即ち、(一)資本の使ひ道を國家が指圖按配する事。(二)東洋諸民族が白色人種に壓迫搾取されてゐる現状を、日本が主になつて

打開して、東洋全體の經濟的發展を策する事以外にはないと信じます。

處が現在の政府政黨はどうか。例へば日頃の倍にも三倍にも儲を擧げてゐる事業に對し、その儲を以て、更に國家有用の新事業の資本に充てますと云ふ計畫的な指圖もせず、さればとてそれを以て從業員の待遇改善の資に充てさせる指圖もせず、(儲を吐き出して從業員の生活向上の資に充てる事だ。それを先づ政府は官業の職場で、範を示せ)。國家國民の慶福と無關係に資本を浪費せしめて平氣でゐる。國家財政が窮乏して來ると自然増收をあてにし、その結果は一般庶民階級へのあくどい税金の取り立てになる。この頃の營業收益税額の認定などは實に亂暴だ。不當の取り立てに泣かされてゐる商人は、その邊にゐないか。農家の知らない内に負擔してゐる酒、煙草、砂糖、織物などの消費税の莫大なことはどうだ。それを軽くするの術を知らず、反つて大衆増税の一手段として、あはよくばこの消費税を引上げかねまじき氣配を見せてゐる。何と云ふ弱いものいぢめか。

産業組合が農村のために役立つ事は事實だ。然しそれ許りが萬能藥だと思ふと大變です。それは云はゞ枝葉の問題だ。もつと根幹に思切つて手入れをしないで何で農村の更生がある。産業組合は農産物の値段を幾分引上げ、農家購入品を幾分安く買取るのが此頃の役目だが、それでは根本的の役には立つまい。一層進んで、土地に關する問題、諸税公課の問題、借金の問題に勇敢に突進して行かねば駄目です。小作料の軽減は矢張り相變らず生きた問題だ。だが、さうすると地主が追詰められて勢ひ地主は地租借金をどう始末するかと云ふ問題に逃げ込む。すると問題は轉じて農村對銀行の問題となる。その解決は現金融制度に大手術を加へずしては出來ない相談だ。即ち金融資本を國家が指圖按配しないでは出來ない事だ。政府政黨はそれが恐ろしい。そこで結局小作料の問題には手をつけまいとする。凡そ世の中に收獲の半分を他人に持ち去られると云ふ事業が一體どこにあるか。

それにしてもそれだけでは駄目です。この膨脹する國民を養つて行くに、この小さな日本の國の中だけで賄へると云つても無理だ。國外に出られる處には働きにも行き、唇商輔車の關係にある東洋諸民族と密接なる經濟的交渉を保つて行かなくては日本の國と國民とが生きて行ける譯はない。支那や比律賓、蘭印、シヤムなどと心から仲よくして、それ等の國と自由に通商し、或は資源を開發してやつたりして、日本の商業工業をどん／＼發展せしめることです。之は同時に此等諸民族の經濟力と文化とを急速に開發せしめることが出来る。今白人種は東洋から二十億の財貨を盗んで行つてゐる。東洋のものは東洋に返させる事です。だがこうした日本の態度に對して

英米が黙つてゐる譯はない。彼等は武力を以て之に刃向はふとする。支那が常に混亂してゐるのはこの塵埃です。こゝに我國が彼等に負けないだけの武力を必要とする理由がある。この國防費だけはどんな工面をしても是非調達すべきが、百年の大計を謀るべき政治家の責任だ。それなのに政府及政黨は何と云ふ。それは國家の財政能力以上の事だとして唯眞向からその費用を削減する。それでなければ國防費に澤山とられたからと云つて、一切の社會施設費(産業充實費農村並に中小商工更生の經費)をあてつけられしく削減する。第一我國に果してそれだけ位の財政能力がないのか。斷じてさうではない。國民を擧げて國の全富力を抵當にする氣構へさへ出來れば、如何様な財政計畫でも立て得る筈だ。或は有利確實な事業を公營に移す事もいゝ。それからもつと大切な事は、此際無駄な投資を止めさして國家發進の方向に投資させる事だ。例へば必要以上の享樂機關への投資を差控へて、それを製鐵國策への投資に振當てたらどうですか。何れが國家國民のためになるか。この行詰つた時局を見、膨脹する國民を思ふ時、苟くも日本人ならば誰しもかう考へずにはゐられない筈です。右翼でも左翼でもフアツショでも何でもない。苟も國と民を憂ふる日本人のまよもの考へです。即ち、皇道政治の實現に邁進せんとする者です。私が前回立候補した時の精神もこの通りでした。

然るにその後私の同志の中にこの精神に反し日本の何たるを解せず、歐米社會主義思想に陶醉する者のあるのを見、決然私は彼等と別離したのです。彼等の後身こそ、今日私共に當らざる誹謗をなしつつある社會大衆黨であります。前回當選させて頂いて四ヶ年。自分としては粉骨碎身した積りですが、顧みて何の御奉公も出來なかつた事を心から御詫します。然し以上の如き私の心配憤懣は今日一層大きく深くなる一方です。政府も政黨も全く事勿れ主義で現狀にかじり付いてゐる。陛下の赤子は飢ゑたまふです。それでどうして聖旨に答へ奉る事が出来るか。この現狀を見て、どうしてもじつと引込んでゐられません。微力を顧みず再び立候補した所以です。幸にもう一度御推舉に預つて、是が非でも當選の榮を得たいと存じます。

三、農道會

山口縣 西川 貞一

今回私は、農道會、農村産業組合協會の適格候補として確認され、山口縣第一區唯一の既成政黨政派を超越せる純正農民代表として立候補致しました。

立候補の決意と共に先づ明治神宮に参拜し、更に伊勢の皇太神宮に参拜し、大和の橿原神宮に参拜し、天照大神、神武天皇、明治天皇の御神靈に恭しく祈誓の上、茲に此の政見を認めた次第で御座ります。

私の根本信念は國體の本義を明にすることであり、天皇陛下は億兆臣民の親にてあらされ、臣民は 天皇陛下の赤子である。國は即ち家であり、家は即ち國にして、國家不二一體の關係が、日本國體の本義であります。而もその家といふは外國のホームの如き夫婦一代限り、現世丈の關係でなく、祖先の靈を中心に子孫が和樂の生活を營む根基であり、親の子に對する情愛は、外國人にはこれを見ることの出来ない大慈悲であり、その大慈悲の光が子の心に泌み込めば、孝行の一念勃然として生じ、親に心配を掛けてはならぬ、親に安心して貰ひたい、喜んで貰ひたいといふ心があらゆる發奮努力の原動力となり、一方に自分の喰べる物は喰べなくても子に喰べさしたい、自分はどんなに粗末な物を着てゐても良いが子には相當の服裝をさせてやりたいといふ、親の慈悲が加はつて、茲に我々の家庭がそのまま極樂淨土の生活になるのであります。國に於ても矢張り 天皇陛下の大慈悲と億兆臣民の忠誠により、理想の社會が實現するのであります。

併も此の理想が却々行はれず、世の中が楽しく面白く行かないのは、兎角皇室と臣民の間を隔てるものがあつて、國體の光が發揮されぬからであります。昔は武門武家が朝廷をないがしろにして専横を極めたので、上は長くも皇室の式微、下國民は非常な苦しみを見ただけであります。最近又、外國の悪い思想が入込んで、國體の本義を棄り、國の政治の根本原則である憲法の解釋に當り日本國民として許すべからざる學説を吐いてゐるのみでなく、政治も法律も經濟も悉く、日本古來の道徳と相容れぬ外國の個人主義利己主義の

權利義務思想で、行くから、世の中が進めば進む程、人情思想が悪くなるのであります。此の際國體明徴に徹底的の努力をして、根本から改めねばなりません。此の問題に對し、理解のない人や、冷評的態度を取る人は、日本人たるの資格がないものと信じます。

國體を明にすることは、同時に祖先の靈位を中心に親子、夫婦、兄弟が一體となつて働き且つ和樂をする家を大切にすることでもあります。日本の農業は家を中心とする經濟であるから、農を本としてすべての政治を行ふのが國體の建て前であります。故に日本は瑞穂の國である。名實共に世界の理想的農業國でなくてはならぬ。然るに世界の農民王國と言へば直にデンマークを謂ふが、日本を謂はない。これは先祖の神々様に申譯のないことと思ひます。近年農村が疲弊しましたのは矢張り外國の悪い思想のために、世の中が強い者勝になり、資本家が横暴を極める一方、人間が個人主義利己主義になつて、恩といふことを忘れ、慈悲といふことを忘れたためであります。そこで國體を明徴にし、天皇の御恩、先祖の恩、親の恩を憶ひ、發奮興起自力更生の實を擧げること、もとより必要であります。農村の振興は農民の自力發奮と政府の施設が鉄の兩刃の如く、ピッタリ合はぬと巧く行きません。私は山口縣農漁村更生運動の一端に起ち、農漁村の情況に精通すると共にどうしても自力丈ではやれない問題に對し、政治の力で解決し、デンマークが世界の理想的農業國であります以上に、日本の農村を理想の樂土とし、皇祖皇宗を始め奉り、天皇陛下の御恩徳に對へまつらねばならぬと思ひます。

農漁村は國民經濟の母體であり、中小工業者は、母體より出る乳をいたゞいて育つものでありますから、母體が健康になれば必ず子供も丈夫になる、農村の振興は直ちに地方の發達となり中小工業の繁昌となるのであります。同時に國民の公課負擔につき非常に不公平な結果を齎らす地租營業收益税を全廢し、所得税の外新に財産税を創設して、負擔の公平を圖る覺悟であります。試に農民と俸給取の負擔が如何に不公平であるかを調査したところによると左の結果を得ました。

豊浦郡内	純收入	公課負擔	千分率
某村小地主	七九〇	二五八・四七	三二七
自作農	一、〇三五	一一三・七六	九六
自作兼小作	六七八	五八・八〇	八七

小作農	三九六	八・九六	一七
同村俸給取	一、一六〇	一八・四〇	一六
下關係給取	三、四四二	一三六・六〇	四〇
同	一、六五四	一五・七二	九

農村の中産者が如何に過重な負擔に悩みつゝあるか、都會人のそれが如何に輕いか、寧ろ驚くべきものがあります。尙營業收益税も矢張り同じ結果になるのであつて、これは御一視御同仁の皇道に反するものと謂はねばなりません。故に私は所得税と財産税を組合せ、能力に應じた課税をすると共に、十萬圓以下の小資産家は財産税を免税し、地方農漁村中小商工業の根本的救済を圖り、一方土地に對してはお初穂税を設けこれは神明の御恩徳に報濟の至誠を以て奉納し、皇太神宮を始め奉り國家の祭祀の費用に充てられるべく特別會計の制度を設け、敬神と尊農を結びつける國本を不拔に培ふべく計畫して居ります。

斯く國體の本義を明にせば、農漁民中小商工業者が自然に救はれ、家業の繁榮を來すのでありますが、尙日本は國際經濟の見地よりして未だ獨立が出来て居りません。これでは億兆その所得その生を樂しむ皇道の理想境に到りませんので、茲に大いに海外に勢力を張り、東洋經濟プロツクの完成に向つて進む必要があるのですが、往年の滿洲事變と謂ひ、國際聯盟の脱退と謂ひ、今回の軍縮會議脱退と謂ひ、何れも英米佛各國の拘束より脱し、日本が政治的經濟的に完全なる獨立を圖らんとする意壯の現はれに外なりません。併も此の對外積極政策の運命を最終的に決するものは、財政であります併も日本は積年の赤字財政に苦しみ、そのため兎角對外積極政策の腰を折られ勝であります、不肖私は此の赤字財政を解決し、日本の國力を何處迄も伸して行くことの出来る、皇道財政の政策を持つてゐますので、幸ひに皆様の御共鳴を得て國政上に志を行ふことが出来ますならば必ずこの難問題を解決して、上は、聖慮を安んじ奉り、下は億兆臣民の生活を豊かにし安定せしめ得ることを確く信じます。

元來私は十三、四歳の時から、政治家になることを希望し、政治家になるために少年時代よりあらゆる辛酸を嘗め修業をしつゝ今日に到りましたが、從來は我々無産の貧書生は政界に進出が出来ませんでした。然るに今回は國政に對し抱負と識見と信念を有する者は、誰でもよいから出て來いとの有難い大御心による肅正選舉に依り立候補が出来たのであります。何卒選舉肅正の趣旨に鑑み、政見と信念に就き充分なる御吟味の上明鑑を垂れ給ひ、不肖西川貞一に貴重なる御一票を賜り度伏して御願ひ申し上げます。

昭和十一年七月二十五日 印刷
昭和十一年七月二十六日 發行

社會局 勞働部

東京市本所區厩橋三ノ一三

印刷者 大塚義雄

東京市本所區厩橋三ノ一三

印刷所 精工印刷所

3328-5

